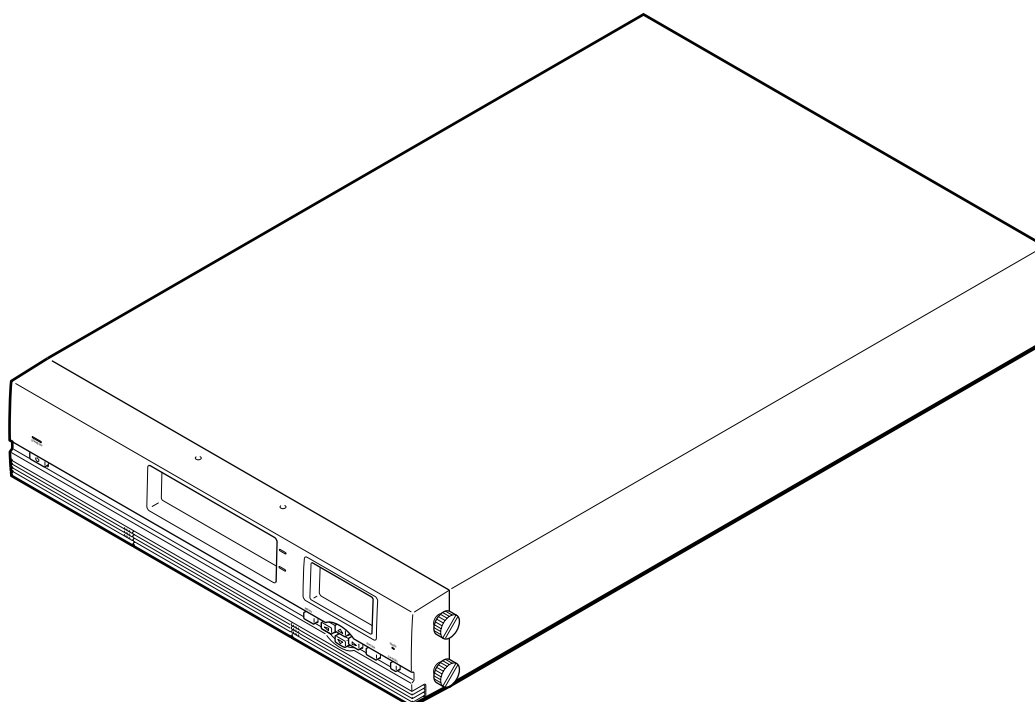


N8160-41/N8160-44

AIT ライブラリ (ラックマウント用)

取扱説明書



製品をご使用になる前に必ず本書をお読みください。
本書は熟読の上、大切に保管してください。

この取扱説明書は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

使用上のご注意 ～必ずお読みください～

本装置を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

安全にかかわる表示について

本書にはどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うのか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

本書、および警告ラベルでは危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されます。

 警告	指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
 注意	指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例)  (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例)  (接触禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例)  (プラグを抜け)

(本書での表示例)

注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
		注意
	電源が ON のまま取り付け・取り外しをしない 基本処理装置への取り付け・取り外しの際や、周辺機器との接続の際は必ず主電源に接続している電源コードを AC コンセントから抜いてください。電源コードが AC コンセントに接続されたまま取り付け・取り外しや接続をすると感電をするおそれがあります。	

本書および警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	感電のおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	指などがはさまれるおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止

	特定しない一般的な禁止を示します。		本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。
	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		

行為の強制

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
---	--	---	--

安全上のご注意

本装置を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明については巻頭の『安全にかかわる表示について』の説明を参照してください。

全般的な注意事項



警告



人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない

本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御を目的とした使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産被害などが生じてても当社はいかなる責任も負いかねます。



煙や異臭、異音が生じたまま使用しない

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに POWER スイッチを OFF にして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。



針金や金属片を差し込まない

通気孔やカートリッジ投入 / 排出口から金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。



指定以外の場所で使用しない

本装置は EIA 規格に適合した Express サーバ用の 19 インチラックに取り付けて使用します。本装置を取り付けるラックを設置環境に適していない場所には設置しないでください。

本装置やラックに取り付けているその他のシステムに悪影響をおよぼすばかりでなく、火災やラックの転倒によるけがなどをするおそれがあります。設置場所に関する詳細な説明や耐震工事についてはラックに添付のマニュアルを参照するか、保守サービス会社にお問い合わせください。



規格以外のラックで使用しない

本装置は EIA 規格に適合した Express サーバ用のラックに取り付けて使用します。EIA 規格に適合していないラックに取り付けて使用したり、ラックに取り付けずに使用したりしないでください。本装置が正常に動作しなくなるばかりか、けがや周囲の破損の原因となることがあります。Express サーバで使用できるラックについては保守サービス会社にお問い合わせください。

全般的な注意事項

⚠ 注意	
 	海外で使⽤しない 本装置は、日本国内専⽤の装置です。海外では使⽤できません。この装置を海外で使⽤すると⽕災や感電の原因となります。
 	装置内に⽔や異物を⼊れない 装置内に⽔などの液体、ピンやクリップなどの異物を⼊れないでください。⽕災や感電、故障の原因となります。もし⼊ってしまったときは、ただちに POWER スイッチを OFF にして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使⽤すると⽕災の原因となります。

電源・電源コードに関する注意事項

注意



電源が ON のまま取り付け・取り外しをしない

基本処理装置への取り付け・取り外しの際や、周辺機器との接続の際は必ず主電源に接続している電源コードを AC コンセントから抜いてください。電源コードが AC コンセントに接続されたまま取り付け・取り外しや接続をすると感電をするおそれがあります。



中途半端に差し込まない

AC ケーブルはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。



指定以外の接続をしない

AC ケーブルの接続や配線は本書の説明に従って正しく行ってください。指定以外の接続や配線は火災や感電の原因となるおそれがあります。



破損したケーブルを使用しない

ケーブルを接続する前にコネクタが破損していたり、コネクタピンが曲がっていたり、汚れたりしていないことを確認してください。破損や曲がっているコネクタおよび汚れたコネクタを使用するとショートにより火災を引き起こすおそれがあります。



指定以外のケーブルを使用しない

基本処理装置と接続するケーブルは当社指定のものを使用し、接続先をよく確認してください。指定以外のケーブルを使用したり、指示とは異なる接続のまま使用したりすると火災を引き起こすおそれがあります。



電源コードをたこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れるので、コンセントが過熱して火災の原因となることがあります。



コードを持って引き抜かない

電源プラグを抜くときは必ずプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し、火災や感電の原因となります。



電源コードを折り曲げない

電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものをのせたり、はさみ込んだりしないでください。またステーブラ等で固定することもおやめください。コードが破損し、火災や感電の原因となります。



電源コードに薬品類をかけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

ラックの設置・取り扱いに関する注意事項

注意



一人で搬送・設置をしない

ラックの搬送・設置は2人以上で行ってください。ラックが倒れてけがや周囲の破損の原因となります。特に高さのあるラック（44U ラックなど）はスタビライザなどによって固定されていないときは不安定な状態にあります。かならず2人以上でラックを支えながら搬送・設置をしてください。



荷重が集中してしまうような設置はしない

ラックおよび取り付けたデバイスの重量が一点に集中しないようスタビライザを取り付けるか、複数台のラックを連結して荷重を分散してください。ラックが倒れてけがをするおそれがあります。



一人で部品の取り付けをしない

ラック用のドアやトレイなどの部品は2人以上で取り付けてください。部品を落として破損させるばかりでなく、けがをするおそれがあります。



ラックが不安定な状態でデバイスをラックから引き出さない

ラックから装置を引き出す際は、必ずラックを安定させた状態（スタビライザの設置や耐震工事など）で引き出してください。



複数台のデバイスをラックから引き出した状態にしない

複数台のデバイスをラックから引き出すとラックが倒れるおそれがあります。装置は一度に1台ずつ引き出してください。



定格電源を超える配線をしない

やけどや火災、装置の損傷を防止するためにラックに電源を供給する電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。電気設備の配線とインストール用件に関しては、電気工事を行った業者または、管轄の電力会社にお問い合わせください。

設置・移動・保管・接続に関する注意事項

注意



通気孔をふさがない

本装置の前面および背面にある通気孔（ファン）をふさがないでください。内部の温度が上昇し、誤動作の原因となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。



プラグを抜かずに手入れをしない

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差しをしないでください。感電することがあります。



指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

インタフェースケーブルは、NEC が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。

また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- ・ ケーブルを踏まない。
- ・ ケーブルの上にものを載せない。
- ・ ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- ・ 破損したケーブルを使用しない。
- ・ 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ・ ネジ止めなどのロックを確実に行ってください。



一人で持ち上げない

本装置は約 18kg の重さがあります。一人で持つと腰を痛めることがあります。運搬・移動は必ず二人で行ってください。



指を挟まない

ラックへの取り付け・取り外しの際にレールなどで指を挟まないよう十分注意してください。



ラックから引き出した状態にある装置に荷重をかけない

ラックから引き出された状態にある装置の上から荷重をかけないでください。フレームが曲がり、ラックへ搭載できなくなります。また、装置が落下し、けがをするおそれがあります。

お手入れに関する注意事項



警告



自分で分解・修理・改造はしない

本装置の分解や、修理・改造は絶対にしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。

本装置でお客様が行える分解は次の作業のみです。

次に記述する以外の分解は絶対にしないでください。

- ・ N8160-42/N8160-45 AIT ライブラリ用増設ドライブの増設。増設以外の行為（交換 / 取り外し）は行わないでください。
- ・ エアフィルターの清掃 / 交換
- ・ ラックへの取り付け / 取り外し
- ・ AC・信号ケーブルの取り付け / 取り外し



注意



中途半端に取り付けない

AC ケーブルやインタフェースケーブルは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。



巻き込み注意

装置の動作中は背面にある冷却用ファンの部分に手や髪の毛を近づけないでください。手をはさまれたり、髪の毛が巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。

運用中の注意事項

注意



ラックから引き出したり取り外したりしない

本装置をラックから引き出したり、ラックから取り外したりしないでください。装置が正しく動作しなくなるばかりでなく、ラックから外れてけがをするおそれがあります。



壊れた液晶ディスプレイには触らない

液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。壊れた液晶ディスプレイから流れ出した液体が、万一、口にはいった場合は、うがいをして医師に相談してください。また皮膚に付着したり、目に入ったりした場合には、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。分別廃棄のために液晶ディスプレイを取り外す場合は、保守サービス会社にお問い合わせください。



カートリッジ投入 / 排出口に手を入れない

カートリッジ投入 / 排出口に手を入れないでください。手を挟まれたり、巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。



雷がなったら触らない

雷が鳴りだしたら、AC ケーブルに触れないでください。感電の原因となります。



ペットを近づけない

本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に入って火災や感電の原因となります。



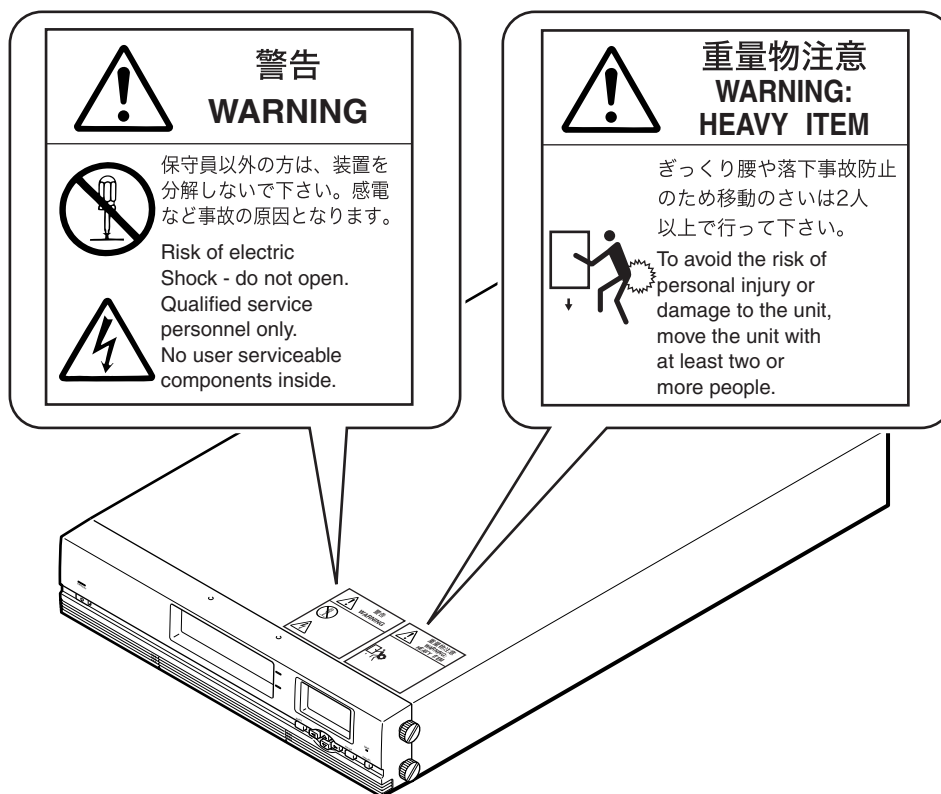
近くで携帯電話や PHS、ポケットベルを使わない

本装置のそばでは携帯電話や PHS、ポケットベルの電源を OFF にしておいてください。電波による誤動作の原因となります。

警告ラベルについて

本装置内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これは本装置を操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです（ラベルをはがしたり、汚したりしないでください）。

もし、このラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読できないときは、販売店にご連絡ください。



商標について

Microsoft とそのロゴ、Windows、および Windows NT は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Advanced Intelligent Tape はソニー株式会社の商標です。

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows NT 4.0 は Microsoft® Windows NT® Server network operating system version 4.0、および Microsoft® Windows NT® Workstation network operating system version 4.0 の略称です。

Windows 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 Professional、Microsoft® Windows® 2000 Server、および Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server の略称です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けておりません。したがって、この装置を輸出した場合に当該国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) NEC の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については (4) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

本文中の記号について

本文中では次の 2 種類の記号を使用しています。それぞれの意味を示します。
(安全にかかわる表示については巻頭をご覧ください。)

ご注意	装置を取り扱う上で守らなければならない事柄や特に注意すべき点を示します。
メモ	装置を取り扱う上で確認しておく必要がある点を示します。

本取扱説明書について

本取扱説明書は、N8160-41 および N8160-44 共通の説明書です。本取扱説明書では、N8160-44 の液晶ディスプレイの画面を使って説明しています。N8160-41 では、一部画面が異なりますが、同等に動作します。

目次

 使用上のご注意 ～必ずお読みください～	2
---	---

第1章 はじめに

機能概要	19
同梱品を確認する	20
装置の譲渡と廃棄について	21
各部の名称と機能	22
前面	22
背面	23
内部（前面）	24
システム構成	25
使用できるカートリッジ	26
AIT カートリッジ	26
クリーニングカートリッジ	26
バックアップソフト使用のご注意	26
使用上のご注意	27

第2章 設置する

概要	29
開梱する	29
本装置を設置する前に	31
ラックに設置する	31
必要な工具	32
設置上のご注意	32
ラックマウントキットの同梱品を確認する	32
インナーレールを取り出す	33
本装置の準備をする	34
ラックの準備をする	35
本装置をラックに取り付ける	37
本装置をラックから取り外すには	39
電源ケーブルを接続する	40
ホストコンピューターに接続する	41
SCSI バスを設定する	43
電源を入れる / 切る	43
初期設定をする	45
日付と時刻を設定する	46
SCSI ID を設定する	47
カートリッジをセットする	49
ネットワークに接続する	52

第3章 基本的な使いかた

概要.....	57
操作パネルの使いかた	57
操作パネルでできること.....	57
ステータス表示の見かた.....	58
メニュー項目	59
操作ボタンの使いかた	62
警告表示	64
エラー表示.....	64
パスワードを設定 / 変更する	65
基本的な設定をする	66
日付と時刻を変更する画面を表示しないようにするには	66
動作回数の警告を表示させないように設定するには	67
バーコードの設定をする.....	68
R-MIC 機能を設定する	69
液晶濃度を調整する.....	70
簡易シーケンシャルモードを使用する	71
フロントパネルのボタンを無効にする	72
エレメントアドレスの割り当てについて	73
カートリッジの取り扱いについて	73
取り扱い上のご注意.....	73
保管上のご注意	74
日常のメンテナンス.....	74

第4章 ライブラリを操作する

概要.....	75
カートリッジを操作する	75
カートリッジを取り出す.....	75
カートリッジを交換する.....	78
カートリッジを移動させる	81
ライブラリに関する情報を見る	82
カートリッジ情報を見る	83

第5章 AIT ドライブを操作する

概要.....	85
AIT ドライブに関する情報を見る	85
AIT ドライブをクリーニングする	86

第6章 Library Administration Menu を使う

概要.....	91
Library Administration Menu でできること	92
Library Administration Menu を操作する	92
メニュー項目.....	94
[System Configuration] メニュー	94
Configuration	95
Network.....	96
SCSI ID	99
Password	101
[Maintenance] メニュー	102
Life Count	102
Error Count.....	104
Sensor	105
History	106
Diagnostic	109
Firmware Upload.....	110
[Information] メニュー	112
Information.....	112
Inventory.....	113

第7章 その他

エアーフィルターを交換する.....	115
故障かな?と思ったら	116
本装置を輸送するときには	118
主な仕様	118
ハードウェア	118
記憶容量.....	119
SCSI ケーブル	119
消耗品	119
エラーコード一覧.....	120
その他の表示.....	122
索引.....	125

はじめに | 第 1 章

機能概要

N8160-41/N8160-44 AIT ライブラリは、AIT ドライブを 1 台内蔵している AIT ライブラリです。最大 16 巻のカートリッジをセットして使用できます。本装置は、ワークステーションやサーバーに接続して利用できます。

最大 16 巻のカートリッジをセット可能

最大 16 巻の AIT (Advanced Intelligent Tape) カートリッジをセットできます。カートリッジの交換は、フロントパネルから行うことができます。また、本装置にはバーコードリーダーが内蔵されていますので、バーコードラベルでカートリッジを管理することができます。本装置では、次のカートリッジを使用できます。

N8160-44AIT ライブラリ (ラックマウント用) の場合

- ・ AIT-3 カートリッジ EF-2426： 最大 1600GB のデータを記録できます。
- ・ AIT-2 カートリッジ EF-2423： 最大 800GB のデータを記録できます。
- ・ AIT-1 カートリッジ EF-2420L： 最大 560GB のデータを記録できます。
- ・ AIT-1 カートリッジ EF-2420： 最大 400GB のデータを記録できます。

N8160-41AIT ライブラリ (ラックマウント用) の場合

- ・ AIT-2 カートリッジ EF-2423： 最大 800GB のデータを記録できます。
- ・ AIT-1 カートリッジ EF-2420L： 最大 560GB のデータを記録できます。
- ・ AIT-1 カートリッジ EF-2420： 最大 400GB のデータを記録できます。

メモ

上記のデータ記憶容量は、16 巻使用、非圧縮の場合です。

2 台までの AIT ドライブを内蔵可能

N8160-41 AIT ライブラリ (ラックマウント用) の場合は N8160-42 AIT ライブラリ用増設ドライブ (ラックマウント用) を、N8160-44 AIT ライブラリ (ラックマウント用) の場合は N8160-45 AIT ライブラリ用増設ドライブ (ラックマウント用) を増設することにより、2 台の AIT ドライブを内蔵することができます。(増設は 1 台まで。標準では 1 台の AIT ドライブが内蔵されています。)

リモートでライブラリの操作が可能

ブラウザを使って、各種設定をしたり、ライブラリ情報やメンテナンス情報などを見たりすることができます。

LVD SCSI に準拠

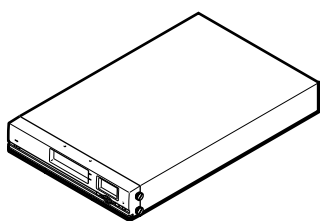
N8160-44 AIT ライブラリは Ultra 160 LVD SCSI に、N8160-41 AIT ライブラリは Ultra Wide LVD SCSI に準拠しています。

R-MIC 機能

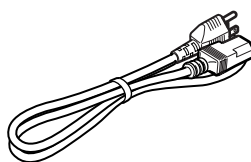
AIT-3 カートリッジの場合に、セットされているカートリッジの R-MIC 情報を、スロットや AIT ドライブごとに見ることができます。

同梱品を確認する

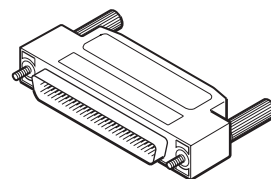
パッケージを開けたら、以下のものがそろっているかお確かめください。付属品の中に欠けているものがあるときは、販売店にご連絡ください。



N8160-41/N8160-44
AIT ライブラリ本体
(ラックマウント用) (1)



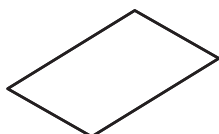
電源ケーブル (3m) (1)



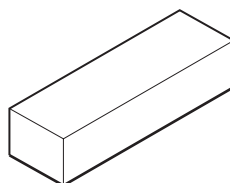
SCSI ターミネーター (1)



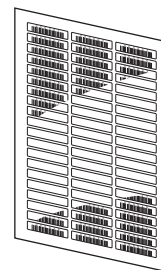
取扱説明書 (1)



クリーニング啓蒙シート (1)



ラックマウントキット (1 式)



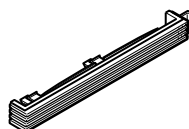
バーコードラベル (1 シート)



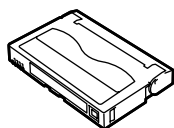
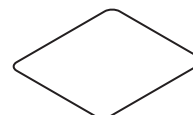
輸送ロック (1)
(本装置の底面に取り付けられています。)



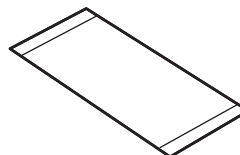
輸送ネジ (1)
(本装置の底面に取り付けられています。)



左用エアフィルター (交換用) (2) 輸送ロック / 輸送ネジシール (銀色) (2)
右用エアフィルター (交換用) (2)



クリーニングカートリッジ (1)



保証書

メモ

- ・ラックマウントキットの同梱品については、「ラックに設置する」 (31 ページ) を参照してください。
- ・上記以外に、説明書、書類、ケーブルなどが同梱されている場合があります。(ケーブルが同梱されていないモデルもあります。)

装置の譲渡と廃棄について

第三者への譲渡について

本装置または本装置に添付されているものを第三者に譲渡（または売却）するときは、次の注意を守ってください。

本装置本体について

本装置を第三者へ譲渡（または売却）する場合は、本取扱説明書を一緒にお渡しください。

その他の付属品について

その他の付属品もセットアップするときなどに必要となりますので、一緒にお渡しください。

重要

テープ内のデータについて

使用していたテープに保存されている大切なデータ（例えば経営情報や企業の経理情報など）が第三者へ漏洩することのないように、お客様の責任において確実に処分しておいてください。

このようなトラブルを回避するために使用しているバックアップソフトでデータを完全消去し、確実にデータを処分することを強くおすすめします。データの消去についての詳細はバックアップソフトの取扱説明書をご参照ください。

なお、データの処分をしないまま譲渡（または売却）し、大切なデータが漏洩された場合、その責任は負いかねます。

添付ソフトウェアについて

本装置に添付のソフトウェアを第三者に譲渡（売却）する場合には、以下の条件を満たす必要があります。

添付されているすべてのものを譲渡し、譲渡した側は一切の複製物を保持しないこと。

各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと。

消耗品・装置の廃棄について

本装置、およびカートリッジの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

装置寿命について

本装置の装置寿命は5年です。

保証について

本装置には『保証書』が添付されています。『保証書』は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。保証期間中に故障が発生した場合は、『保証書』の記載内容にもとづき無料修理いたします。詳しくは『保証書』をご覧ください。

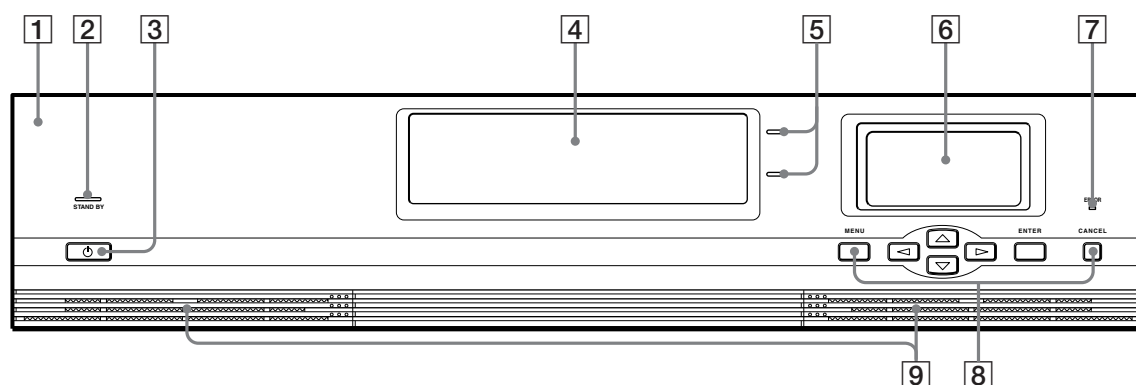
保証期間後の修理についてはお買い求めの販売店、最寄りの NEC または NEC の保守サービス会社に連絡してください。

本装置に対し保守契約を結ばれたお客様へ

本装置の保守停止時期は、製造打ち切り後 5 年になります。

各部の名称と機能

前面



1 フロントパネル

2 電源表示 LED

電源が入っているときに点灯します。

3 スタンバイスイッチ

5 秒以上押すと、本装置内部の機構部が所定の位置に移動し、電源 OFF が可能な状態になります。

4 カートリッジ投入 / 排出口

カートリッジをセットしたり、交換したりするときに使います。操作ボタンでスロットを指定すると、自動的にシャッターが開きます。また、シャッターが開いているときは、ライブラリは動作を開始しませんので、カートリッジをセット / 交換したら、必ず操作ボタンを使ってシャッターを閉めてください。

5 カートリッジ指定 LED

カートリッジのセット / 交換するときに、操作ボタンで指定したスロットの LED が点灯します。また、スロットは 2 段になっていますので、LED が点灯していないスロットのカートリッジも操作できます。

6 液晶ディスプレイ

動作状況などを表示します。通常待機時は、本装置のステータスが表示されます。

7 エラー LED

エラーが発生しているときに点灯します。

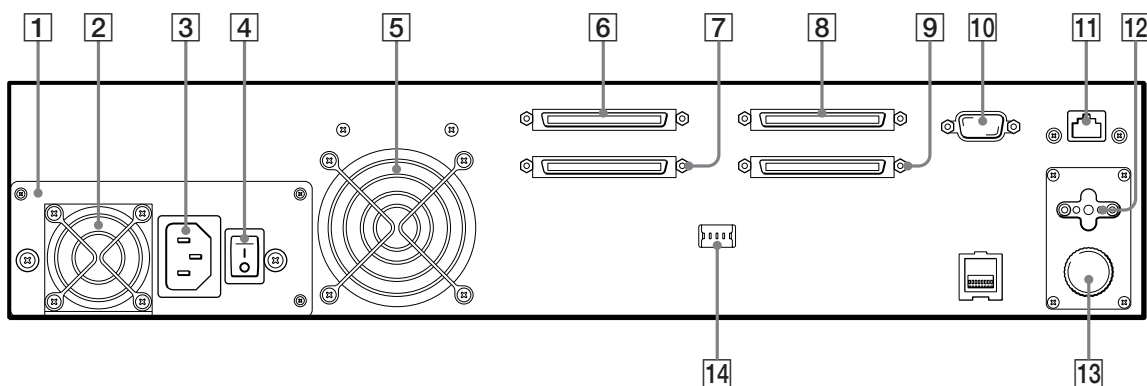
8 操作ボタン

操作パネルのメニューを操作するときに使用します。

9 通気孔（エアフィルター付）

通気孔をふさがないように注意してください。通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

背面



1 電源ユニット

電源ユニットには、ファン、電源コネクタ、電源スイッチが備えられています。

2 ファン 1

ファンの通風孔をふさがないように注意してください。

3 電源コネクタ

付属の電源ケーブルを接続します。

4 電源スイッチ

電源を入れるときは、このスイッチを「一」ON にしてください。「一」が ON、「〇」が OFF です。

5 ファン 2

ファンの通風孔をふさがないように注意してください。

6 SCSI コネクタ 1 7 SCSI コネクタ 2 8 SCSI コネクタ 3

9 SCSI コネクタ 4

SCSI コネクタの接続については、第 2 章「設置する」の「ホストコンピューターに接続する」（41 ページ）を参照してください。

10 保守用コネクタ

保守用ですので、ご使用にならないでください。

11 LAN コネクタ

10Base-T のネットワークケーブルを接続します。

12 輸送ロック

設置時に底面から取り外した輸送ロックは、ここに取り付けておきます。

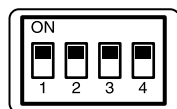
13 輸送ネジ

設置時に底面から取り外した輸送ネジは、ここに取り付けておきます。

14 設定用ディップスイッチ

工場出荷時では、次のように設定されています。

この設定のままご使用ください。



1：オン

SCSI TERM POWER1 (SCSI コネクター 1、SCSI コネクター 2 系列用)

2：オン

SCSI TERM POWER2 (SCSI コネクター 3、SCSI コネクター 4 系列用)

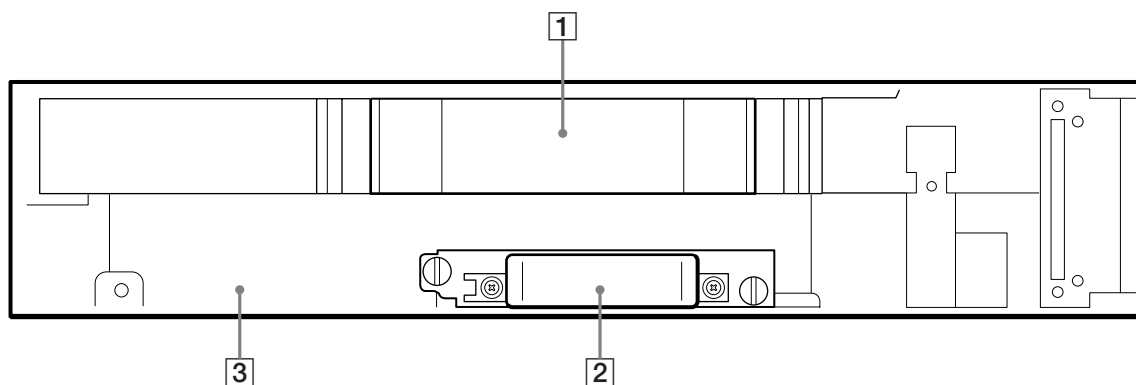
3：未使用

4：未使用

15 型番ラベル

弊社の本製品指定型番です。型番は併記となっており、本装置は「N8160-44」となっております。

内部（前面）



1 カートリッジケース（ライブラリ）

最大 16 巻のカートリッジをセットできます。

2 AIT ドライブ 1 (R)

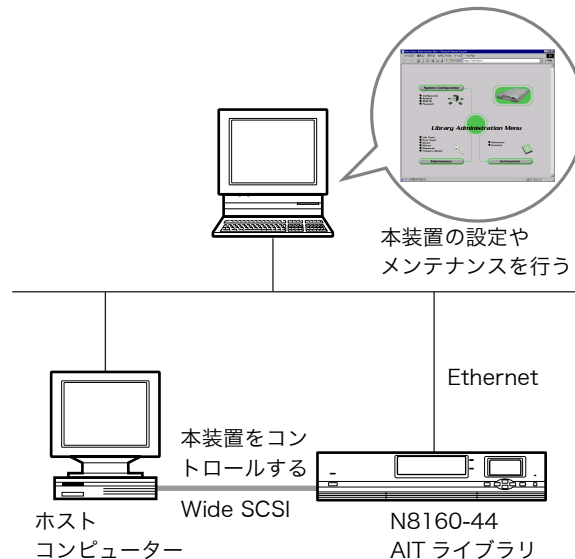
標準内蔵の AIT ドライブです。

3 増設用 AIT ドライブスロット (AIT ドライブ 2 (L))

増設用の AIT ドライブ (N8160-42/N8160-45) を取り付けます。

システム構成

通常は、次のようにホストコンピュータに接続して使用します。（本装置は1台のホストコンピュータに接続してください。）ホストコンピュータから本装置をコントロールします。また、本装置を直接ネットワークに接続して、ブラウザから本装置の設定やメンテナンスを行うこともできます。



メモ

- ・ホストコンピュータには、SCSI ホストバスアダプターカードが取り付けられている必要があります。
- ・ブラウザから本装置の設定やメンテナンスを行うには、コンピュータにブラウザソフトウェアがインストールされている必要があります。本装置で動作確認しているオペレーティングシステムとブラウザは、以下のとおりです。
オペレーティングシステム：
 - Microsoft Windows 95、Microsoft Windows 98、Microsoft Windows Me、Microsoft Windows NT、Microsoft Windows 2000ブラウザ：
 - Microsoft Internet Explorer 5.01 以降
 - Netscape Communicator 4.7 以降

使用できるカートリッジ

本装置で利用できる AIT カートリッジは、以下のとおりです。

AIT カートリッジ

N8160-41 の場合



N8160-44 の場合



EF-2420 (170m)
AIT データカートリッジ

EF-2420L (230m)
AIT データカートリッジ

EF-2423 (230m)
AIT データカートリッジ

EF-2426 (230m)
AIT データカートリッジ

ご注意

市販の 8mm のテープは、外観は AIT カートリッジと似ていますが、仕様がまったく違うため使用できません。8mm のテープなど、AIT カートリッジ以外のカートリッジを使用しないでください。

クリーニングカートリッジ

AIT ドライブをクリーニングするときは、AIT クリーニングカートリッジ (EF-3237J) を使用してください。クリーニング方法については、第 5 章「AIT ドライブを操作する」の「AIT ドライブをクリーニングする」(86 ページ) を参照してください。

バックアップソフト使用のご注意

NEC の Web ページである 8 番街 (<http://www.express.nec.co.jp>) の「サポート情報」－「テクニカル情報 (テクニカルガイド)」－「Express5800/100 シリーズテクニカルガイド」にありますバックアップ装置＜バックアップ装置対応ソフトウェアの Windows NT/2000 ＞を確認してください。

問い合わせ先：webmaster@ace.comp.nec.co.jp

使用上のご注意

- ・ N8160-41 AIT ライブラリの場合は N8160-42 AIT ライブラリ用増設ドライブを、N8160-44 AIT ライブラリの場合は N8160-45 AIT ライブラリ用増設ドライブをセットすることにより、2 台の AIT ドライブを実装することができます。
- ・ カートリッジスロットには、セットされている AIT ドライブに適したカートリッジを使用してください。AIT カートリッジ（クリーニングカートリッジを含む）以外のカートリッジを使用すると、故障の原因となります。本装置で利用できるカートリッジは、本章の「使用できるカートリッジ」（26 ページ）を参照してください。
- ・ カートリッジ投入 / 排出口に、AIT カートリッジ以外のものを入れないでください。故障の原因となります。

概要

本章では、本装置をラックに取り付け、ホストコンピュータに接続して、電源を入れるまでの一般的な手順と初期設定について説明します。ご使用の環境によっては、手順や設定が異なる場合があります。

電源を入れた後は、「初期設定をする」（45 ページ）を参照し、本装置を使用するために必要な設定を行います。

開梱する

メモ

箱と梱包材、輸送ロック、輸送ネジは、本装置を移動したり輸送したりするときに必要です。捨てないで必ず保管してください。

⚠ 注意



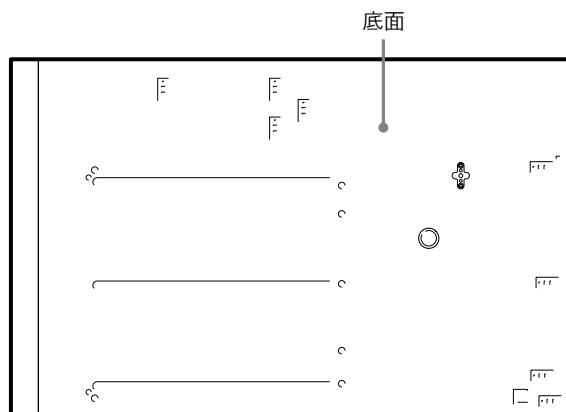
一人で持ち上げない

本装置は約 18kg の重さがあります。一人で持つと腰を痛めることがあります。運搬・移動は必ず二人で行ってください。

1 本装置を箱から取り出す。

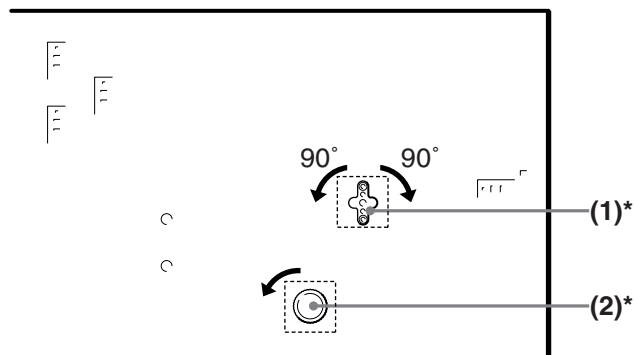
ビニールやテープなどの梱包材も取り除いてください。

2 底面が見えるようにする。



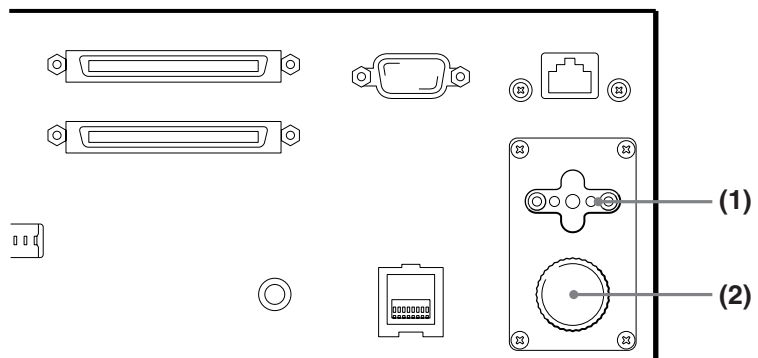
3 輸送ロック (1) と輸送ネジ (2) を取り外す。図の点線の位置に、付属の銀色のシールを貼り、穴をふさぐ。

輸送ロックは、左右どちらかに 90° 回すと取り外せます。
輸送ネジ (2) は、左に回すと取り外せます。



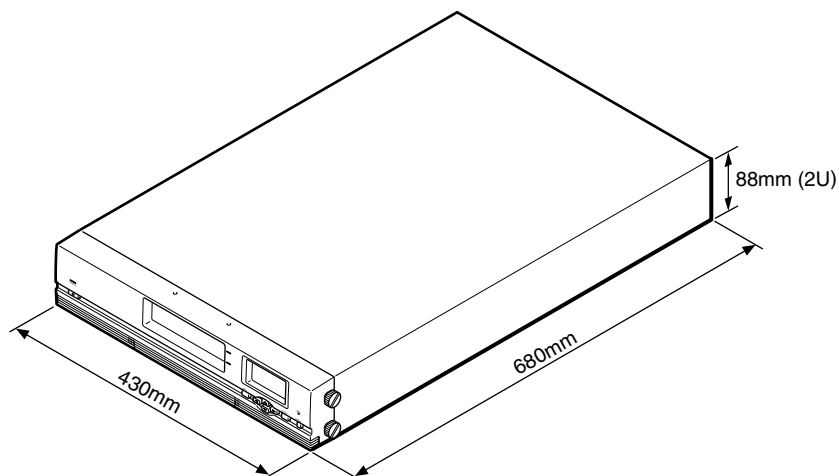
- 輸送ロックと輸送ネジを取り外したら、付属の銀色のシールでそれぞれの穴をふさいでください。

4 取り外した輸送ロック (1) と輸送ネジ (2) を、本装置の背面に取り付ける。



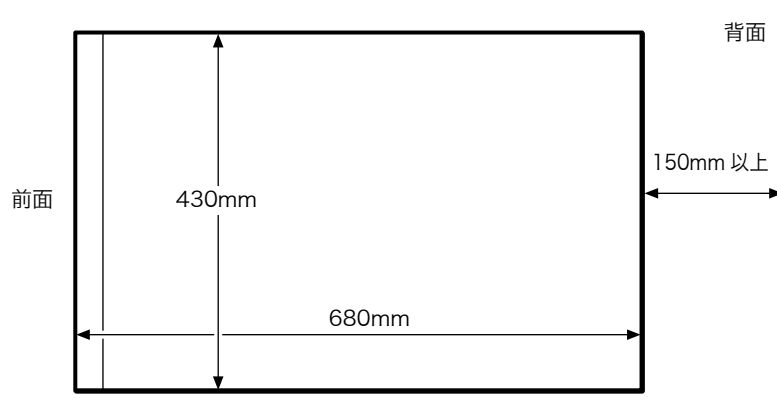
本装置を設置する前に

本装置の質量は約 18kg で、大きさは以下のとおりです。あらかじめ設置場所の強度とスペースを十分確認してから、設置してください。



メモ

水平な場所に設置してください。また、本装置の後部には空気が循環するように 150mm 以上のスペースを空けてください。



ラックに設置する

付属のラックマウントキットを使って、本装置を EIA STANDARD の 19 インチラックに取り付けます。

ご注意

- ・ 本書に記載されているネジ以外のネジを外さないでください。
- ・ 必ず本装置の背面の電源スイッチを押して本装置の電源を切り、ケーブル類をすべて取り外してから、作業を行ってください。

必要な工具

ラックマウントキットの取り付けには、次の工具が必要です。

- ・ プラスドライバー

設置上のご注意

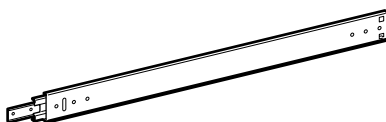
本装置をラックに取り付ける前に、以下の点に注意してください。

- ・ 本装置の動作時に、温度 10 ～ 35 °C、湿度 20 ～ 80%を保てる場所に設置してください。
- ・ 本装置背面のファン、前面の通気孔付近に、ケーブルやその他の障害物がこないように設置してください。
- ・ ラックマウントキットを設置しているときに、静電気が放電しないように作業環境を整えてください。作業中は、静電防止マットやアースされた静電防止リストバンドを使用してください。

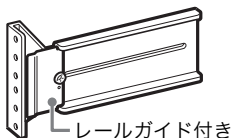
ラックマウントキットの同梱品を確認する

以下のものがそろっているかお確かめください。付属品の中に欠けているものがあるときは、販売店にご連絡ください。

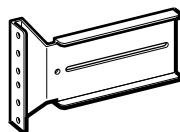
レールアセンブリー (2)



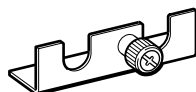
ブラケット前側用 (2)



ブラケット後ろ側用 (2)



L 型金具 (2)



サイドカバー (2)



ネジ、ナット類

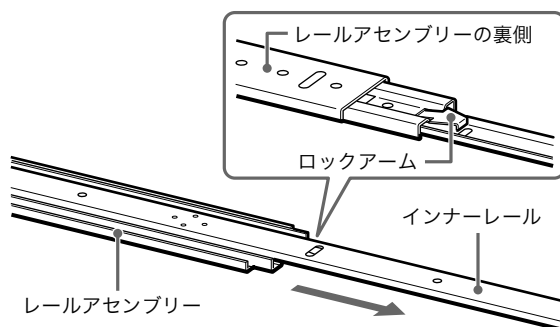
種類		個数	用途
ネジ A (PSW4 × 14mm、ワッシャー付き)		6 (スペア 2 個含む)	L 型金具取り付け用
ネジ B (PSW5 × 12mm、ワッシャー付き)		6 (スペア 2 個含む)	ブラケット=ラック取り付け用
ネジ C (B4 × 8mm)		10 (スペア 2 個含む)	レール=ブラケット取り付け用
ネジ D (B4 × 5mm)		8 (スペア 2 個含む)	インナーレール取り付け用
ラック位置決めネジ		4 (スペアなし)	ブラケット=ラック取り付け用
ナット (N4)		10 (スペア 2 個含む)	レール=ブラケット取り付け用

インナーレールを取り出す

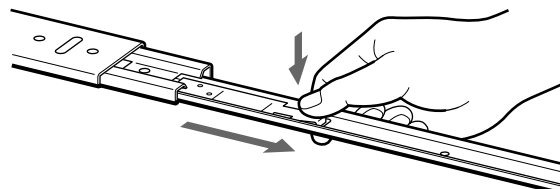
レールアセンブリーからインナーレールを取り出します。

1 レールアセンブリーからインナーレールを、止まる位置まで引き出す。

裏側にロックアームが出てくると止まります。



2 レールアセンブリーを裏返し、ロックアームを押してロックを解除しながら、インナーレールを引き抜く。



3 同様にして、もう 1 本のレールアセンブリーからインナーレールを取り出す。

メモ

インナーレールは本装置に、レールアセンブリーはラックに取り付けます。

本装置の準備をする

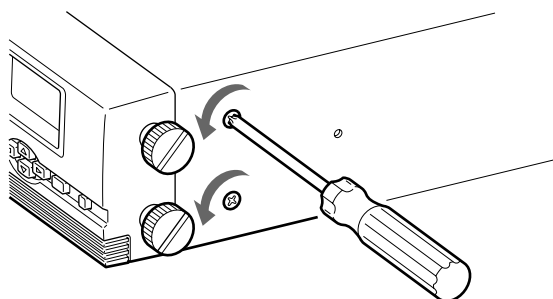
L 型金具とインナーレールを本装置に取り付けます。

L 型金具を取り付ける

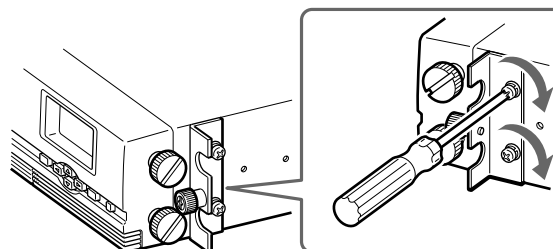
ご注意

- ・ 体にたまった静電気により部品を破損する場合があります。作業を始める前に、必ず金属部分（塗装されていない部分）に触れて静電気を取ってください。
- ・ 作業のために指定されている部品以外は内部部品に触らないでください。

- 1 プラスドライバーを使って、本装置側面のネジを取り外す。



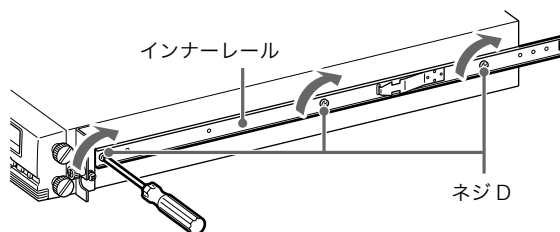
- 2 ネジ A を使って、図のようにして、両面に L 型金具を取り付ける。



- 3 同様に、もう一方の側面に L 型金具を取り付ける。

インナーレールを取り付ける

- 1 ネジ D を使って、インナーレールを取り付ける。



- 2 同様に、もう一方の側面にインナーレールを取り付ける。

ラックの準備をする

ブラケットとレールアセンブリーをラックに取り付けます。

ブラケットを取り付ける

レールアセンブリーを固定するためのブラケットをラックに取り付けます。

1 ブラケットを取り付ける位置を決める。

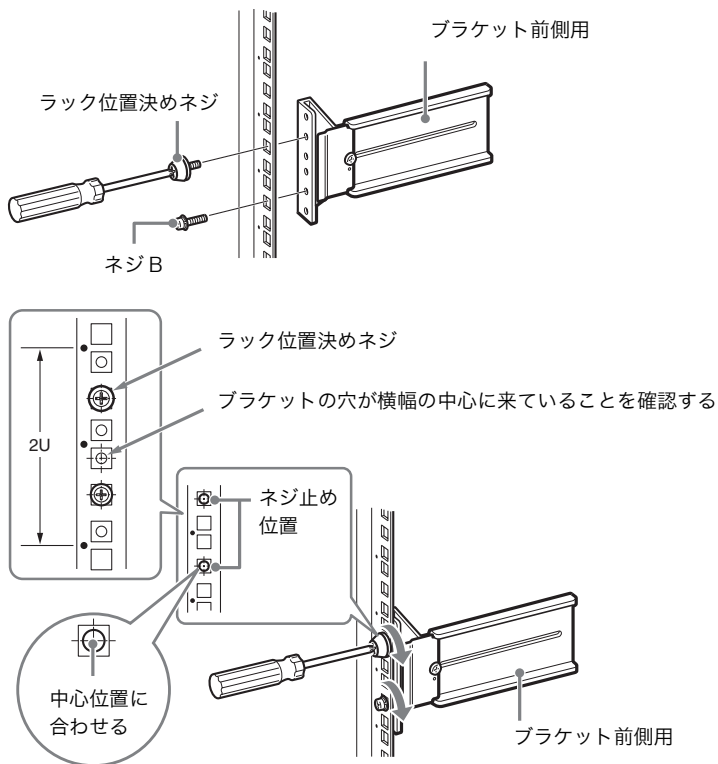
各ブラケットを取り付ける位置に、フェルトペンなどで印を付けておくことをおすすめします。

2 ネジ B、ラック位置決めネジを使って、前側のブラケット 2 個をラックに取り付ける。

ラックとブラケットをラック位置決めネジで止め、ネジ B がラックのネジ穴の横幅の中心にくるようにブラケットを取り付けてください。

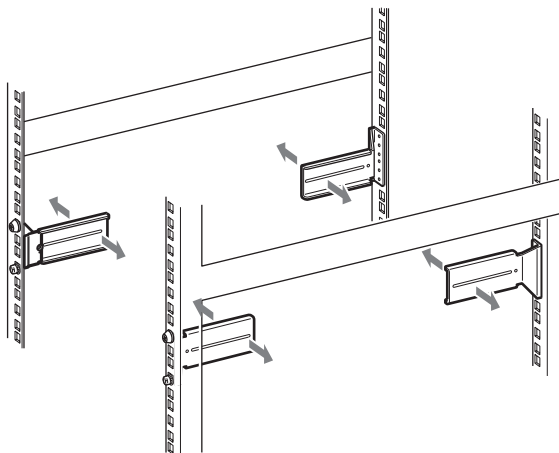
ご注意

- ・ ラック位置決めネジを使用するのは、上側のネジだけです。(後ろ側のブラケットの上側のネジにもラック位置決めネジを取り付けます。)
- ・ ネジ穴の中心位置は、ネジを取り付けない他の穴で確認してください。



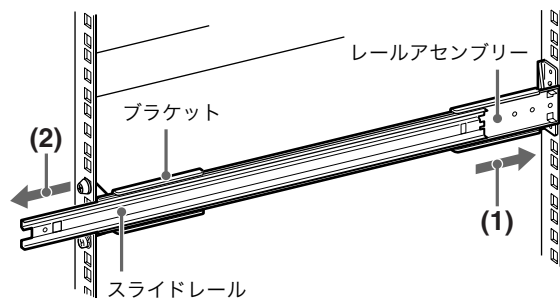
- 3** ネジ B、ラック位置決めネジを使って、後ろ側のブラケット 2 個をラックに取り付ける。

ラックの上側のネジ穴にラック位置決めネジを取り付け、ネジ B がラックのネジ穴の横幅の中心にくるようにブラケットを取り付けてください。
ブラケットの向きと高さをまちがえないように気をつけてください。



レールアセンブリーをブラケットに取り付ける

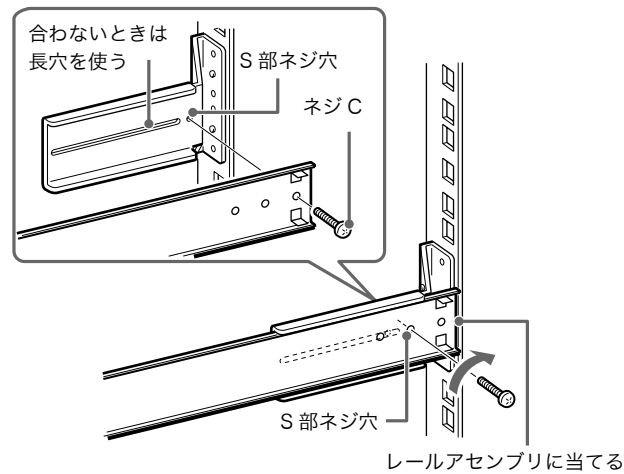
- 1** レールアセンブリーをブラケットにのせて、ラックの奥まで差し込み (1)、レールアセンブリーからスライドレールを手前に引き出す (2)。



- 2** ブラケットのネジ穴とレールアセンブリーのネジ穴を合わせ、ネジ C を使ってレールアセンブリーの後ろ側を止める。

ブラケットの S 部ネジ穴を使うと、ナットが不要になりますので、作業がしやすくなります。S 部ネジ穴が使えない場合は、ナットを使って固定してください。

ラックの奥の柱にレールアセンブリーを当てておくと、位置が決めやすくなります。レールの長さが足りないときは、ブラケットの長穴を使ってネジを止めてください。



- 3** スライドレールを手前に最後まで引き出し、ネジ C とナットを使って、レールアセンブリーの手前側を止める。

両方のブラケットで長穴を使うときは、ラックとレールアセンブリーの前後の位置をきちんと合わせてから、ネジを止めてください。

- 4** 同様にして、もう一方の側面にレールアセンブリーを左右対称の位置に取り付ける。

本装置をラックに取り付ける

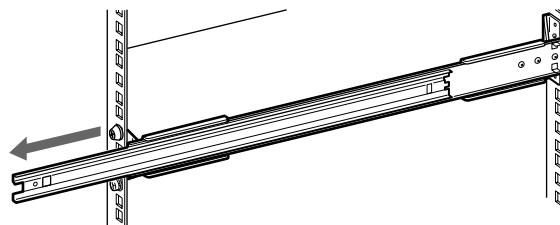
⚠ 注意



一人で持ち上げない

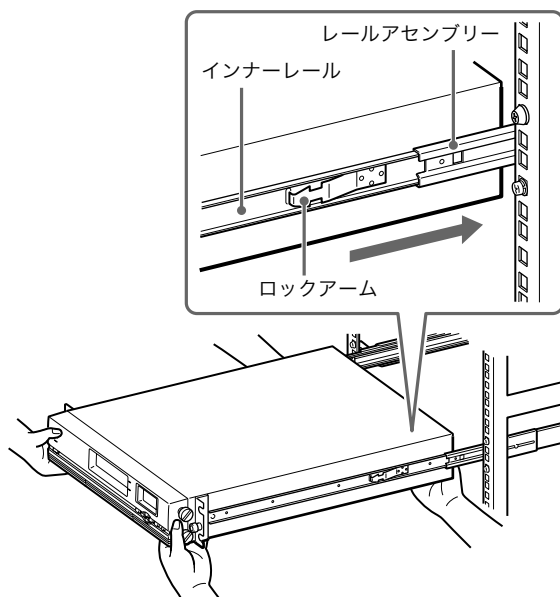
本装置は約 18kg の重さがあります。一人で持つと腰を痛めることがあります。運搬・移動は必ず二人で行ってください。

- 1** レールアセンブリーからスライドレールを引き出す。

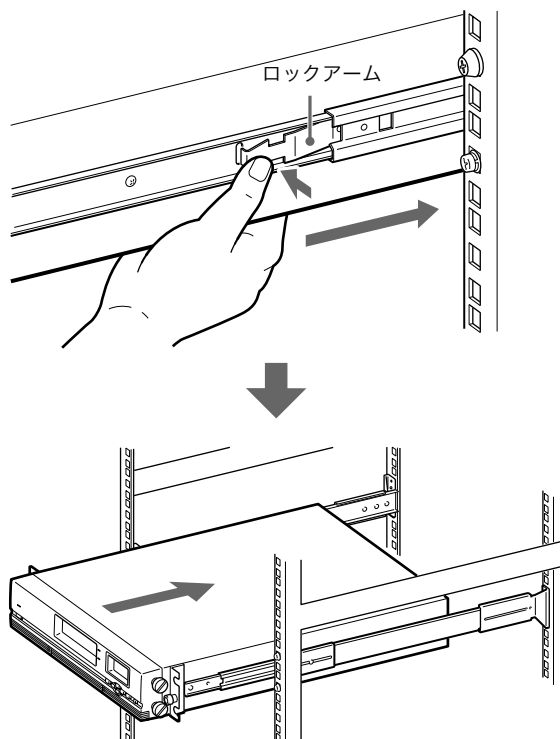


- 2** 2人以上で本装置を持ち上げ、インナーレールをレールアセンブリーにのせ、ロックアームの位置までスライドさせる。

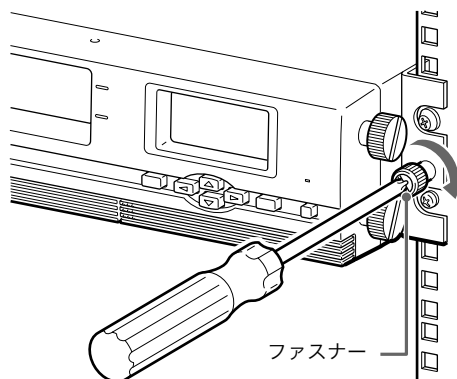
ロックアームの位置で止まります。



- 3** ロックアームを押してロックを解除してから、本装置をラックの奥までスライドさせる。

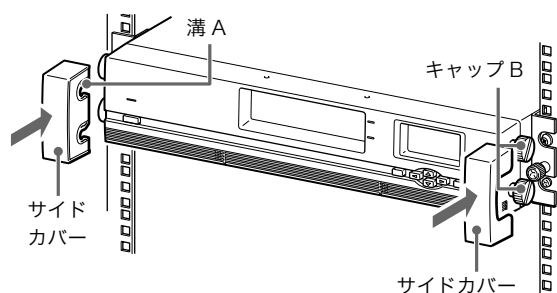


- 4** 前面の L 型金具のファスナーを回し、本装置が動かないように止める。



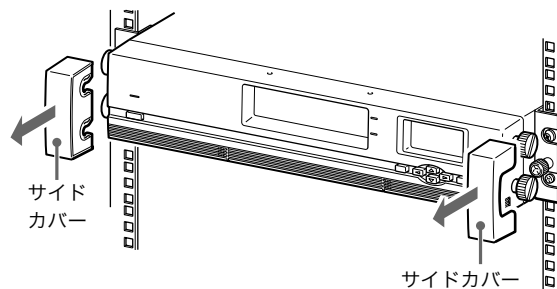
- 5** 同様に、もう一方も止める。
6 本装置がきちんとラックに入っていることを確認する。
7 前面の両側にサイドカバーを取り付ける。

サイドカバーの溝 A をキャップ B にはめ込み、矢印の方向に止まるまで押し付けて取り付けます。

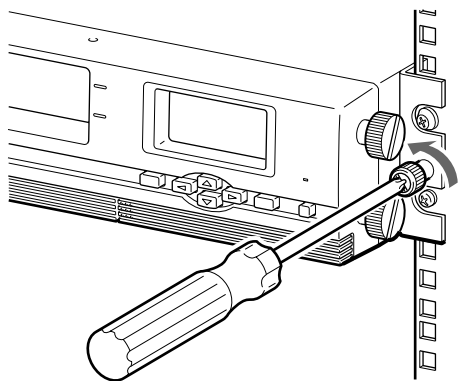


本装置をラックから取り外すには

- 1** 本装置の電源を切る。
フロントパネルのスタンバイスイッチで電源 OFF が可能な状態にしてから、背面の電源スイッチで電源を切ってください。
2 ケーブル類をすべて取り外す。
3 両側のサイドカバーを取り外す。



- 4 両側の L 型金具のファスナーをゆるめる。



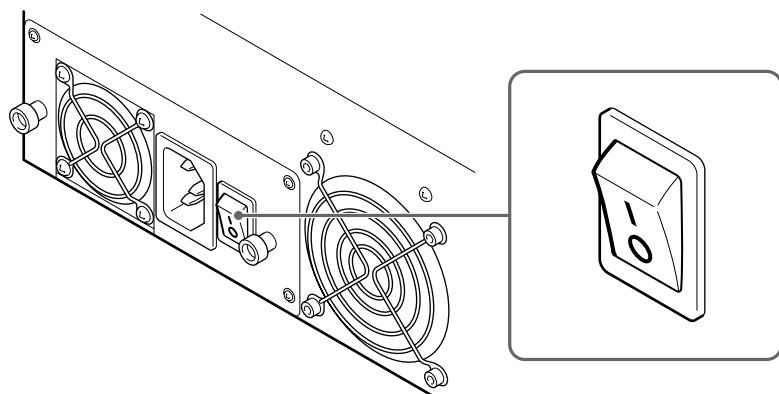
- 5 本装置をラックから引き出す。

- 6 必要に応じて、ラックからレールアセンブリーとブラケットを取り外す。

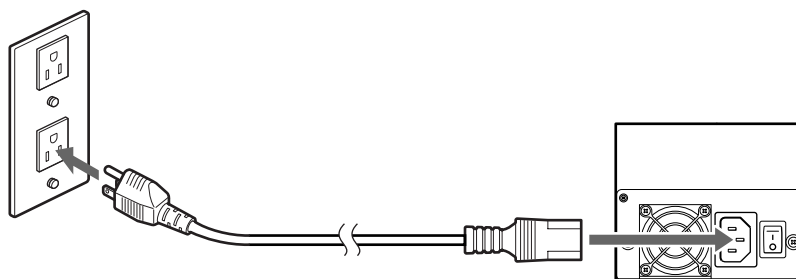
- 7 必要に応じて、本装置からインナーレールと L 型金具を取り外す。

電源ケーブルを接続する

- 1 本装置背面の電源スイッチがオフになっている（○が押されている）ことを確認する。



- 2 電源ケーブルの一方を本装置の電源コネクタに接続し、もう一方をコンセントに接続する。



ホストコンピューターに接続する



注意



電源が ON のまま取り付け・取り外しをしない

基本処理装置への取り付け・取り外しの際や、周辺機器との接続の際は必ず主電源に接続している電源コードを AC コンセントから抜いてください。電源コードが AC コンセントに接続されたまま取り付け・取り外しや接続をすると感電をするおそれがあります。

SCSI ケーブルで、本装置とホストコンピューターを接続します。ここでは、一般的な接続手順を説明します。接続には、弊社で指定している SCSI ケーブルを使用してください。

本装置側は 68 ピンハーフピッチのコネクターを使用しています。

ご注意

- ・ 本装置を High Voltage Differential (HVD) SCSI バスに接続しないでください。接続すると、本装置または SCSI バス上の他のデバイスが故障する恐れがあります。
- ・ SCSI ケーブルを接続するときは、ホストコンピューターおよびすべての接続機器の電源を切ってください。
- ・ 本装置を SCSI バスの終端に接続する場合は、必ず付属のターミネーターを取り付けてください。

1 ホストコンピュータと本装置の電源が切られていることを確認する。

2 図のようにして、SCSI ケーブルとターミネーターを取り付ける。

取り付けかたは、内蔵ドライブの数によって異なります。

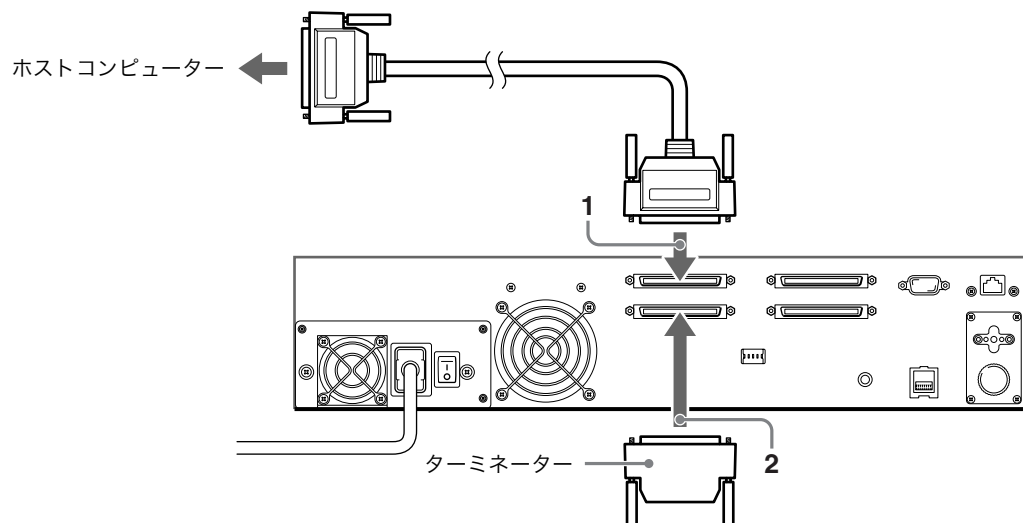
標準内蔵の AIT ドライブのみの場合 (AIT ドライブを増設していない場合)

1 SCSI ケーブルを使って、本装置とホストコンピュータを接続します。

SCSI ケーブルは、次の図のように接続します。

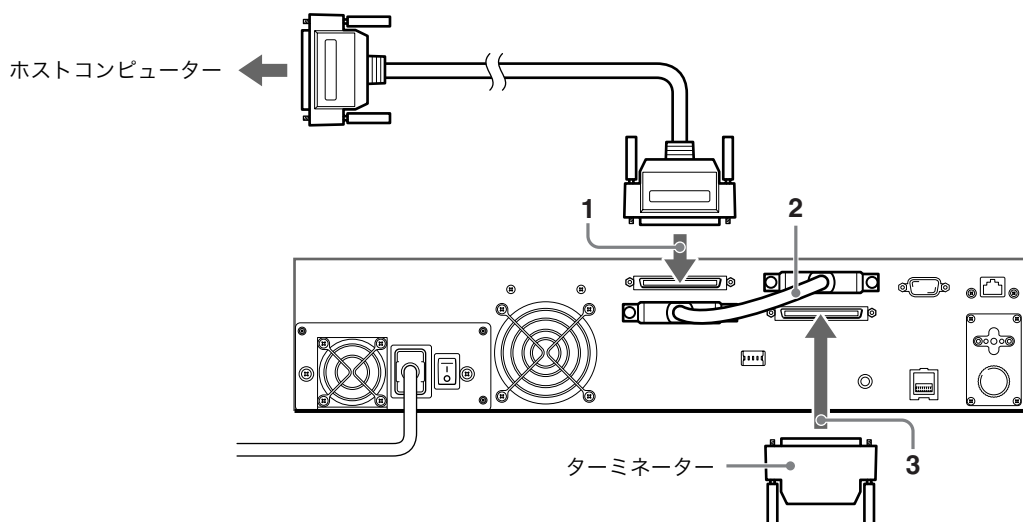
2 次の図のように、コネクターに、付属のターミネーターを取り付けます。

右側のコネクターには、何も接続しません。



AIT ドライブを増設している場合（AIT ドライブが 2 台内蔵されている場合）

- 1 本装置とホストコンピュータを接続します。SCSI ケーブルは、次の図のように接続します。
- 2 次の図のように、コネクタとコネクタに、N8160-42/N8160-45 AIT ライブラリ用増設ドライブに添付の SCSI ケーブルを取り付けます。
- 3 次の図のように、付属のターミネーターを取り付けます。



SCSI バスを設定する

ホストコンピューター側で SCSI バスの設定ができる場合は、本装置について以下のように設定します。

N8160-41 AIT ライブラリの場合

- ・ 転送レート： 40Mbytes/S (最大、同期)
- ・ データバス幅： 16 ビット (Ultra Wide SCSI、LVD/SE)
- ・ DISCONNECT/RECONNECT： 有効

N8160-44 AIT ライブラリの場合

- ・ 転送レート： 160Mbytes/S (最大、同期)
- ・ データバス幅： 16 ビット (Ultra 160 SCSI、LVD/SE)
- ・ DISCONNECT/RECONNECT： 有効

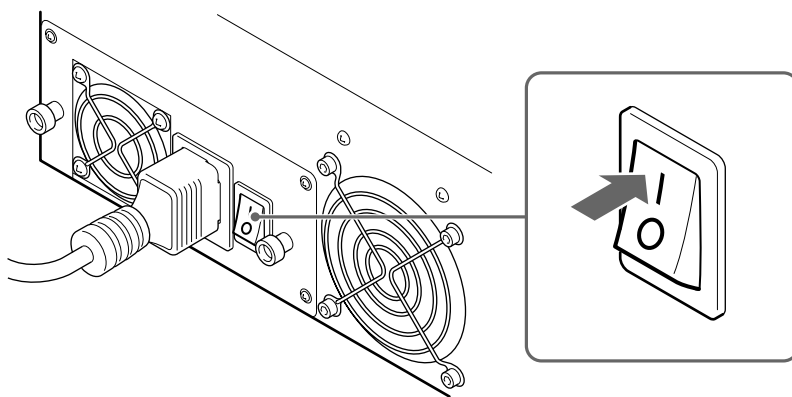
詳しくは、基本処理装置に添付の取扱説明書を参照してください。

電源を入れる / 切る

電源を入れる

本装置の電源を入れてから、ホストコンピューターの電源を入れます。

- 1 本装置背面の電源スイッチを押す。



背面の電源スイッチでのみ本装置の電源が入ります。

液晶ディスプレイに、初期化中の動作内容が表示されます。

初期化が完了し、日付と時刻を設定する画面が表示された場合は、本装置の日付と時刻の設定を変更できます。

```
Initialize completed  
Inventory 83
```

2 日付と時刻を変更するときは
[ENTER] ボタンを押す。変更しないときは、[CANCEL] ボタンを押す。

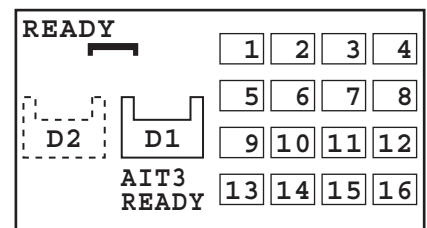
- ・ 日付と時刻の設定方法については、「日付と時刻を設定する」(46 ページ) をご覧ください。
- ・ 起動処理の後、日付と時刻を変更する画面を表示しないようにすることもできます。設定方法は、第3章「基本的な使いかた」の「日付と時刻を変更する画面を表示しないようにするには」(66 ページ) をご覧ください。

```
Jan/01/2001
12:00:50
Set the Date and Time
      if necessary
[ENTER] to set
[CANCEL] to exit
```

メモ

- ・ 本装置の電源が切れている間は、日付と時刻は更新されません。本装置を起動したときには、毎回日付と時刻の設定を行うことをおすすめします。
- ・ 5 分間何も操作しないでいると、自動的にステータス画面に移行します。

起動すると、右のステータス画面が表示されます。



3 本装置の電源を入れた後 15 秒以上待つてから、ホストコンピュータの電源を入れる。

このあとは、「初期設定をする」(45 ページ) にお進みください。

メモ

- ・ N8160-42/N8160-45 AIT ライブラリ用増設ドライブを取り付けたときは、はと表示されます。
- ・ SCSI ID が認識できるのは、15 秒以降です。
- ・ 上記のように動作しないときは、「その他」の「故障かな? と思ったら」(116 ページ) を参照してください。

電源を切る

1 フロントパネルのスタンバイスイッチを長く押す。

スタンバイスイッチを押すと、本装置内部の機構部が所定の位置に移動します。

右のメッセージが表示されます。電源は、自動的に切れません。

Shutdown

+++ Wait a minute +++

- 2 右のメッセージが表示されたら、背面の電源スイッチを切る。

ご注意

- ・ 背面の電源スイッチを押すだけで電源を切ることができますが、必ず上記の手順に従って電源を切るようにしてください。
- ・ 再度電源を入れるときは、10 秒間待ってから電源を入れてください。

メモ

スタンバイスイッチが誤って押されることを防ぐため、スタンバイスイッチの操作を無効にするように設定することもできます。設定方法は、第3章「基本的な使いかた」の「フロントパネルのボタンを無効にする」（72 ページ）を参照してください。

Ready for shutdown
Press
the power switch
on the rear of the
Library

初期設定をする

本装置が起動したら、以下の順序で初期設定を行います。

- 1 「Set the Date and Time if necessary」と表示されたら、[ENTER] ボタンを押して、本装置の日付と時刻を設定する。(46 ページ)

Jan/01/2001
12:16:10
Set the Data and Time
if necessary
[ENTER] to set
[CANCEL] to exit

- 2 必要に応じて、ライブラリと AIT ドライブの SCSI ID を設定する。(47 ページ)

- 3 カートリッジをセットする。(49 ページ)

- 4 ホストコンピュータで、本装置で使用するアプリケーションソフトウェアを設定する。

アプリケーションソフトウェアの説明書に従って、ライブラリに関する設定を行ってください。

- 5 必要に応じて、ネットワークに接続する。(52 ページ)

日付と時刻を設定する

操作パネルの [Configuration] メニューで、現在の日付と時刻を設定します。

メモ

- ・ 日付と時刻の設定は、ブラウザからでも設定できます。
- ・ 本装置の電源が切れている間は、日付と時刻は更新されません。

- 1 ステータス表示から、[MENU] ボタンを長く押す。
- 2 ▼ボタン、▲ボタンを使って [5.Configuration] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

- 3 [1.Date & Time] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

Configuration	12:34
1.Date & Time	
2.Warnig	
3.Bar Code	
4.R-MIC	
5.LCD Contrast	

- 4 [Date & Time] が表示されたら、▼ボタン、▲ボタンを使って [1.Set Date & Time] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

Date & Time	12:34
1.Set Date & Time	
2.Initial Setting	

日付と時刻を変更する画面が表示されます。

Date & Time	12:34
Date	Jan/01/2001
Time	10:10:10
Time Zone	
	Japan
	(GMT+ 9:00)

- 5 月、日、年を設定する。
 - 1 月の設定値が点滅したら、▼ボタン、▲ボタンを使って月を設定し、▶ボタンを押す。
 - 2 日の設定値が点滅したら、▼ボタン、▲ボタンを使って日を設定し、▶ボタンを押す。
 - 3 年の設定値が点滅したら、▼ボタン、▲ボタンを使って年を設定する。
 - 4 すべて設定したら、[ENTER] ボタンを押す。
- 6 時間、分、秒を設定する。
 - 1 時間の設定値が点滅したら、▼ボタン、▲ボタンを使って時間を設定し、▶ボタンを押す。
 - 2 分の設定値が点滅したら、▼ボタン、▲ボタンを使って分を設定し、▶ボタンを押す。
 - 3 秒の設定値が点滅したら、▼ボタン、▲ボタンを使って秒を設定する。
 - 4 すべて設定したら、[ENTER] ボタンを押す。

7 [Time Zone] の設定値が点滅したら、▼ボタン、▲ボタンを使って国名を設定し、[ENTER] ボタンを押す。

8 [[ENTER] to activate] が表示されたら、[ENTER] ボタンを押す。

日付と時刻、国名が設定され、
[Date & Time] の表示に戻ります。

Date & Time		12:34
Date	Jan/01/2001	
Time	10:10:10	
Time Zone	Japan	
	(GMT+ 9:00)	
[ENTER] to activate		

* 初期設定画面から行った場合は、
上記画面からステータス画面に移
行します。

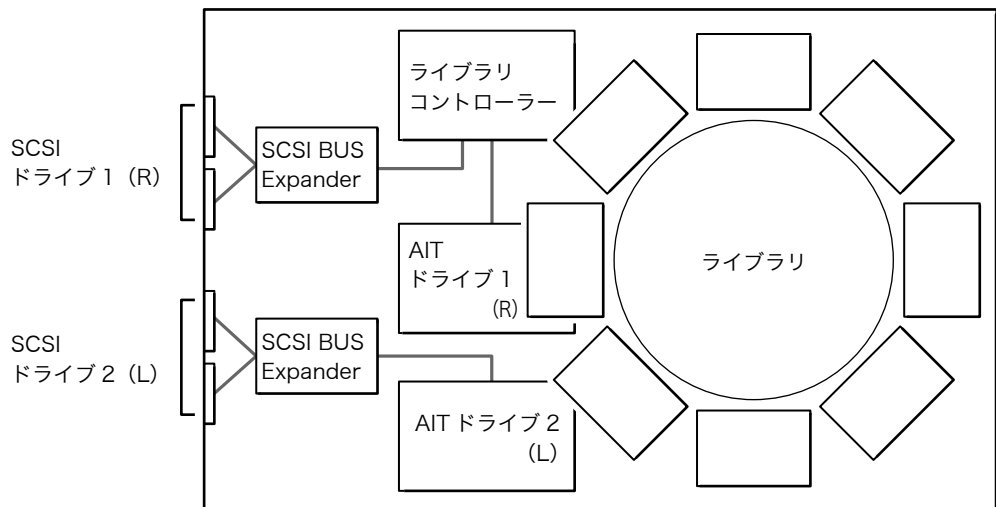
9 [CANCEL] ボタンを 3 回押して、ステータス表示に戻す。

ご注意

一度電源を切ると、正しい時刻が表示されなくなります。

SCSI ID を設定する

操作パネルの [SCSI] メニューで、ライブラリや AIT ドライブの SCSI ID や SCSI パリティを設定します。



SCSI ID について

ライブラリと AIT ドライブは、SCSI デバイスごとにそれぞれ別の SCSI ID を設定する必要があります。

工場出荷時の SCSI ID は、次のように設定されています。

- ・ ライブラリ : 0
- ・ AIT ドライブ 1 (R) : 1
- ・ AIT ドライブ 2 (L) : 2

SCSI パリティについて

SCSI パリティ機能を有効にすると、SCSI バスを介するすべてのデータに対してパリティチェックが行われます。

工場出荷時の SCSI パリティは、次のように設定されています。

- ・ ライブラリ： 有効 (YES)
- ・ AIT ドライブ 1 (R)： 有効 (YES)
- ・ AIT ドライブ 2 (L)： 有効 (YES)

ご注意

同一の SCSI バスに、重複する SCSI ID を設定しないでください。

メモ

- ・ AIT ドライブを増設しないときでも、ライブラリとドライブ 2 (L) の SCSI ID が重複しないように設定してください。
- ・ SCSI ID は、ブラウザからでも設定できます。

- 1 ステータス表示から、[MENU] ボタンを長く押す。
- 2 ▼ ボタン、▲ ボタンを使って [4.SCSI] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

SCSI		12:34
	ID	Parity
Library	00	YES
Drive1	01	YES
Drive2	02	YES

- 3 ライブラリの SCSI ID と SCSI パリティを設定する。
 - 1 [Library] の [ID] の設定値が点滅したら、▼ ボタン、▲ ボタンを使って SCSI ID を設定し、▶ ボタンを押す。
 - 2 [Parity] の設定値が点滅したら、▼ ボタン、▲ ボタンを使って SCSI パリティを設定し、[ENTER] ボタンを押す。
SCSI パリティ機能を有効にするときは [YES] を選択します。

- 4 同様にして、ドライブ 1 (R) とドライブ 2 (L) を設定する。

AIT ドライブを増設していないときは、[ENTER] を押して、先に進んでください。

- 5 [[ENTER] to activate] が表示されたら、[ENTER] ボタンを押す。

SCSI		12:34
	ID	Parity
Library	00	YES
Drive1	01	YES
Drive2	02	YES
[ENTER] to activate		

6 [[ENTER] to reset] が表示されたら、[ENTER] ボタンを押す。

本装置が再起動します。

Warning	12:34
Reboot the system to activate the setting	
[ENTER] to reset	

カートリッジをセットする

カートリッジの準備をして、本装置にカートリッジをセットします。

カートリッジを準備する

必要に応じて、カートリッジに付属のバーコードラベルを貼って、カートリッジを使用するための準備をします。バーコードラベルを貼ると、バーコードラベルの情報が液晶ディスプレイに表示されます。(バーコードラベルを貼らなくても構いません。)

ご注意

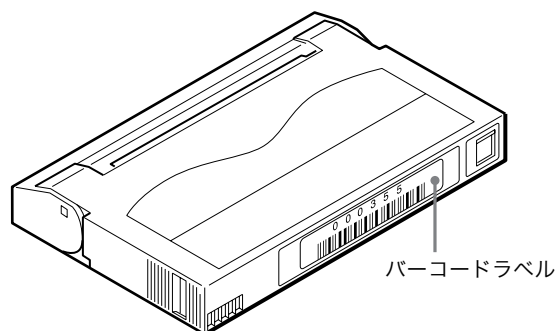
バーコードを読み取るように設定されているときに、バーコードラベルが貼られていないカートリッジを使用すると、電源を入れたときやカートリッジを操作した後のイニシャライズの時間が非常に長くなります。バーコードラベルが貼られているカートリッジを使用するか、バーコードの読み取りをしない設定に変更してください。バーコードの読み取り設定については、第3章「基本的な使いかた」の「バーコードの設定をする」(68 ページ)を参照してください。

メモ

- ・バーコードラベルの種類は、「コード 39」、「チェックデジット付き」に固定されています。変更することはできません。別売りのバーコードラベルを使用することをお勧めします。他社製のバーコードラベルを使用した場合は、読めないことがあります。別売りのバーコードラベルについては、「その他」の「消耗品」(119 ページ)をご覧ください。
- ・出荷時には、バーコードの読み取り設定は「NO」になっています。設定を変更する場合は、第3章「基本的な使いかた」の「バーコードの設定をする」(68 ページ)を参照してください。

1 カートリッジに付属のバーコードラベルを貼る。

図の位置に、数字を上にして、平行に貼ってください。



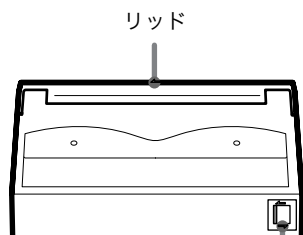
メモ

バーコードラベルは本装置に添付されていますが、追加が必要な場合は下記の部材が用意されていますので、販売店にお問い合わせください。

AIT ライブラリ用バーコードラベル EF-3245E

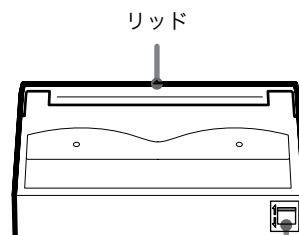
- 2 カートリッジの誤消去防止用ツメが書き込み可能の状態になっているか確認する。

AIT-1



ツメを左側に押すと書き込みや消去を行うことができる。←
ツメを右側に押すと書き込みや不慮の消去を防ぐことができる。⇒

AIT-2/AIT-3



ツメを下げると書き込みや消去を行うことができる。↓
ツメを上げると書き込みや不慮の消去を防ぐことができる。↑

カートリッジをセットする

カートリッジをライブラリにセットします。カートリッジをセットするときは、エレメントアドレスでスロットを指定します。エレメントアドレスについては、第3章「基本的な使いかた」の「エレメントアドレスの割り当てについて」（73ページ）を参照してください。

- 1 ステータス表示から、[MENU] ボタンを長く押す。
- 2 ▼ボタン、▲ボタンを使って [2.Eject/Insert Tape] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

[Eject/Insert] が表示されます。

- 3 [3.Insert Into Library] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

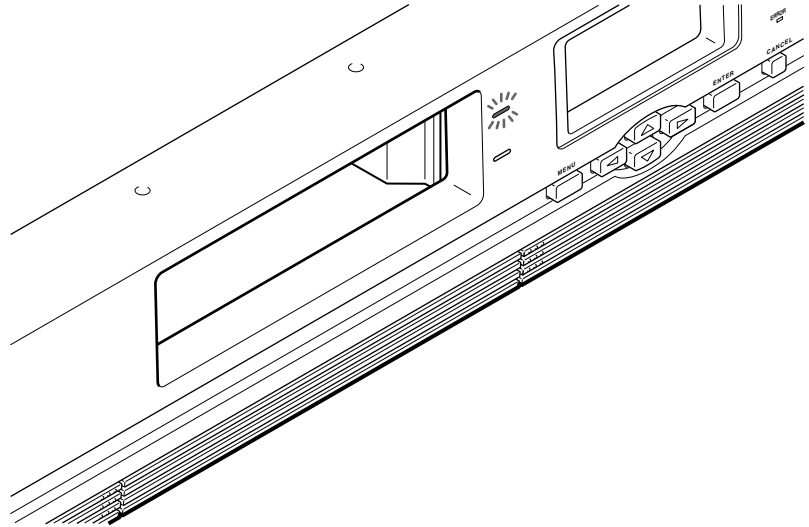
Eject/Insert 12:34
1.Eject From Library
2.Eject From Drive
3.Insert Into Library

- 4 ▼ボタン、▲ボタンを使って、カートリッジをセットするスロットのエレメントアドレスを設定し、[ENTER] ボタンを押す。

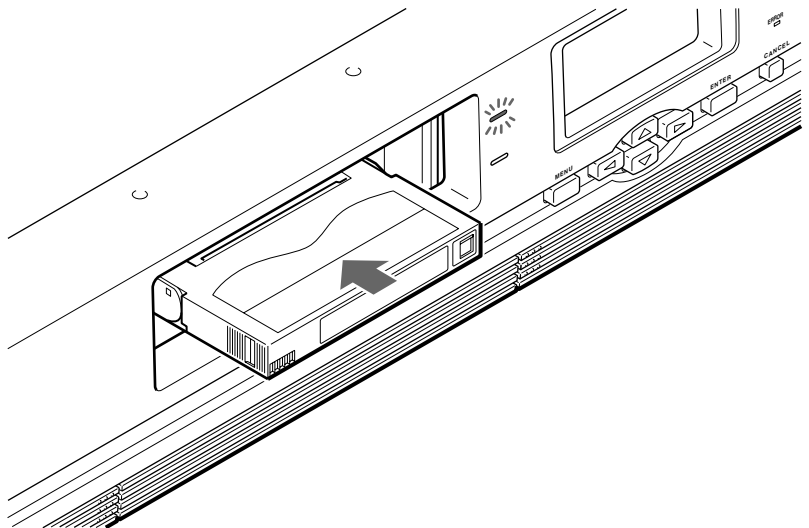
- 5 [[ENTER] to activate] が表示されたら、[ENTER] ボタンを押す。

Insert Tape	12:34
Library 01	
[ENTER] to activate	

カートリッジ投入 / 排出口のシャッターが開き、指定したスロットのLEDが点灯します。



- 6 LED が点灯しているスロットに、カートリッジをセットする。
奥まできちんと入れてください。



[Insert Tape ?] が表示されます。

メモ

スロットは2段になっていますので、LED が点灯していないスロットにもカートリッジをセットできます。例えば、スロット 01 を指定してシャッターを開けた場合でも、スロット 02 にカートリッジをセットできます。

```
Insert Tape 12:34
Library 01
Insert Tape ?
▲ to set
▶ to exit
▼ to set
```

- 7 続けて別のカートリッジをセットするときは、▲ ボタンまたは▼ ボタンを押して、スロットのエレメントアドレスを指定し、[ENTER] ボタンを押す。

シャッターが開いたら、同様にしてカートリッジをセットします。

```
Insert Tape 12:34
Library 01
Insert Tape ?
▲ to set
▶ to exit
▼ to set
[ENTER] to activate
```

- 8 すべてのカートリッジをセットしたら、▶ ボタンを押し、[ENTER] ボタンを押す。

```
Insert Tape 12:34
Library 01
Insert Tape ?
▲ to set
▶ to exit
▼ to set
```

シャッターが閉まり、LED が消えます。

- 9 [CANCEL] ボタンを2回押して、ステータス表示に戻す。

メモ

カートリッジをセットした後は、イニシャライズが行われますので、ステータス表示に戻るまで多少時間がかかります。(イニシャライズの間は、「Initializing」と表示されます。)

ネットワークに接続する

本装置をネットワークに接続すると、ブラウザを使って本装置の設定をしたり、ステータス情報を見ることができるようになります。

以下の順序で本装置をネットワークに接続します。

- ・ ネットワークの設定をする
- ・ ネットワークケーブルを接続する
- ・ 本装置を再起動する
- ・ ブラウザで本装置にアクセスする

メモ

- ・ブラウザを使って、各種設定したり、ステータス情報を見たりする方法については、第6章「Library Administration Menuを使う」（91 ページ）を参照してください。
- ・ブラウザから本装置の設定やメンテナンスを行うには、コンピューターにブラウザソフトウェアがインストールされている必要があります。本装置で動作確認しているオペレーティングシステムとブラウザは、以下のとおりです。
オペレーティングシステム：
 - Microsoft Windows 95、Microsoft Windows 98、Microsoft Windows Me、Microsoft Windows NT、Microsoft Windows 2000ブラウザ：
 - Microsoft Internet Explorer 5.01 以降
 - Netscape Communicator 4.7 以降

ネットワークの設定をする

操作パネルの [Network] メニューで、IP アドレスなど、ネットワークに接続するために必要な設定をします。

メモ

- ・ネットワークに接続した後は、ブラウザからネットワークの設定を変更することができます。
- ・本装置では、DNS はサポートされていないので、以下の手順の [Host]、[Domain]、[DNS1]、[DNS2] は設定する必要はありません。

1 ステータス表示から、[MENU] ボタンを長く押す。

2 ▼ ボタン、▲ ボタンを使って [6.Network] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

Menu	12:34
1.Information	
2.Eject/Insert Tape	
3.Move Tape	
4.SCSI	
5.Configuration	
6.Network	

[Network] が表示されます。

Network	12:34
Host	■

3 [Host] の設定値が点減したら、ホスト名を設定する。ただし、本装置では DNS はサポートされていません。

設定されていないときは、■ が点減します。

- ・ ホスト名を変更するときは、▼ ボタン、▲ ボタン、▶ ボタン、◀ ボタンを使って新しいホスト名を入力し、[ENTER] ボタンを押します。同一サブネット内に同じホスト名がないことを確認してから入力してください。
 - 使用できる文字は、英数字、記号 (! @ # \$ % & () - ' { } ~ ") です。64 文字以内で入力します。
 - 文字を削除するときは、スペース (" ") を使います。
- ・ ホスト名を変更しないときは、そのまま [ENTER] ボタンを押します。

4 [Domain] の設定値が点減したら、ドメイン名を設定する。ただし、本装置では DNS はサポートされていません。

設定されていないときは、■ が点減します。

- ・ ドメイン名を変更するときは、▼ ボタン、▲ ボタン、▶ ボタン、◀ ボタンを使って新しいドメイン名を入力し、[ENTER] ボタンを押します。
 - 使用できる文字は、英数字、記号 (! @ # \$ % & () - ' { } ~ ") です。64 文字以内で入力します。
 - 文字を削除するときは、スペース (" ") を使います。
- ・ ドメイン名を変更しないときは、そのまま [ENTER] ボタンを押します。

5 [DNS1] の設定値が点減したら、[ENTER] ボタンを押す。

ただし、本装置では DNS はサポートされていません。

6 [DNS2] の設定値が点減したら、[ENTER] ボタンを押す。

ただし、本装置では DNS はサポートされていません。

7 [Gateway] の設定値が点減したら、▼ ボタン、▲ ボタン、▶ ボタン、◀ ボタンを使ってデフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定し、[ENTER] ボタンを押す。

設定されていないときは、■ が点減します。

8 [DHCP] の設定値が点減したら、▼ ボタン、▲ ボタンを使って [YES] または [NO] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

- ・ DHCP サーバーが割り当てた IP アドレスを使用するときは、[YES] を選択します。このあとは、手順 12 にお進みください。
- ・ 固定の IP アドレスを使用するときは、[NO] を選択します。このあとは、手順 10 にお進みください。

9 [IP アドレス] の設定値が点減したら、▼ ボタン、▲ ボタン、▶ ボタン、◀ ボタンを使って IP アドレスを設定し、[ENTER] ボタンを押す。

設定されていないときは、■ が点減します。

- 10** [Subnet Mask] の設定値が点滅したら、▼ ボタン、▲ ボタン、▶ ボタン、◀ ボタンを使ってサブネットマスクを設定し、[ENTER] ボタンを押す。

設定されていないときは、■ が点滅します。

メモ

本装置の IP アドレスの初期値は、「192.168.0.1」です。お使いの環境に合わせて設定してください。

- 11** [[ENTER] to activate] が表示されたら、[ENTER] ボタンを押す。

ネットワークの各項目が設定され、[Network] の表示に戻ります。

Network	12:34
DHCP NO	
IP Address	192.168.0.1
Subnet Mask	255.255.255.0
[ENTER] to activate	

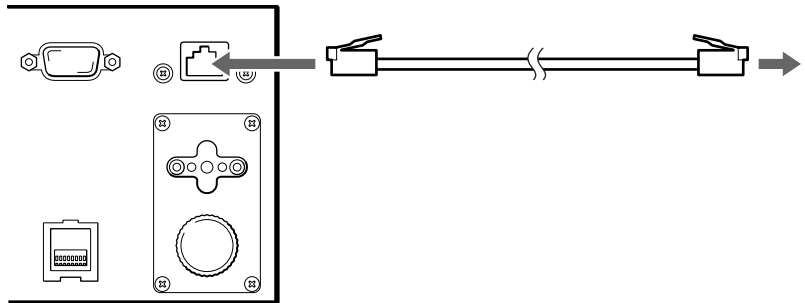
- 12** [CANCEL] ボタンを押して、ステータス表示に戻る。

- 13** フロントパネルのスタンバイスイッチを押して、スタンバイ状態にする。

ネットワークケーブルを接続する

ネットワークの設定が終了し、本装置の電源を OFF にしたら、ネットワークケーブルを接続します。

- 1** ネットワークケーブルを、本装置の Ethernet コネクタとハブに接続する。



- 2** 本装置の電源を入れる。

ブラウザで本装置にアクセスする

ブラウザで本装置がネットワークに接続されていることを確認します。

- 1 コンピューターで、ブラウザを起動する。
- 2 [アドレス] または [場所] に、「http://XXX.XXX.XXX.XXX/」と入力する。

「XXX.XXX.XXX.XXX」には、設定した IP アドレスを入力します。

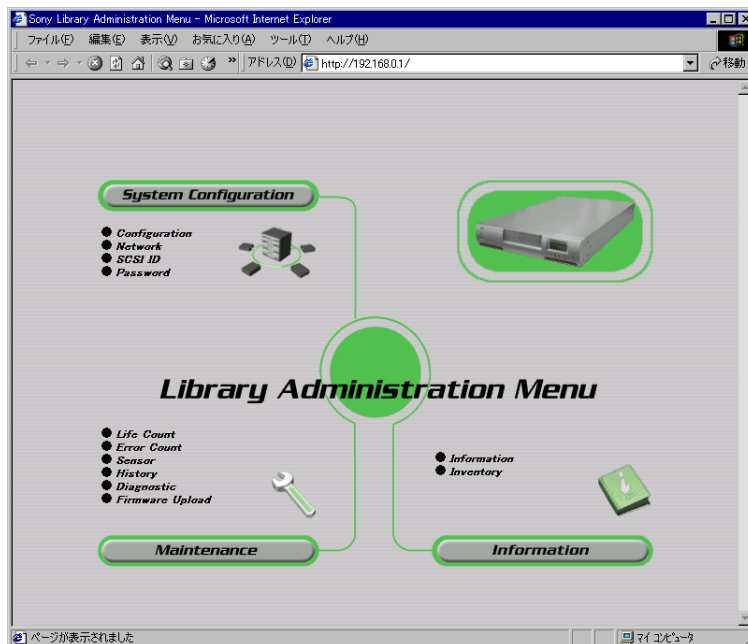
(例) 192.168.0.1

メモ

DHCP サーバーで割り当てられた IP アドレスを使用している場合は、現在の IP アドレスをブラウザのアドレス欄に入力してから、[Submit] をクリックしてください。現在の IP アドレスは、操作パネルの [Configuration] メニューの [Network] で確認できます。操作方法は、第 3 章「基本的な使いかた」の「操作ボタンの使いかた」(62 ページ)の「操作例」を参照してください。

「Library Administration Menu」のトップページが表示されます。

(例) 「Microsoft Internet Explorer」の場合



概要

操作パネルの使いかたや本装置の基本的な設定、カートリッジの取り扱い、エレメントアドレスの割り当て、日常のメンテナンスなどについて説明します。

操作パネルの使いかた

操作パネルを使って、ライブラリや AIT ドライブの設定、ネットワークの設定、本装置の各種情報の表示などを行うことができます。

ここでは、操作パネルでできることとメニュー項目、操作ボタンの使いかたなどについて説明します。

メニューの詳細や設定方法は、各参照先をご覧ください。

操作パネルでできること

操作パネルを使って、以下のことができます。

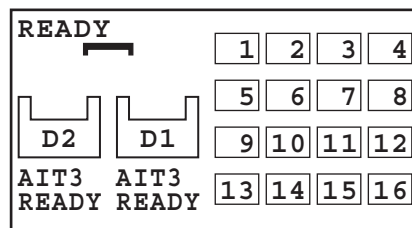
- ・ライブラリ、AIT ドライブに関する設定
- ・ネットワークに関する設定
- ・本装置に関する情報の表示
- ・ハードウェアのテスト

メモ

操作パネルを使ってできる設定や操作には、ブラウザから行えるものもあります。第 6 章「Library Administration Menu を使う」（91 ページ）を参照してください。

ステータス表示の見かた

通常動作時には、液晶ディスプレイに本装置のステータス情報が表示されます。



* 図は N8160-42/N8160-45 AIT ライブラリ用増設ドライブを搭載した場合

① ライブラリの稼働状況

表示の意味は、以下のとおりです。

[READY]： 待機中です。

[PICK]： ピッカーがカートリッジを取りに行っています。

[MOVE]： カートリッジを移動しています。

[PUT]： カートリッジを AIT ドライブまたはスロットにセットしています。

② AIT ドライブの種類

右側には AIT ドライブ 1 (R) の種類が、左側には AIT ドライブ 2 (L) の種類が表示されます。両方とも同じ種類が表示されていることを確認してください。また、カートリッジをセットするときも、この表示を確認し、使用できるカートリッジをセットしてください。

③ カートリッジのセット状態

ライブラリや AIT ドライブにカートリッジがセットされているときは、そのスロットやドライブが反転表示されます。

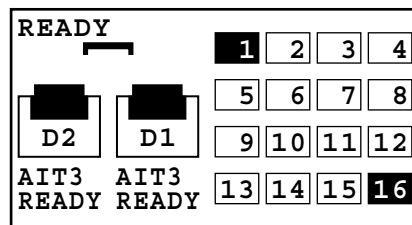
④ AIT ドライブの状態

AIT ドライブの内部または挿入口にカートリッジがセットされているときは、

 **D1** と表示されます。

AIT ドライブがセットされていないときは、点線で表示されます。

(例) スロット 1 と 16、ドライブ 1 (R) と 2 (L) にカートリッジがセットされている場合



⑤ AIT ドライブの稼働状況

表示の意味は、以下のとおりです。

[READY]： 待機中です。

[WRITE]： AIT ドライブがライト処理を行っています。

[READ]： AIT ドライブがリード処理を行っています。

[ERASE]： AIT ドライブがイレース処理を行っています。

[SPACE]： AIT ドライブがスペース処理を行っています。

[RWND]： AIT ドライブはカートリッジのリワインド処理中です。

[CLEAN]： AIT ドライブはドラムヘッドのクリーニング処理中です。

[LOAD]： AIT ドライブがローディング処理を行っています。

[UNLD]： AIT ドライブがアンローディング処理を行っています。

ご注意

実際の AIT ドライブの稼働状況をリアルタイムに表示することは保証しておりません。

⑥ ピッカー

ピッカーがカートリッジを持っていないときは、 と表示されます。

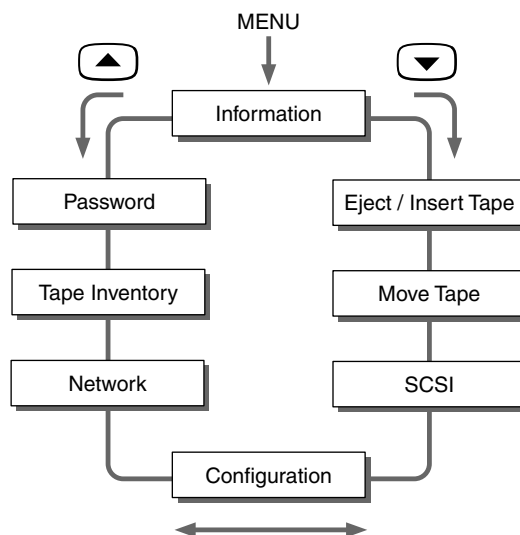
ピッカーがカートリッジをつかんで搬送しているときは、 と表示されます。

メモ

ブラウザを使って、ステータス情報を見ることもできます。第 6 章「Library Administration Menu を使う」（91 ページ）を参照してください。

メニュー項目

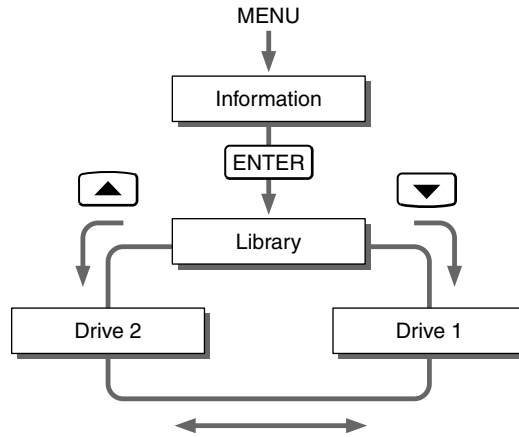
操作パネルのメニューには、以下のメニューがあります。



[Information] メニュー

ライブラリと AIT ドライブの情報を表示できます。

[Information] メニューには、以下のサブメニューがあります。



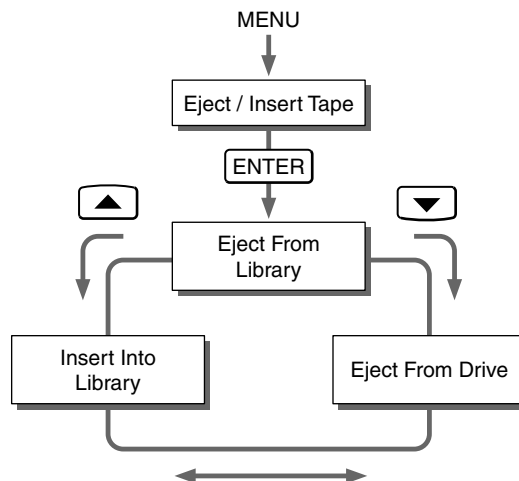
- [Library] メニュー
ライブラリに関する情報を表示できます。
→ 第4章「ライブラリを操作する」の「ライブラリに関する情報を見る」(82 ページ)
- [Drive 1] メニュー、[Drive 2] メニュー
AIT ドライブに関する情報を表示できます。
→ 第5章「AIT ドライブを操作する」の「AIT ドライブに関する情報を見る」(85 ページ)

[Eject/Insert Tape] メニュー

カートリッジをセット / 交換するときに使用します。

→ 第4章「ライブラリを操作する」の「カートリッジを交換する」(78 ページ)

[Eject/Insert Tape] メニューには、以下のサブメニューがあります。



- [Eject From Library]
ライブラリからカートリッジを取り出すときに使用します。

- [Eject From Drive]
AIT ドライブからカートリッジを排出させるときに使用します。ただし、スロットには移動しません。
- [Insert Into Library]
ライブラリにカートリッジをセットするときを使用します。

[Move Tape] メニュー

カートリッジを移動させるときに使用します。

→ 第 4 章「ライブラリを操作する」の「カートリッジを交換する」(78 ページ)

[SCSI] メニュー

ライブラリと AIT ドライブの SCSI ID と SCSI パリティを設定できます。

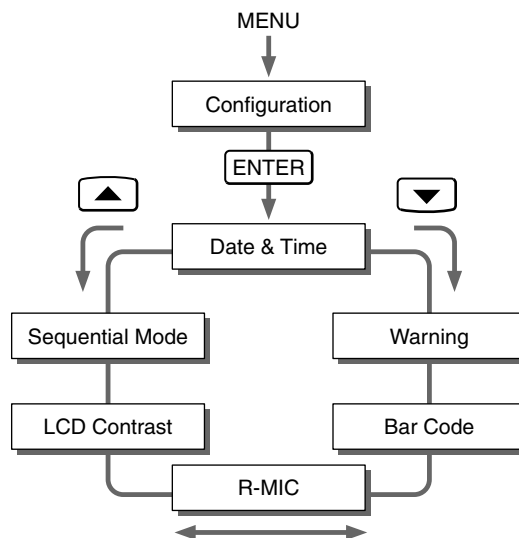
→ 第 2 章「設置する」の「SCSI ID を設定する」(47 ページ)

[Configuration] メニュー

日付と時刻、警告の表示、R-MIC、液晶濃度などを設定できます。

→ 本章の「基本的な設定をする」(66 ページ)

[Configuration] メニューには、以下のサブメニューがあります。



- [Date & Time]
日付と時刻の設定や、起動処理の後に日付と時刻を変更する画面を表示しないように設定することもできます。→ 本章の「日付と時刻を変更する画面を表示しないようにするには」(66 ページ)。
- [Warning]
動作回数の警告を表示させるように設定できます。
- [Bar Code]
カートリッジに貼られたバーコードを読み取るための設定ができます。
- [R-MIC]
AIT-3 カートリッジまたは R-MIC 付き AIT-2 カートリッジを使用する場合に、R-MIC 機能を有効にするかどうかを設定できます。
- [LCD Contrast]
液晶ディスプレイの濃度を調整できます。
- [Sequential Mode]
簡易シーケンシャルモードを有効にするかどうかを設定できます。

[Network] メニュー

ネットワークに接続するために必要な設定ができます。

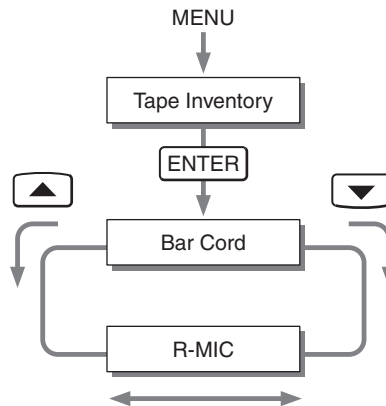
→ 第 2 章「設置する」の「ネットワークに接続する」(52 ページ)

[Tape Inventory] メニュー

カートリッジに関する情報を表示できます。

→ 第 4 章「ライブラリを操作する」の「カートリッジ情報を見る」(83 ページ)

[Tape Inventory] メニューには、以下のサブメニューがあります。



- [Bar Code]
バーコード情報を表示できます。
- [R-MIC]
R-MIC 情報を表示できます。

[Password] メニュー

本装置にパスワードを設定できます。パスワードは、イーサネット経由でブラウザから特定のメニューにアクセスするときに使用します。

→ 本章の「パスワードを設定 / 変更する」(65 ページ)

操作ボタンの使いかた

操作パネルには、以下の操作ボタンがあります。これらのボタンを使って、操作パネルメニューを操作します。

[MENU] ボタン

操作パネルメニューが表示されます。

◀ ボタン、▶ ボタン

カーソルが左右に移動します。設定値を選択したり、設定する文字や数値の位置を指定するときなどに使用します。

▲ ボタン、▼ ボタン

メニューを選択したり、文字や数値を入力するときなどに使用します。

- ▲を押すと前のメニューに戻り、▼を押すと次のメニューに移動します。
- ▲を押すと文字や数値が 1 つずつ進み、▼を押すと 1 つずつ戻ります。

[ENTER] ボタン

表示されているメニューや値を確定したり、操作を実行したりするときに使用します。

- ・ 表示されているメニューや操作が確定または実行されます。
- ・ 値が保存されます。
- ・ 不要な文字は、スペースを入力して削除します。

[CANCEL] ボタン

現在の操作をキャンセルして、1 つ前のメニューに戻ります。

操作例) ホスト名を設定する

1 ステータス表示から、[MENU] ボタンを長く押す。

2 ▼ ボタン、▲ ボタンを使って
[6.Network] を選択し、[ENTER]
ボタンを押す。

Menu	12:34
1.Information	
2.Eject/Insert Tape	
3.Move Tape	
4.SCSI	
5.Configuration	
6.Network	

[Network] が表示され、ホスト名の最初の文字にカーソルが表示されます。

Network	12:34
Host	
	<u>L</u> IB-162

3 ▼ ボタン、▲ ボタンを使って最初の文字を設定する。

4 ► ボタンを押してカーソルを次の文字に移動させ、文字を設定する。

5 同様にして、すべての文字を設定する。

Network	12:34
Host	
	<u>M</u> ACHINE-NAME

6 [ENTER] ボタンを押す。

7 [ENTER] ボタンを数回押して
[[ENTER] to activate] が表示され
たら、[ENTER] ボタンを押す。

ホスト名が設定され、[Network]
の表示に戻ります。

Network	12:34
DHCP YES	
IP Address	192.168.0.1
Subnet Mask	255.255.255.0
	[ENTER] to activate

8 [CANCEL] ボタンを押して、ステータス表示に戻る。

警告表示

AIT ドライブのクリーニングが必要なときや特定部品の定期交換時期がきたときなどに、液晶ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

Warning	12:34
Cleaning Request Drive1	

表示される警告メッセージと対処方法は、以下のとおりです。

[Cleaning Request] :

AIT ドライブのクリーニングが必要です。
このメッセージの下に表示されている AIT ドライブのクリーニングを行ってください。クリーニング方法は、第 5 章「AIT ドライブを操作する」の「AIT ドライブをクリーニングする」（86 ページ）を参照してください。

[Threshold Condition Met] :

このメッセージの下に表示されている駆動モーターの動作回数が所定の回数を越えました。
保守サービス会社までご連絡ください。

[Drive Information] :

AIT ドライブでエラーが発生しました。
表示の意味は、以下のとおりです。
Drive1（または 2） エラーが発生した AIT ドライブです。
Xx エラーコードです。

エラー表示

本装置にエラーが発生すると、液晶ディスプレイにエラーコードが表示されます。エラーコードについては、「その他」の「エラーコード一覧」（120 ページ）を参照してください。

Error	12:34
03010101	

パスワードを設定 / 変更する

本装置にパスワードを設定できます。パスワードは、イーサネット経由でブラウザから特定のメニューにアクセスするときに使用します。
ここでは、操作パネルでパスワードを設定 / 変更する手順を説明します。

パスワードは、本装置のセキュリティにおいて大変重要です。パスワードは厳重に管理してください。

メモ

パスワードの設定は、ブラウザからでも設定できます。

1 ステータス表示から、[MENU] ボタンを長く押す。

2 ▼ ボタン、▲ ボタンを使って
[8.Password] を選択し、
[ENTER] ボタンを押す。

Menu	12:34
7.Tape Inventory	
8.Password	

[Password] が表示されます。

Password	12:34
Enter Password	
? *****	
Enter New Password	
? *****	

3 [Enter Password] に、以下のようにして、現在のパスワードの最初の文字を設定する。

- ・ ▼ ボタン、▲ ボタンを使って文字を選択します。候補の文字は、[?] の部分に表示されます。
- ・ 候補の文字を表示させて ► ボタンを押すと、右に「*」と入力されます。
- ・ ◀ ボタンを 1 回押すと、「*」が 1 つ消去されます。
- ・ はじめてパスワードを設定するときは、「LIB-162A」と入力します。

4 同様にして、[Enter New Password] に、新しいパスワードを 8 文字以内の英数字、記号 (! @ # \$ % & () - ' { } ~ ") で設定する。

パスワードに設定できる文字数は、最大 8 文字です。8 文字を超えて入力することはできません。

5 [ENTER] ボタンを押す。

6 新しいパスワードをもう一度入力する。

7 [ENTER] ボタンを押す。

- 8 [[ENTER] to activate] が表示されたら、[ENTER] ボタンを押す。

パスワードが設定 / 変更され、
[Password] の表示に戻ります。

Password	12:34
Enter Password	
? *****	
Enter New Password	
? *****	
? *****	
[ENTER] to activate	

- 9 [CANCEL] ボタンを押して、ステータス表示に戻す。

基本的な設定をする

ここでは、操作パネルの [Configuration] メニューで、警告の表示、バーコード、液晶濃度を設定する手順について説明します。

メモ

[Configuration] メニューの [Date & Time] にある [Set Date & Time] については、第2章「設置する」の「日付と時刻を設定する」（46 ページ）を参照してください。

日付と時刻を変更する画面を表示しないようにするには

本装置の工場出荷時では、起動処理の後に日付と時刻を変更する画面が表示されるように設定されています。この設定のままでお使いになることを推奨します。
(以下の設定を行う必要はありません。)

変更するときは、[Configuration] メニューの [Date & Time] で行います。

- 1 ステータス表示から、[MENU] ボタンを長く押す。

- 2 ▼ ボタン、▲ ボタンを使って
[5.Configuration] を選択し、
[ENTER] ボタンを押す。

Configuration	12:34
1.Date & Time	
2.Warning	
3.Bar Code	
4.R-MIC	
5.LCD Contrast	
6.Sequential Mode	

- 3 [1.Date & Time] を選択し、
[ENTER] ボタンを押す。

[Date & Time] が表示されます。

Date & Time	12:34
1.Set Date & Time	
2.Initial Setting	

- 4 [2.Initial Setting] を選択し、
[ENTER] ボタンを押す。
[Initial Setting] が表示されます。

Initial Setting	12:34
Set the Date and Time after initialization	
Enable	Yes

- 5 ▼ボタン、▲ボタンを使って、[YES] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

工場出荷時は [YES] に設定されています。
起動処理の後に日付と時刻を変更する画面を表示させないようにするときは、
[NO] を選択します。

- 6 [[ENTER] to activate] が表示されたら、[ENTER] ボタンを押す。

起動処理の後に日付と時刻を変更する画面を表示する設定になり、[Date &
Time] の表示に戻ります。

- 7 [CANCEL] ボタンを 3 回押して、ステータス表示に戻す。

動作回数の警告を表示させないように設定するには

本装置の工場出荷時では、動作回数の警告を表示させるように設定されています。
この設定のままでお使いになることを推奨します。(以下の設定を行う必要はありません。)
変更するときは、[Configuration] メニュー [Warning] で行います。

メモ

動作回数の警告表示の設定は、ブラウザからでも設定できます。

- 1 ステータス表示から、[MENU] ボタンを長く押す。
- 2 ▼ボタン、▲ボタンを使って [5.Configuration] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。
- 3 [2.Warning] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

Configuration	12:34
1.Date & Time	
2.Warnig	
3.Bar Code	
4.R-MIC	
5.LCD Contrast	
6.Sequential Mode	

[Warning] が表示されます。

Warning	12:34
Enable	YES

- 4 ▼ボタンや▲ボタンを使って [YES] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

工場出荷時は [YES] に設定されています。
警告を表示させないときは、[NO] を選択します。

- 5 [[ENTER] to activate] が表示されたら、[ENTER] ボタンを押す。

動作回数の警告表示が設定され、
[Warning] の表示に戻ります。

Warning	12:34
Enable	YES
[ENTER] to activate	

- 6 [CANCEL] ボタンを 2 回押して、ステータス表示に戻す。

バーコードの設定をする

[Configuration] メニューの [Bar Code] で、カートリッジに貼られているバーコードを読み取るための設定をします。

メモ

バーコードの設定は、ブラウザからでも設定できます。

- 1 ステータス表示から、[MENU] ボタンを長く押す。
- 2 ▼ボタン、▲ボタンを使って [5.Configuration] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。
- 3 [3.Bar Code] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

Configuration	12:34
1.Date & Time	
2.Warnig	
3.Bar Code	
4.R-MIC	
5.LCD Contrast	
6.Sequential Mode	

[Bar Code] が表示されます。

Bar Code	12:34
Enable	YES

- 4 ▼ボタンや▲ボタンを使って [YES] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。
- 工場出荷時は、[NO] に設定されています。
バーコードの読み取りを行うときは、[YES] を選択します。
- 5 [CANCEL] ボタンを 2 回押して、ステータス表示に戻す。

ご注意

バーコードの読み取り機能を [YES] に設定した場合に、バーコードラベルが貼られていないカートリッジを使用すると、電源を入れたときやカートリッジを操作した後のイニシャライズの時間が非常に長くなります。バーコードラベルが貼られているカートリッジを使用するか、バーコードの読み取り機能を [NO] に設定してください。

R-MIC 機能を設定する

AIT-3 カートリッジまたは R-MIC 付き AIT-2 カートリッジを使用する場合に、[Configuration] メニューの [R-MIC] で、R-MIC 機能を有効にします。

メモ

- ・ R-MIC が付いていない AIT-2 カートリッジや AIT-1 カートリッジをお使いの場合は、このメニューを設定する必要はありません。
- ・ R-MIC の設定は、ブラウザからでも設定できます。

- 1 ステータス表示から、[MENU] ボタンを長く押す。
- 2 ▼ ボタン、▲ ボタンを使って [5.Configuration] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

- 3 [4.R-MIC] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

[R-MIC] が表示されます。

Configuration	12:34
1.Date & Time	
2.Warnig	
3.Bar Code	
4.R-MIC	
5.LCD Contrast	
6.Sequential Mode	

R-MIC	12:34
Enable	NO

- 4 ▼ ボタンや ▲ ボタンを使って [YES] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。
工場出荷時は、[NO] に設定されています。
R-MIC 機能を使用するときは、[YES] を選択します。

- 5 [[ENTER] to activate] が表示されたら、[ENTER] ボタンを押す。

R-MIC 機能が設定され、[R-MIC] の表示に戻ります。

R-MIC	12:34
Enable	YES
[ENTER] to activate	

- 6 [CANCEL] ボタンを 2 回押して、ステータス表示に戻す。

ご注意

R-MIC 機能を [YES] に設定した場合に、R-MIC が付いていないカートリッジを使用すると、電源を入れたときやカートリッジを操作した後のイニシャライズの時間が非常に長くなります。R-MIC が付いているカートリッジを使用するか、R-MIC 機能を [NO] に設定してください。

液晶濃度を調整する

[Configuration] メニューの [LCD Contrast] で、液晶ディスプレイの濃度を調整します。

- 1 ステータス表示から、[MENU] ボタンを長く押す。
- 2 ▼ ボタン、▲ ボタンを使って [5.Configuration] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

- 3 [5.LCD Contrast] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

Configuration	12:34
1.Date & Time	
2.Warnig	
3.Bar Code	
4.R-MIC	
5.LCD Contrast	
6.Sequential Mode	

[LCD Contrast] が表示されます。

LCD Contrast	12:34
! " # \$ % &	

- 4 [MENU] ボタンを押しながら ▼ ボタンや ▲ ボタンを押して、液晶濃度を調整し、[ENTER] ボタンを押す。

ディスプレイに表示されている文字を見ながら、液晶濃度を調整してください。

[MENU] ボタンを押しながら ▼ ボタンを押すと暗くなり、▲ ボタンを押すと明るくなります。

- 5 [[ENTER] to activate] が表示されたら、[ENTER] ボタンを押す。

液晶濃度が設定され、[LCD Contrast] の表示に戻ります。

LCD Contrast	12:34
! " # \$ % &	
[ENTER] to activate	

- 6 [CANCEL] ボタンを 2 回押して、ステータス表示に戻す。

簡易シーケンシャルモードを使用する

お使いのアプリケーションソフトウェアに応じて、[Configuration] メニューの [Sequential Mode] で簡易シーケンシャルモード機能を有効にします。
簡易シーケンシャルモード機能を有効にすると、アプリケーションソフトウェアからの指示で AIT ドライブがカートリッジを排出したときに、そのカートリッジを元のスロットに戻し、続いて次のスロットのカートリッジを AIT ドライブに挿入する動作を自動的に行います。また、AIT ドライブがカートリッジを排出した後に、次のスロットにカートリッジがない場合でも、最初のスロットにあるカートリッジを挿入して、シーケンシャル動作を継続するアンロード継続機能も設定できます。

ご注意

- ・ 本機能を使用するには、カスタマイズされたアプリケーションソフトウェアが必要です。通常は簡易シーケンシャルモード機能を使用しないでください。
- ・ アンロード継続機能は、シーケンシャルモード機能を有効にしたときのみ設定できます。

1 ステータス表示から、[MENU] ボタンを長く押す。

2 ▼ ボタン、▲ ボタンを使って [5. Configuration] を選択し、
[ENTER] ボタンを押す。

Configuration	12:34
1.Date & Time	
2.Warnig	
3.Bar Code	
4.R-MIC	
5.LCD Contrast	
6.Sequential Mode	

3 [6. Sequential Mode] を選択し、
[ENTER] ボタンを押す。

[Sequential Mode] が表示されます。

Sequential Mode	12:34
Sequential Mode NO	
Unload Continue NO	

4 [Sequential Mode] の設定値が点滅したら、▼ ボタン、▲ ボタンを使って、
[YES] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

工場出荷時は、[NO] に設定されています。
簡易シーケンシャルモードを使用しないときは、[NO] を選択します。

5 [Unload Continue] の設定値が点滅したら、▼ ボタン、▲ ボタンを使って、
[YES] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

工場出荷時は、[NO] に設定されています。
アンロード継続機能を使用しないときは、[NO] を選択します。

メモ

手順 4 の [Sequential Mode] で [YES] を選択していない場合は、
[Unload Continue] は設定できません。

6 [[ENTER] to activate] が表示されたら、[ENTER] ボタンを押す。

[CANCEL] ボタンを 2 回押して、ステータス表示に戻す。

フロントパネルのボタンを無効にする

スタンバイスイッチや操作ボタンが誤って押されることを防ぐため、フロントパネルのボタンを無効にすることができます。

設定は、ブラウザを使って「Library Administration Menu」で行ないます。

「Library Administration Menu」の詳細については、第6章「Library Administration Menu を使う」（91 ページ）を参照してください。

1 コンピュータでブラウザを起動し、「Library Administration Menu」にアクセスする。

2 [System Configuration] をクリックする。

「Configuration」ページが表示されます。

Configuration	Network	SCSI ID	Password
Date & Time 2001 / 1 / 1 13 : 39			
Life Warning	☐ Enable	☒ Disable	
Key Operation	☒ Enable	☐ Disable	
R-MIC	☐ Enable	☒ Disable	
Bar Code	☒ Enable	☐ Disable	
Submit			

3 [Key Operation] で、[Disable] をクリックして選択する。

4 [Submit] をクリックする。

本装置に設定されます。

メモ

本装置背面の電源スイッチで電源を切ると、[Key Operation] は [Enable] に戻ります。

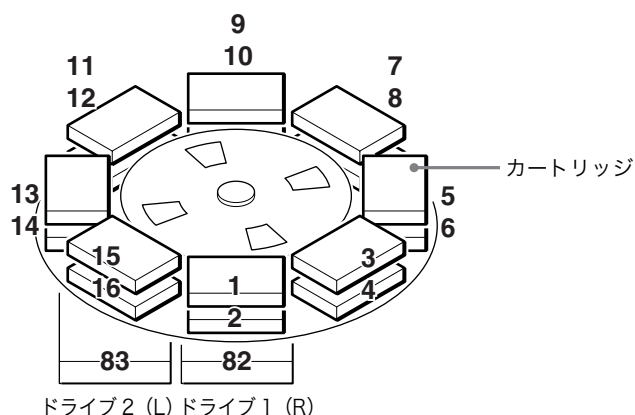
エレメントアドレスの割り当てについて

カートリッジを収納できる物理的位置のことをエレメントといいます。アプリケーションは、エレメントアドレスを使用して、本装置のエレメントを識別します。

本装置では、以下のようにカートリッジスロットと AIT ドライブにエレメントアドレスが割り当てられています。

メモ

- ・ 本装置のエレメントアドレスは、固定番号になっていますので、変更することはできません。
- ・ 本装置の液晶ディスプレイでは、ドライブ 1 およびドライブ 2 をエレメントアドレス（82 および 83）ではなく、それぞれ D1 および D2 と表示しています。エレメントアドレスを使用してカートリッジを操作する方法については、第 4 章「ライブラリを操作する」の「カートリッジを操作する」（75 ページ）を参照してください。



カートリッジの取り扱いについて

カートリッジを取り扱うときや保管するときは、以下のことに注意してください。

取り扱い上のご注意

- ・ カートリッジに激しい振動を与えたり、落としたりしないでください。
- ・ カートリッジが本装置にセットされると、自動的にリッドが開くようになっています。カートリッジのリッドを手で開けて、中のテープに触れないでください。
- ・ カートリッジは、工場出荷時に精密に調整されていますので、分解しないでください。

- ・カートリッジのツメは、不要なデータを誤って書き込まないためのものです。書き込みの必要のないカートリッジは、書き込みできない状態にしておいてください。→第2章「設置する」の「カートリッジを準備する」（49 ページ）を参照してください。
- ・温度差の激しい場所や湿気の多いところでは、結露により、書き込み、読み取りができなくなることがあります。
- ・書き込み、読み取りの必要がないときは、不必要にカートリッジを本装置に出し入れしないでください。

保管上のご注意

- ・適切な環境でカートリッジを保管してください。
カートリッジのパッケージに記載されている保管温度、その他の周囲条件に従って保管してください。また、保管中に温度や湿度が変化しないようにしてください。直射日光の当たるところ、暖房機の近く、湿気の多いところには保管しないでください。自動車のダッシュボードやトレイには絶対に置かないでください。
- ・ほこりやちりの少ない場所に保管してください。
ほこりやちりの発生する原因を取り除いてください。保管場所近くでの喫煙、飲食を禁止してください。また、トナーや紙粉を排出する恐れのあるコピーやプリンターの近くにカートリッジを保管しないでください。
- ・カートリッジを保管するときは、誤消去防止用ツメを書き込み不可の位置にしてください。
- ・本装置からカートリッジを取り出したときは、できるだけ早く適切な場所に保管してください。
温度や湿度の変化、ほこりやちりによる汚損、手指などに触れることによるテープの損傷をできるだけ防ぐようにしてください。

日常のメンテナンス

定期的に、次のことを行ってください。

- ・AIT ドライブのクリーニング
1 週間に 1 回、使用する前にクリーニングカートリッジを使って AIT ドライブのクリーニングを行ってください。クリーニング方法は、第 5 章「AIT ドライブを操作する」の「AIT ドライブをクリーニングする」（86 ページ）を参照してください。
- ・エアーフィルターの掃除
エアーフィルターにほこりやちりが詰まると、内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。定期的にエアーフィルターの掃除を行なってください。エアーフィルターの取り外しかたは、「その他」の「エアーフィルターを交換する」（115 ページ）を参照してください。
- ・エアーフィルターの交換
1 年に 1 回、フロントパネルのエアーフィルターを交換してください。交換方法は、「その他」の「エアーフィルターを交換する」（115 ページ）を参照してください。

ライブラリを操作する

第

4

章

概要

本章では、カートリッジの取り出し / 交換 / 移動、ライブラリやカートリッジ、エラーなどの各種情報の見かた、ハードウェアテストなどについて説明します。

カートリッジを操作する

ここでは、カートリッジを取り出したり、交換したり、移動させたりする手順について説明します。

カートリッジの準備やセットのしかたについては、第 2 章「設置する」の「カートリッジをセットする」（49 ページ）を参照してください。

カートリッジを取り出す

ライブラリや AIT ドライブにセットされているカートリッジを取り出します。カートリッジを取り出すときは、エレメントアドレスでスロットを指定します。エレメントアドレスについては、第 3 章「基本的な使いかた」の「エレメントアドレスの割り当てについて」（73 ページ）を参照してください。

ここでは例として、ライブラリにセットされているカートリッジを取り出す手順について説明します。

- 1 ステータス表示から、[MENU] ボタンを長く押す。
- 2 ▼ ボタン、▲ ボタンを使って [2.Eject/Insert Tape] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

[Eject/Insert] が表示されます。

- 3 [1.Eject From Library] を選択し、
[ENTER] ボタンを押す。

取り出したいカートリッジがAITドライブにセットされているときは、
[2.Eject From Drive] を選択します。

```
Eject/Insert 12:34
1.Eject From Library
2.Eject From Drive
3.Insert Into Library
```

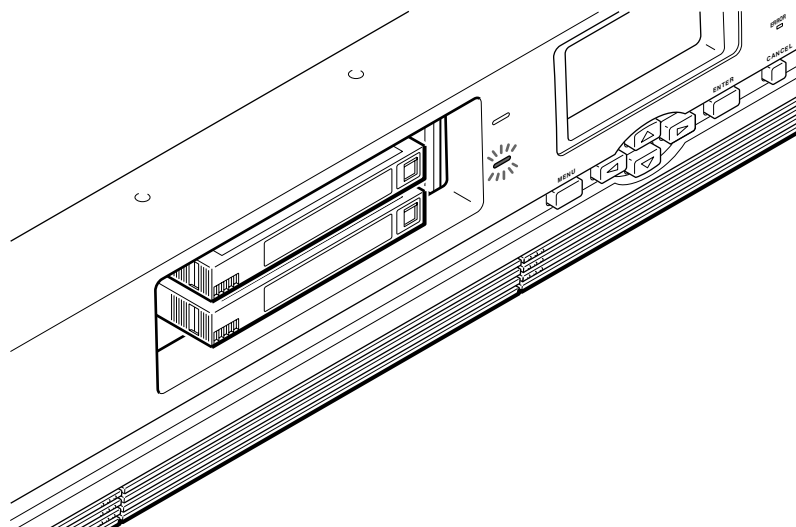
- 4 ▼ボタン、▲ボタンを使って、取り出したいカートリッジがセットされている
スロットのエレメントアドレスを設定し、[ENTER] ボタンを押す。

- 5 [[ENTER] to activate] が表示されたら、[ENTER] ボタンを押す。

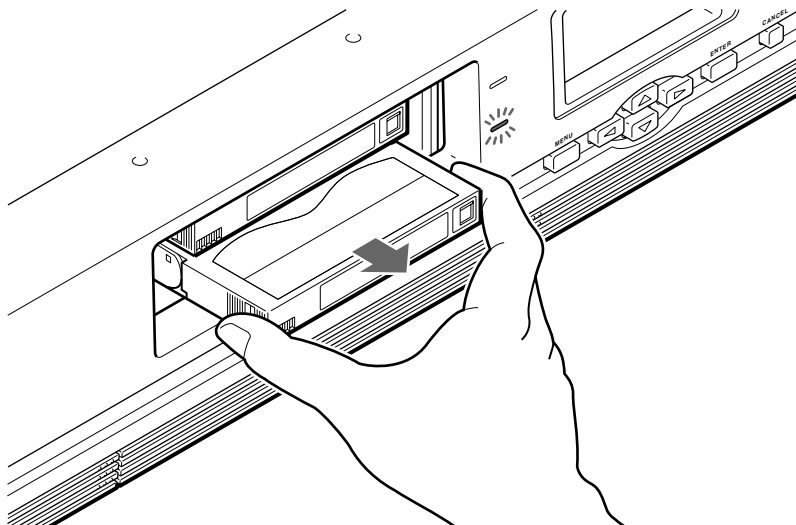
```
Eject Tape 12:34
Library 02

[ENTER] to activate
```

カートリッジ投入 / 排出口のシャッターが開き、指定したスロットのLEDが点灯します。



6 カートリッジを取り出す。



[Eject Tape ?] が表示されます。

メモ

スロットは2段になっていますので、LED が点灯していないスロットのカートリッジも取り出すことができます。

```
Eject Tape      12:34
Library 02
Eject Tape ?
▲ to set
▶ to exit
▼ to set
```

7 続けて別のカートリッジを取り出すときは、▲ボタンまたは▼ボタンを押して、スロットのエLEMENTアドレスを指定し、[ENTER] ボタンを押す。

シャッターが開いたら、同様にしてカートリッジを取り出します。

```
Eject Tape      12:34
Library 02
Eject Tape ?
▲ to set
▶ to exit
▼ to set
[ENTER] to activate
```

8 すべてのカートリッジを取り出したら、▶ボタンを押し、[ENTER] ボタンを押す。

```
Eject Tape      12:34
Library 02
Eject Tape ?
▲ to set
▶ to exit
▼ to set
```

シャッターが閉まり、LED が消えます。
カートリッジのチェックを行うためのイニシャライズが開始します。

9 [CANCEL] ボタンを2回押して、ステータス表示に戻す。

カートリッジを交換する

カートリッジを交換します。カートリッジを交換するときは、エレメントアドレスでスロットを指定します。エレメントアドレスについては、第3章「基本的な使いかた」の「エレメントアドレスの割り当てについて」（73 ページ）を参照してください。

ここでは例として、ライブラリにセットされているカートリッジを交換する手順について説明します。

- 1 ステータス表示から、[MENU] ボタンを長く押す。
- 2 ▼ボタン、▲ボタンを使って [2.Eject/Insert Tape] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

[Eject/Insert] が表示されます。

- 3 [1.Eject From Library] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

交換するカートリッジが AIT ドライブにセットされているときは、[2.Eject From Drive] を選択します。

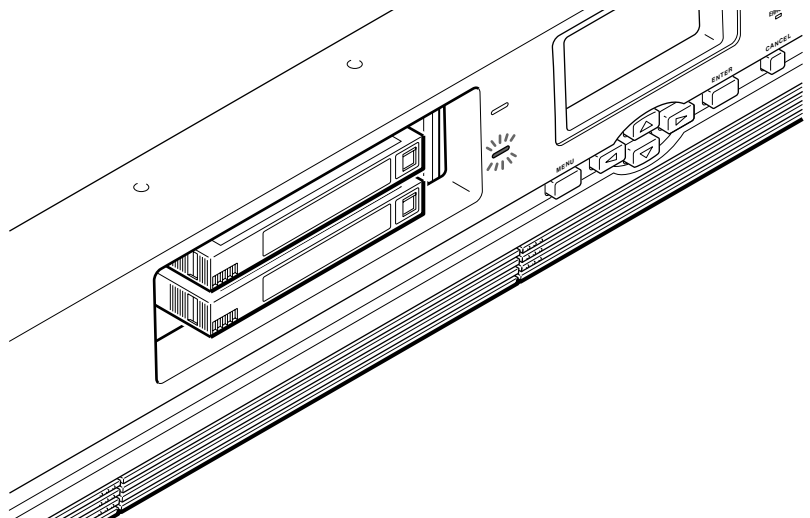
Eject/Insert 12:34
1.Eject From Library
2.Eject From Drive
3.Insert Into Library

- 4 ▼ボタン、▲ボタンを使って、交換するカートリッジがセットされているスロットのエレメントアドレスを設定し、[ENTER] ボタンを押す。

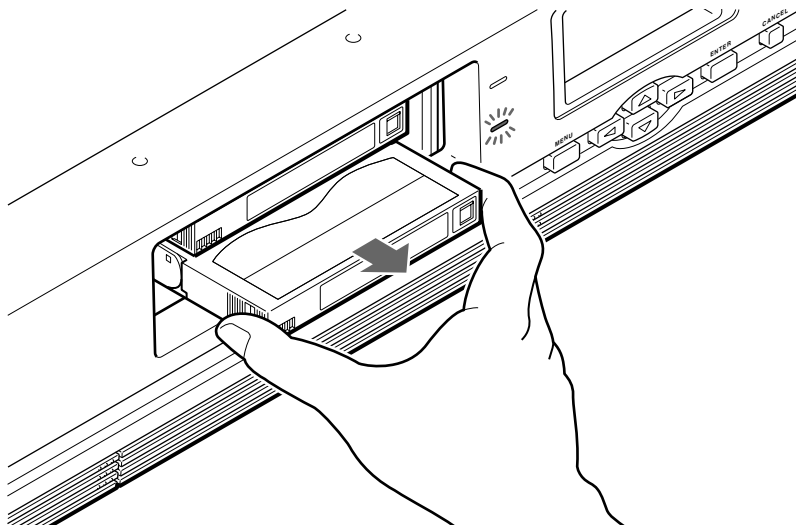
- 5 [[ENTER] to activate] が表示されたら、[ENTER] ボタンを押す。

Eject Tape 12:34
Library 02
[ENTER] to activate

カートリッジ投入 / 排出口のシャッターが開き、指定したスロットの LED が点灯します。



6 カートリッジを取り出す。



[Eject Tape ?] が表示されます。

メモ

スロットは2段になっていますので、LED が点灯していないスロットのカートリッジも交換できます。

```
Eject Tape      12:34
Library 02
Eject Tape ?
▲ to set
▶ to exit
▼ to set
```

7 続けて別のカートリッジを交換するときは、▲ボタンまたは▼ボタンを押して、スロットのエレメントアドレスを指定し、[ENTER] ボタンを押す。

シャッターが開いたら、同様にしてカートリッジを交換します。

```
Eject Tape      12:34
Library 02
Eject Tape ?
▲ to set
▶ to exit
▼ to set
[ENTER] to activate
```

8 すべてのカートリッジを取り出したら、▶ボタンを押し、[ENTER] ボタンを押す。

```
Eject Tape      12:34
Library 02
Eject Tape ?
▲ to set
▶ to exit
▼ to set
```

シャッターが閉まり、LED が消えます。

セットされたカートリッジのチェックを行うためのイニシャライズが開始します。

- 9 [3.Insert Into Library] を選択し、
[ENTER] ボタンを押す。

```
Eject/Insert 12:34
1.Eject From Library
2.Eject From Drive
3.Insert Into Library
```

[Insert Tape] が表示されます。

```
Insert Tape 12:34
Library 02
```

- 10 ▼ ボタン、▲ ボタンを使って、カートリッジをセットするスロットのエレメントアドレスを設定し、[ENTER] ボタンを押す。

- 11 [[ENTER] to activate] が表示されたら、[ENTER] ボタンを押す。

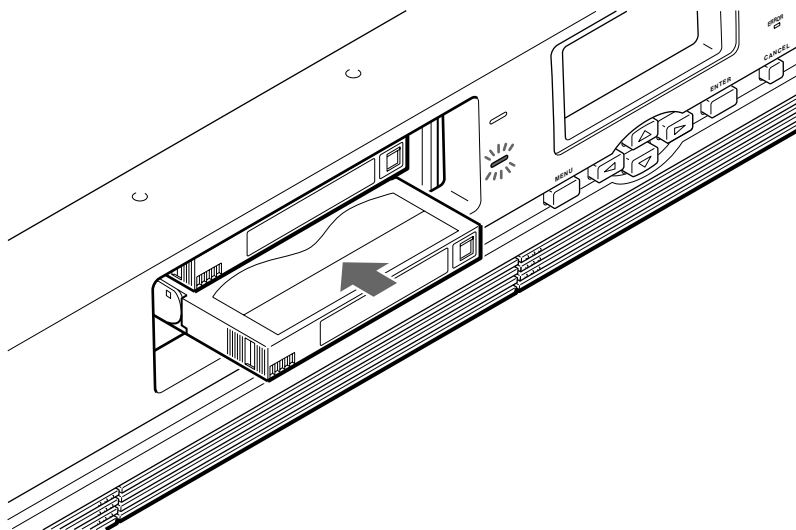
カートリッジ投入 / 排出口のシャッターが開き、指定したスロットのLEDが点灯します。

```
Insert Tape 12:34
Library 04
```

```
[ENTER] to activate
```

- 12 LED が点灯しているスロットに、カートリッジをセットする。

奥まできちんと入れてください。



[Insert Tape ?] が表示されます。

```
Insert Tape 12:34
Library 04
Insert Tape ?
▲ to set
▶ to exit
▼ to set
```

- 13** 続けて別のカートリッジをセットするときは、▲ ボタンまたは▼ ボタンを押し、[ENTER] ボタンを押す。

スロットのエLEMENTアドレスを設定する表示に戻りますので、同様にして、カートリッジをセットします。

```
Insert Tape 12:34
Library 04
Insert Tape ?
▲ to set
▶ to exit
▼ to set
[ENTER] to activate
```

- 14** すべてのカートリッジをセットしたら、▶ ボタンを押し、[ENTER] ボタンを押す。

```
Insert Tape 12:34
Library 04
Insert Tape ?
▲ to set
▶ to exit
▼ to set
```

シャッターが閉まり、LED が消えます。

カートリッジのチェックを行うためのイニシャライズが開始します。

- 15** [CANCEL] ボタンを 2 回押して、ステータス表示に戻す。

カートリッジを移動させる

すでにセットされているカートリッジを、別のスロットまたは AIT ドライブに移動させることができます。カートリッジを移動させるときは、ELEMENT アドレスでスロットを指定します。ELEMENT アドレスについては、第 3 章「基本的な使いかた」の「ELEMENT アドレスの割り当てについて」（73 ページ）を参照してください。

- 1** ステータス表示から、[MENU] ボタンを長く押す。
- 2** ▼ ボタン、▲ ボタンを使って [3.Move Tape] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。
- 3** ▼ ボタン、▲ ボタンを使って、移動元のカートリッジのELEMENTアドレスを設定し、[ENTER] ボタンを押す。

ドライブ 1 (R) の場合は「D1」、ドライブ 2 (L) の場合は「D2」と設定します。

- 4** ▼ ボタン、▲ ボタンを使って、移動先のELEMENTアドレスを設定し、[ENTER] ボタンを押す。

ドライブ 1 (R) の場合は「D1」、ドライブ 2 (L) の場合は「D2」と設定します。

- 5 [[ENTER] to activate] が表示されたら、[ENTER] ボタンを押す。

カートリッジが移動し、[Move Tape] の表示に戻ります。

Move Tape		12:34
Source	01	
Destination	D1	
[ENTER] to activate		

- 6 [CANCEL] ボタンを押して、ステータス表示に戻す。

メモ

バックアップソフトによっては、カートリッジを途中で移動させると、バックアップ/リストアなどに失敗することがあります。

ライブラリに関する情報を見る

操作パネルの [Information] メニューで、ライブラリに関する以下の情報を見ることができます。

- ・ペンダー ID
- ・製品名
- ・シリアル番号
- ・バージョン

メモ

ライブラリに関する情報は、ブラウザからでも見ることができます。

- 1 ステータス表示から、[MENU] ボタンを長く押す。
- 2 [1.Information] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。
- 3 [1.Library] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

Information		12:34
1.Library		
2.Drive1		
3.Drive2		

ライブラリ情報が表示されます。

Library		12:34
V/ID		
Name	LIB-162	
S/N	12345678	
Version	1.00	

- 4 [CANCEL] ボタンを 3 回押して、ステータス表示に戻す。

カートリッジ情報を見る

操作パネルの [Tape Inventory] メニューで、カートリッジに関する以下の情報を見ることができます。

- ・ バーコード情報
セットされているカートリッジのバーコード情報を、エレメントアドレスごとに見ることができます。
- ・ R-MIC 情報
AIT-3 カートリッジの場合に、セットされているカートリッジの R-MIC 情報を、エレメントアドレスごとに見ることができます。

メモ

- ・ エレメントアドレスについては、第 3 章「基本的な使いかた」の「エレメントアドレスの割り当てについて」（73 ページ）を参照してください。
- ・ バーコード情報と R-MIC 情報は、ブラウザからでも見ることができます。

1 ステータス表示から、[MENU] ボタンを長く押す。

2 ▼ ボタン、▲ ボタンを使って [7.Tape Inventory] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

[Tape Inventory] が表示されます。

Tape Inventory	12:34
1.Bar Code	
2.R-MIC	

3 バーコード情報を見るときは、[1.Bar Code] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

- ・ カートリッジがセットされていない場合は「No Tape」と表示されます。
- ・ バーコード情報がないカートリッジがセットされている場合は、何も表示されません。
- ・ ▼ ボタンを押すと次のエレメントアドレスの情報が表示され、▲ ボタンを押すと、前の表示に戻ります。

Bar Code	12:34
01:1234565	
02:No Tape	
03:1234566	

4 R-MIC 情報を見るときは、[2.R-MIC] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

- ・カートリッジがセットされていない場合は「No Tape」と表示されます。
- ・R-MIC 情報がないカートリッジがセットされている場合は、何も表示されません。
- ・▼ ボタンを押すと次のエレメントアドレスの情報が表示され、▲ ボタンを押すと、前の表示に戻ります。

R-MIC										12:34
01:123456768										
02:No Tape										
03:123456769										

5 [CANCEL] ボタンを 3 回押して、ステータス表示に戻す。

AIT ドライブを 操作する

第

5

章

概要

本章では、AIT ドライブに関する情報の見かた、AIT ドライブのクリーニングについて説明します。

AIT ドライブに関する情報を見る

操作パネルの [Information] メニューで、AIT ドライブに関する以下の情報を見ることができます。

- ・ ベンダー ID
- ・ 製品名
- ・ シリアル番号
- ・ バージョン

メモ

AIT ドライブに関する情報は、ブラウザからでも見ることができます。

1 ステータス表示から、[MENU] ボタンを長く押す。

[Information] が表示されます。

2 [2.Drive1] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

Information	12:34
1.Library	
2.Drive1	
3.Drive2	

AIT ドライブ情報が表示されます。

Drive1	12:34
V/ID	SONY
Name	SDX-700C
S/N	12345678
Version	01n0

- 3 [CANCEL] ボタンを 3 回押して、ステータス表示に戻す。

AIT ドライブをクリーニングする

AIT ドライブのクリーニングが必要になると、液晶ディスプレイに、次のようなメッセージが表示されます。

Warning	12:34
Cleaning Request	
Drive1	

クリーニングは、クリーニングカートリッジ EF-3237J を AIT ドライブにセットして行います。クリーニングカートリッジをセットするときは、エレメントアドレスでスロットと AIT ドライブを指定します。エレメントアドレスについては、第 3 章「基本的な使いかた」の「エレメントアドレスの割り当てについて」（73 ページ）を参照してください。

メモ

クリーニングカートリッジをいったんライブラリにセットしてから AIT ドライブに移動します。あらかじめ空いているスロットを確認しておいてください。確認方法は、第 4 章「ライブラリを操作する」の「カートリッジ情報を見る」（83 ページ）を参照してください。

- 1 ステータス表示から、[MENU] ボタンを長く押す。
- 2 ▼ ボタン、▲ ボタンを使って [2.Eject/Insert Tape] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

[Eject/Insert] が表示されます。

- 3 [3.Insert Into Library] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

Eject/Insert	12:34
1.Eject From Library	
2.Eject From Drive	
3.Insert Into Library	

[Insert Tape] が表示されます。

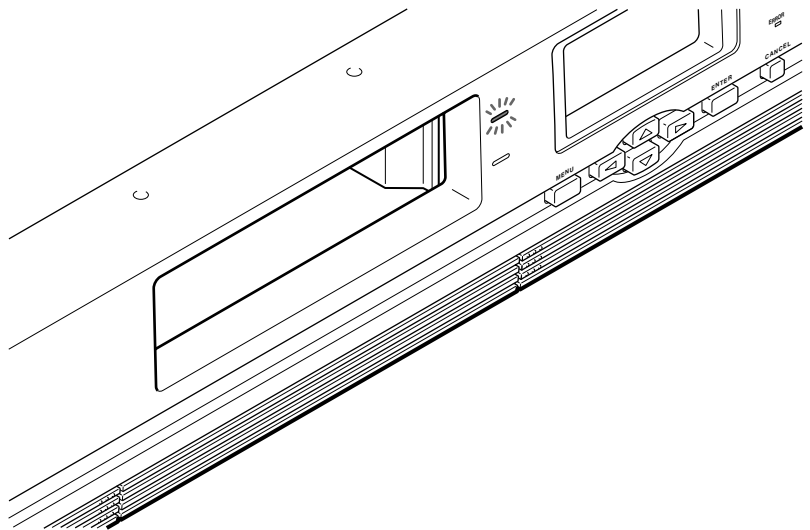
Insert Tape	12:34
Library 01	

- 4** ▼ボタン、▲ボタンを使って、クリーニングカートリッジをセットするスロットのエレメントアドレスを設定し、[ENTER] ボタンを押す。

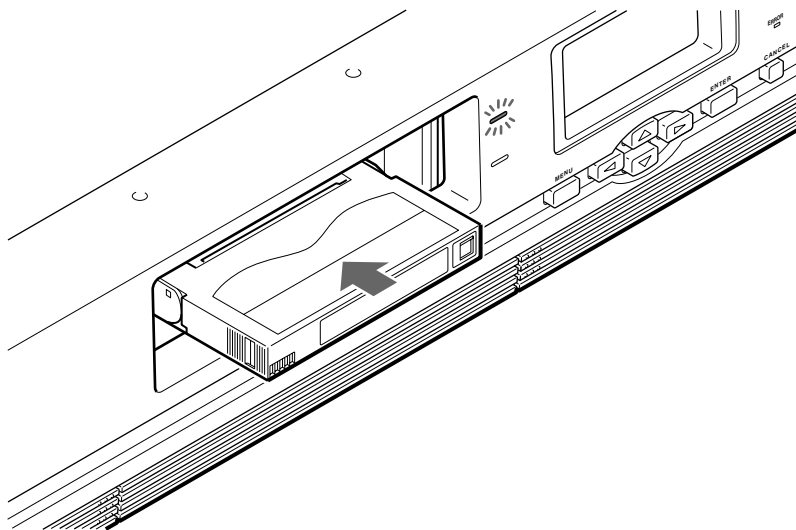
- 5** [[ENTER] to activate] が表示されたら、[ENTER] ボタンを押す。

Insert Tape	12:34
Library 01	
[ENTER] to activate	

カートリッジ投入 / 排出口のシャッターが開き、指定したスロットのLED が点灯します。



- 6 LED が点灯しているスロットに、クリーニングカートリッジをセットする。
奥まできちんと入れてください。



[Insert Tape ?] が表示されます。

Insert Tape	12:34
Library 01	
Insert Tape ?	
▲	to set
▶	to exit
▼	to set

- 7 ▶ ボタンを押し、[ENTER] ボタンを押す。

Insert Tape	12:34
Library 01	
Insert Tape ?	
▲	to set
▶	to exit
▼	to set

シャッターが閉まり、LED が消えます。
セットされたカートリッジのチェックを行うためのイニシャライズが開始します。

- 8 メニューに戻り、[3.Move Tape] を選択して [ENTER] ボタンを押す。

[Move Tape] が表示されます。

Move Tape	12:34
Source	01
Destination	D1

- 9 ▼ ボタン、▲ ボタンを使って、クリーニングカートリッジをセットしたエレメントアドレスを設定し、[ENTER] ボタンを押す。

- 10** ▼ボタン、▲ボタンを使って、クリーニングしたい AIT ドライブの元素トアドレスを設定し、[ENTER] ボタンを押す。

ドライブ 1 (R) の場合は「D1」、ドライブ 2 (L) の場合は「D2」と設定します。

- 11** [[ENTER] to activate] が表示されたら、[ENTER] ボタンを押す。

Move Tape		12:34
Source		01
Destination		D1
[ENTER] to activate		

クリーニングカートリッジが AIT ドライブに移動し、クリーニングが開始されます。クリーニングが終了するまで約 30 秒かかります。(クリーニング終了のメッセージなどは表示されませんので、約 30 秒お待ちください。)

- 12** [Move Tape] メニューを使って、AIT ドライブからライブラリにクリーニングカートリッジを移動させる。

- 13** [Eject/Insert Tape] メニューの [1.Eject from Library] を使って、クリーニングカートリッジを取り出す。

- 14** [CANCEL] ボタンを 2 回押して、ステータス表示に戻す。

メモ

エラーが表示されたときは、再度クリーニングを行ってください。

Library Administration Menu を使う

第

6

章

概要

本章では、「Library Administration Menu」でできることや操作方法、メニューの詳細について説明します。「Library Administration Menu」では、ブラウザを使って、システムやネットワーク、SCSI ID に関する設定や操作、本装置の動作状況の確認、ライブラリや AIT ドライブ情報の閲覧などが行えます。

メモ

ブラウザから本装置の設定やメンテナンスを行うには、コンピュータにブラウザソフトウェアがインストールされている必要があります。本装置で動作確認しているオペレーティングシステムとブラウザは、以下のとおりです。

オペレーティングシステム：

- Microsoft Windows 95、Microsoft Windows 98、Microsoft Windows Me、Microsoft Windows NT、Microsoft Windows 2000

ブラウザ：

- Microsoft Internet Explorer 5.01 以降
- Netscape Communicator 4.7 以降

「Library Administration Menu」を使うときのご注意

「Library Administration Menu」を使うときは、以下のブラウザの設定にご注意ください。

- 「JavaScript の有効・無効」を「有効」に設定していない場合は、[Date & Time] の時間が進みません。
- 「Web ページで指定されたフォントサイズ（スタイル）を使用しない」に設定した場合は、レイアウトが崩れて表示されることがあります。
- ブラウザの「戻る」ボタンを使用して表示される画面は、ブラウザのキャッシュに保存されている画面が表示されるため、本装置の最新の情報でないことがあります。
- 間違ったパラメーターを入力したときに、ブラウザのキャッシュ機能により、元の設定値の表示に戻らないことがあります。その場合は、ブラウザの「戻る」ボタンを使用して、元の設定値に戻してください。
- NetScape 6.0 を使用する場合は、フォントサイズを「100%」に設定しないと、レイアウトが崩れて表示されることがあります。また、「常にユーザー設定のフォントを使用する」を選択すると、レイアウトが崩れて表示されることがあります。

Library Administration Menu でできること

ブラウザを使って「Library Administration Menu」にアクセスすると、以下のことができます。

- ・ システムに関する設定
- ・ ネットワークに関する設定
- ・ SCSI ID に関する設定
- ・ パスワードの設定 / 変更
- ・ ファームウェアのアップデート
- ・ 動作状況の確認
- ・ ライブラリのチェック
- ・ ライブラリや AIT ドライブ情報の閲覧
- ・ ログの閲覧

Library Administration Menu を操作する

ブラウザを使って、「Library Administration Menu」を操作します。

- 1 クライアントコンピュータで、ブラウザを起動する。
- 2 [アドレス] または [場所] に、「http://XXX.XXX.XXX.XXX/」と入力する。

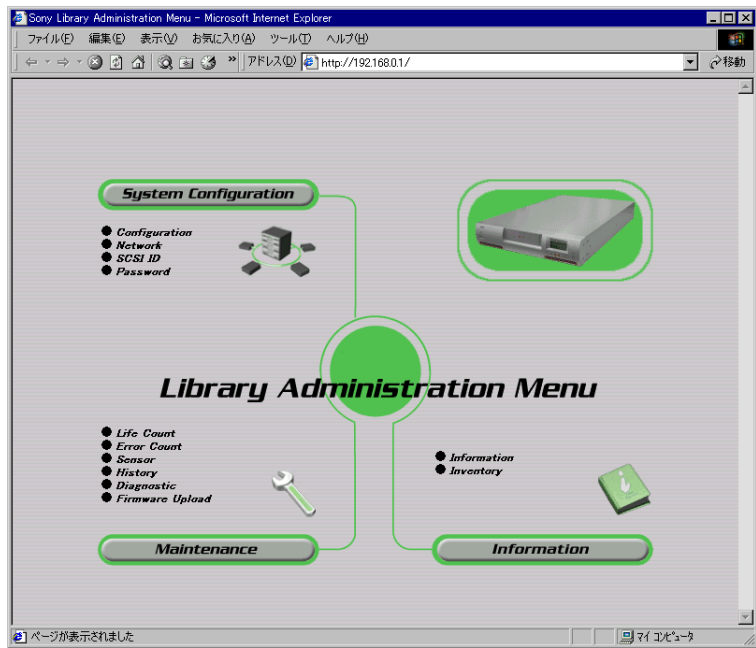
「XXX.XXX.XXX.XXX」には、本装置に設定した IP アドレスを入力します。
(例) http://192.168.0.1/

メモ

DHCP サーバーで割り当てられた IP アドレスを使用している場合は、現在の IP アドレスをブラウザのアドレス欄に入力してから、[Submit] をクリックしてください。現在の IP アドレスは、操作パネルの [Configuration] メニューの [Network] で確認できます。操作方法は、第 3 章「基本的な使いかた」の「操作ボタンの使いかた」(62 ページ)の「操作例」を参照してください。

「Library Administration Menu」のトップページが表示されます。

(例) 「Microsoft Internet Explorer」 の場合



- 3 操作したいメニューのボタンをクリックする。
選択したメニューのページが表示されます。

(例) 「System Configuration」 ページ

Configuration	Network	SCSI ID	Password
Date & Time 2001 / 1 / 1 13 : 39			
Life Warning	☐ Enable	☒ Disable	
Key Operation	☒ Enable	☐ Disable	
R-MIC	☐ Enable	☒ Disable	
Bar Code	☒ Enable	☐ Disable	
Submit			

- 4 トップページに戻るときは、 **Home** をクリックする。

メモ

「Library Administration Menu」にアクセスしたら、パスワードの変更を強くおすすめします。「[System Configuration] メニュー」の「Password」（101 ページ）を参照してください。

メニュー項目

「Library Administration Menu」には、以下のメニューがあります。

- [System Configuration] メニュー
システムやネットワーク、SCSI ID に関する設定や操作ができます。
→ 「[System Configuration] メニュー」（94 ページ）
- [Maintenance] メニュー
本装置の状況を確認したり、ライブラリのチェック、本装置のファームウェアのアップデートなどができます。
→ 「[Maintenance] メニュー」（102 ページ）
- [Information] メニュー
ライブラリや AIT ドライブ、カートリッジに関する情報を見ることができます。
→ 「[Information] メニュー」（112 ページ）

以降では、メニューごとに行える設定や操作を説明します。

[System Configuration] メニュー

[System Configuration] メニューでは、システムやネットワークに関する設定や操作ができます。

[System Configuration] メニューには、以下の項目があります。

- Configuration
日付と時刻、動作回数の警告表示、バーコードなど、システムに関する設定や操作ができます。
- Network
ネットワークに関する設定ができます。
- SCSI ID
ライブラリや AIT ドライブの SCSI ID を設定できます。
- Password
パスワードの設定 / 変更ができます。

Configuration

[Configuration] では、日付と時刻、警告表示、R-MIC 機能など、システムに関する設定や操作ができます。

メモ

[Configuration] には、操作パネルの [Configuration] メニューで設定できる項目もあります。

- 1 「Library Administration Menu」で、[System Configuration] をクリックする。

「Configuration」ページが表示されます。

Configuration	Network	SCSI ID	Password
Date & Time 2001 / 1 / 1 13 : 39			
Life Warning ☐ Enable ☒ Disable			
Key Operation ☒ Enable ☐ Disable			
R-MIC ☐ Enable ☒ Disable			
Bar Code ☒ Enable ☐ Disable			
Submit			

- 2 以下の項目を設定する。

Date & Time

本装置の日付と時刻を設定します。日付は「年（西暦）/ 月 / 日」、時刻は「時：分：秒」の形式で入力してください。工場出荷時は、「1/1/2001、12:00:00」（2001 年 1 月 1 日、12 時 00 分 00 秒）に設定されていますので、現在の日付と時刻を設定してください。

Life Warning

本装置の各駆動モーターの動作が所定の回数に達したときに、警告を表示させるかどうかをクリックして選択します。警告は、本装置の液晶ディスプレイに表示されます。[Disable] を選択すると、警告は表示されません。

Key Operation

フロントパネルのボタン（スタンバイスイッチ、操作ボタン）を有効にするかどうかをクリックして選択します。[Disable] を選択すると、ボタンを押しても動作しません。

メモ

本装置背面の電源スイッチで電源を切ると、[Key Operation] は [Enable] に戻ります。

R-MIC

AIT-3 カートリッジまたは R-MIC 付き AIT-2 カートリッジを使用している場合に、R-MIC 機能を有効にするかどうかを設定します。

R-MIC が付いていない AIT-2 カートリッジや AIT-1 カートリッジをお使いの場合は、[Disable] を選択してください。

Bar Code

カートリッジに貼られているバーコードの読み取りを行うかどうかを設定します。[Disable] を選択すると、バーコードの読み取りは行われません。

ご注意

[Bar Code] で [Enable] を選択した場合に、バーコードが貼られていないカートリッジを使用したり、[R-MIC] で [Enable] を選択した場合に、R-MIC が付いていないカートリッジを使用すると、電源を入れたときやカートリッジを操作した後のイニシャライズの時間が非常に長くなりますので、気をつけてください。

3 [Submit] をクリックする。

本装置に設定されます。

Network

[Network] では、ネットワークに関する設定ができます。設定が終了したら、必ず本装置の電源を入れ直してください。

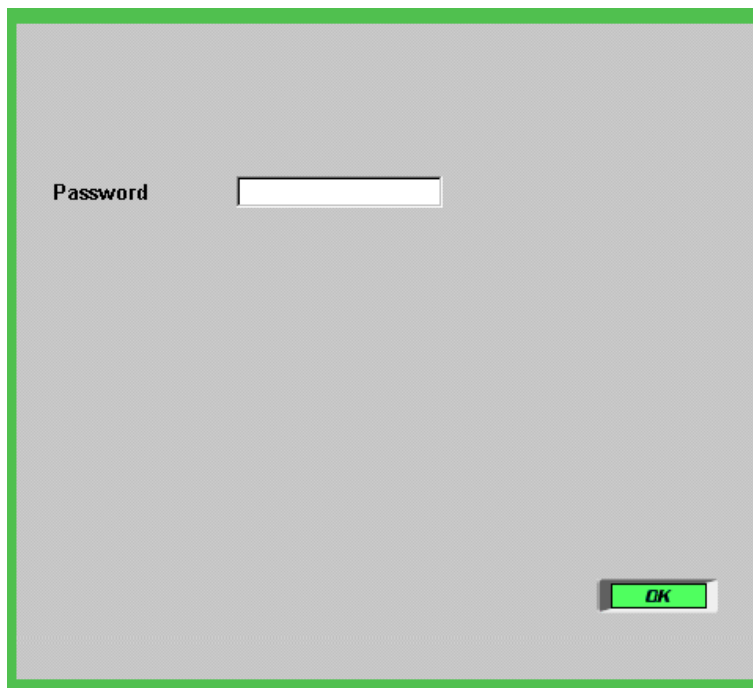
メモ

ネットワークの設定は、操作パネルの [Network] メニューでも行えます。

1 「Library Administration Menu」で、[System Configuration] をクリックし、[Network] をクリックする。

パスワードを入力するページが表示されます。

- 2 [Password] に「LIB-162A」と入力し、[OK] をクリックする。

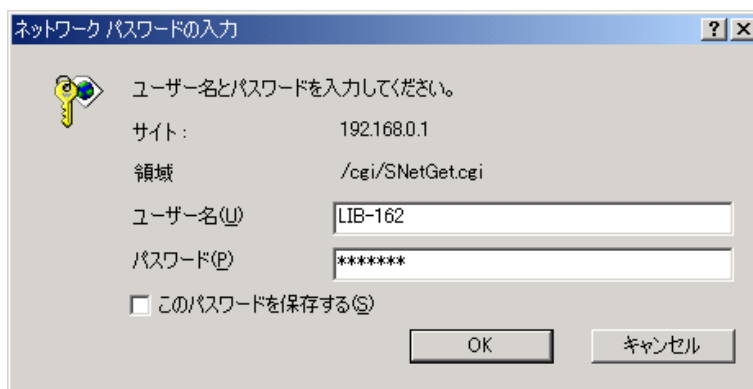


A screenshot of a password input dialog box. It has a light gray background with a green border. On the left, the label "Password" is displayed. To its right is a white text input field. In the bottom right corner, there is a green button with the text "OK" in white.

メモ

[Network] にアクセスするときは、毎回パスワードを入力する必要があります。工場出荷時のパスワードの初期値は、「LIB-162A」です。

- 3 次の画面が表示されたら、[ユーザー名] に「LIB-162」、[パスワード] に「LIBRARY」と入力し、[OK] をクリックする。



A screenshot of a network password input dialog box titled "ネットワーク パスワードの入力". The dialog has a blue title bar with a question mark and close button. Inside, there is a key icon and the text "ユーザー名とパスワードを入力してください。". Below this, the "サイト:" field is set to "192.168.0.1" and the "領域" field is set to "/cgi/SNetGet.cgi". The "ユーザー名(U)" field contains "LIB-162" and the "パスワード(P)" field contains "*****". At the bottom, there is a checkbox labeled "このパスワードを保存する(S)" which is unchecked. Two buttons, "OK" and "キャンセル", are at the bottom right.

「Network」ページが表示されます。

Configuration Network SCSI ID Password

Host Name

Domain Name

DHCP ☒ Enable ☐ Disable

IP Address

Subnet Mask

Gateway

DNS(Primary)

DNS(Secondary)

This setting will become valid only after the library unit is power cycled

Submit

4 以下の項目を設定する。

Host Name

ホスト名を 64 文字以内の英数字、記号 (! @ # \$ % & () - ' { } ~ ") で入力します。同一サブネット内に同じホスト名がないことを確認してから入力してください。

ただし、本装置では DNS はサポートされていないので、設定する必要はありません。

Domain Name

ドメイン名を 64 文字以内の英数字、記号 (! @ # \$ % & () - ' { } ~ ") で入力します。

ただし、本装置では DNS はサポートされていないので、設定する必要はありません。

DHCP

DHCP サーバーが割り当てた IP アドレスを使用するかどうかをクリックして選択します。[Enable] をクリックした場合は、以下の設定は必要ありません。

IP Address

IP アドレスを入力します。

Subnet Mask

サブネットマスクを入力します。

Gateway

デフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力します。

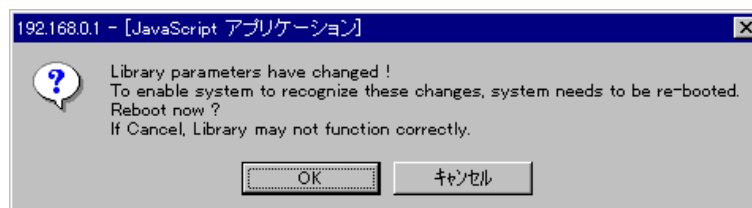
DNS (Primary)

本装置ではサポートされていません。

DNS (Secondary)

本装置ではサポートされていません。

- 5 [Submit] をクリックする。
- 6 以下のメッセージが表示された場合は、[OK] をクリックする。



本装置が再起動して、設定が有効になります。

本装置の再起動後、画面が正しく表示されない場合は、ブラウザの [更新] をクリックしてください。

メッセージが表示されなかった場合は、本装置の電源を入れ直してください。再起動後に設定が有効になります。

メモ

DHCP サーバーで割り当てられた IP アドレスを使用している場合は、現在の IP アドレスをブラウザのアドレス欄に入力してから、[Submit] をクリックしてください。現在の IP アドレスは、操作パネルの [Configuration] メニューの [Network] で確認できます。操作方法は、第 3 章「基本的な使いかた」の「操作ボタンの使いかた」（62 ページ）の「操作例」を参照してください。

SCSI ID

[SCSI ID] では、ライブラリや AIT ドライブの SCSI ID と SCSI パリティを設定できます。設定が終了したら、必ず本装置の電源を入れ直してください。

ご注意

同一の SCSI バスに、重複する SCSI ID を設定しないでください。

メモ

- ・ SCSI ID と SCSI パリティの設定は、操作パネルの [SCSI] メニューでも行えます。
- ・ AIT ドライブを増設しないときでも、ライブラリとドライブ 2 (L) の SCSI ID が重複しないように設定してください。

- 1 「Library Administration Menu」で、[System Configuration] をクリックし、[SCSI ID] をクリックする。

「SCSI ID」 ページが表示されます。

	SCSI ID	Parity
Library	0	☒ On ☐ Off
Drive1	1	☒ On ☐ Off
Drive2	2	☒ On ☐ Off

This setting will become valid only after the library unit is power cycled

Submit

2 以下の項目を設定する。

Library

ライブラリの SCSI ID と SCSI パリティを有効にするかどうかを入力します。

Drive 1

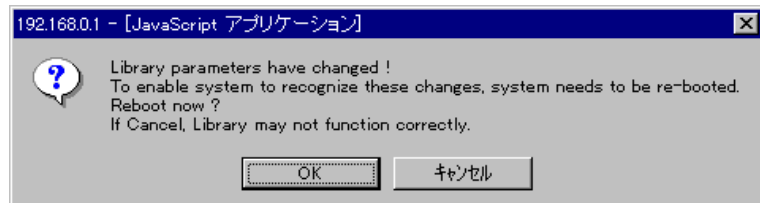
ドライブ 1 (R) の SCSI ID SCSI パリティを有効にするかどうかを入力します。

Drive 2

ドライブ 2 (L) の SCSI ID SCSI パリティを有効にするかどうかを入力します。

3 [Submit] をクリックする。

4 以下のメッセージが表示された場合は、[OK] をクリックする。



本装置が再起動して、設定が有効になります。

本装置の再起動後、画面が正しく表示されない場合は、ブラウザの [更新] をクリックしてください。

メッセージが表示されなかった場合は、本装置の電源を入れ直してください。再起動後に設定が有効になります。

Password

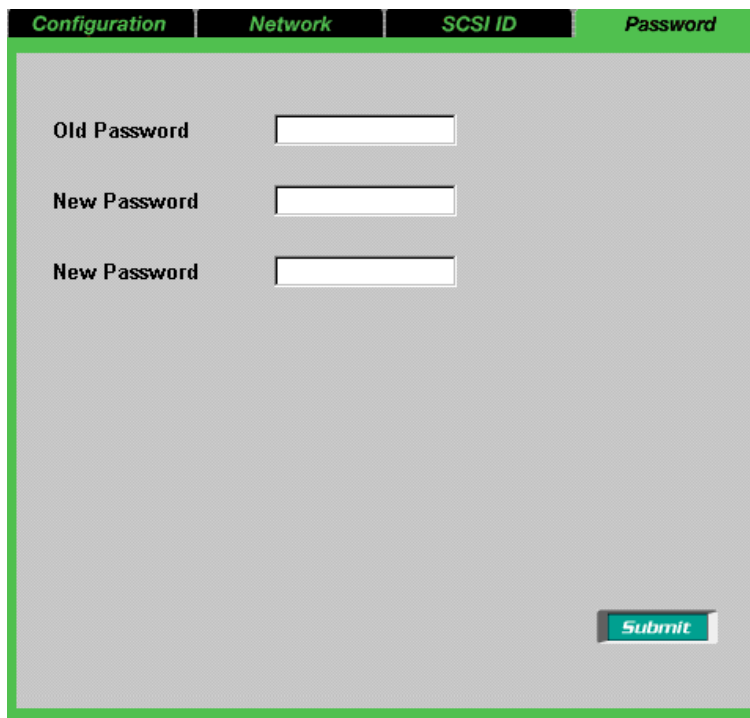
[Password] では、パスワードの設定や変更ができます。
パスワードは、本装置のセキュリティにおいて大変重要です。「Library Administration Menu」にアクセスしたら、各種設定を行う前に必ずパスワードを変更してください。また、パスワードは厳重に管理してください。

メモ

パスワードの設定は、操作パネルの [Password] メニューでも行えます。

- 1 「Library Administration Menu」で、[System Configuration] をクリックし、[Password] をクリックする。

「Password」ページが表示されます。



- 2 [Old Password] に、現在のパスワードを入力する。
はじめてパスワードを設定するときは、「LIB-162A」と入力します。
- 3 [New Password] に、新しいパスワードを8文字以内の半角英数字、半角記号 (! @ # \$ % & () - ' { } ~ ") で入力する。
- 4 [New Password] に、同じパスワードをもう一度入力する。
- 5 [Submit] をクリックする。

設定完了のメッセージが表示されます。

ご注意

パスワードに設定できる文字数は、最大8文字です。8文字を超えて入力し、[Submit] をクリックすると、エラーメッセージが表示されます。

[Maintenance] メニュー

[Maintenance] メニューでは、本装置の状況を確認したり、ライブラリのチェック、本装置のファームウェアのアップデートなどができます。

[Maintenance] メニューには、以下の項目があります。

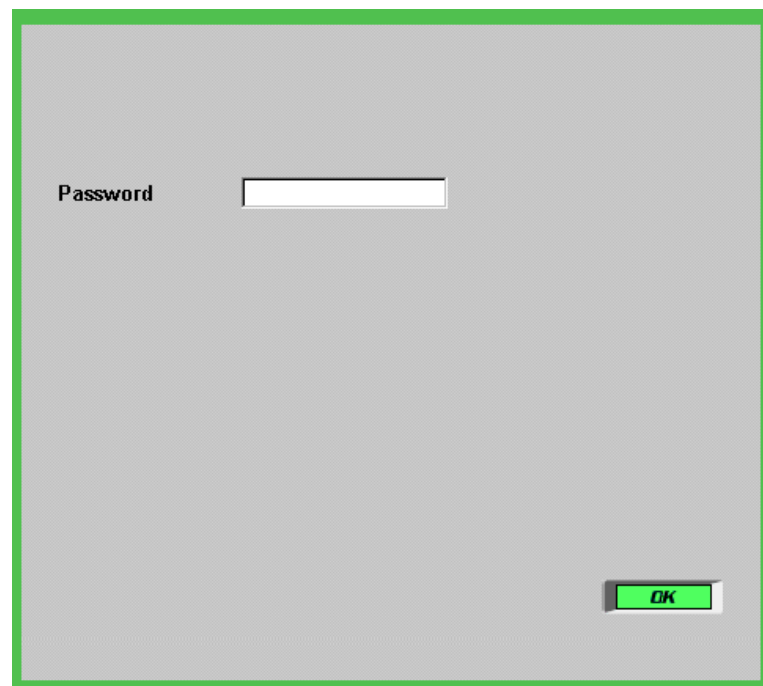
- Life Count
各駆動モーターとドライブの動作回数が表示されます。
- Error Count
各駆動モーターとドライブで発生したエラーやリトライ動作の回数が表示されます。
- Sensor
各センサーやスイッチ、エンコーダー値の情報が表示されます。
- History
ログを見ることができます。
- Diagnostic
ライブラリが正常かどうかをチェックできます。
- Firmware Upload
本装置のファームウェアのアップデートを行うことができます。

Life Count

[Life Count] では、各駆動モーターとドライブの動作回数が表示されます。

- 1 「Library Administration Menu」で、[Maintenance] をクリックする。

パスワードを入力するページが表示された場合はパスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。



メモ

[メンテナンス] メニューにアクセスしたときに、毎回パスワードを入力するページが表示される場合があります。パスワードについては、「Password」(101 ページ) を参照してください。

「Life Count」ページが表示されます。

	current	maximum
Elevator	0	300000
Slider	0	300000
Picker	0	300000
Hand	0	300000
Turn Table	0	300000
Shutter	0	300000
Fan	0	300000
Drive1 Load	0	50000
Drive2 Load	0	50000
Boot	0	
Flash	0	

「Life Count」ページには、以下の各駆動モーターとドライブの動作回数が表示されます。

- Elevator
- Slider
- Picker
- Hand
- Turn Table
- Shutter
- Fan
- Drive1 Load
- Drive2 Load
- Boot
- Flash

Error Count

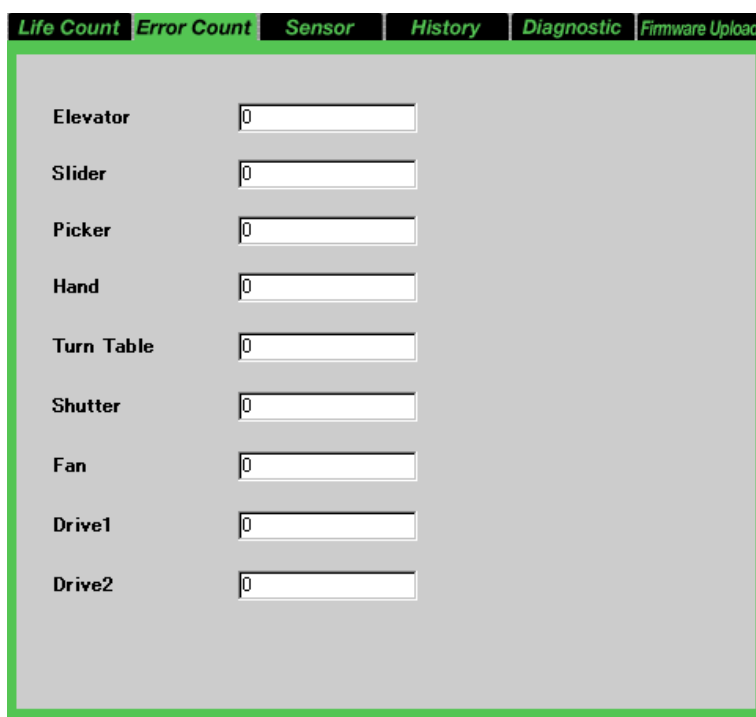
[Error Count] では、各駆動モーターとドライブで発生したエラーまたはリトライ動作の回数が表示されます。

- 1 「Library Administration Menu」で、[Maintenance] をクリックし、[Error Count] をクリックする。

メモ

[Maintenance] メニューにアクセスしたときに、パスワードを入力するページが表示される場合があります。パスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。パスワードについては、「Password」（101 ページ）を参照してください。

「Error Count」ページが表示されます。



Elevator	0
Slider	0
Picker	0
Hand	0
Turn Table	0
Shutter	0
Fan	0
Drive1	0
Drive2	0

「Error Count」ページには、以下の各駆動モーターとドライブで発生したエラーまたはリトライ動作の回数が表示されます。

- Elevator
- Slider
- Picker
- Hand
- Turn Table
- Shutter
- Fan
- Drive1
- Drive2

Sensor

[Sensor] では、センサーやディップスイッチ、エンコーダー値の情報が表示されます。

- 1 「Library Administration Menu」で、[Maintenance] をクリックし、[Sensor] をクリックする。

メモ

[Maintenance] メニューにアクセスしたときに、パスワードを入力するページが表示される場合があります。パスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。パスワードについては、「Password」（101 ページ）を参照してください。

「Sensor」ページが表示されます。

Life Count Error Count Sensor History Diagnostic Firmware Upload					
Sensor					
Elevator Reference	☐ On	☒ Off			
Elevator Position	☐ On	☒ Off			
Hand Open	☒ On	☐ Off			
Hand Close	☐ On	☒ Off			
Shutter Open	☐ On	☒ Off			
Shutter Close	☒ On	☐ Off			
Cassette	☒ On	☐ Off			
Picker	☐ On	☒ Off			
Slider	☒ On	☐ Off			
Turn Table	☒ On	☐ Off			
Slot In1	☒ On	☐ Off			
Slot In2	☒ On	☐ Off			
Power	☒ On	☐ Off			
Hot Swap	☐ On	☒ Off			
Hot Swap Drive1	☐ On	☒ Off			
Hot Swap Drive2	☒ On	☐ Off			
Switch					
switch01	☒ On	☐ Off			
switch02	☒ On	☐ Off			
switch03	☐ On	☒ Off			
switch04	☐ On	☒ Off			
switch05	☐ On	☒ Off			
switch06	☐ On	☒ Off			
switch07	☐ On	☒ Off			
switch08	☐ On	☒ Off			
Encoder					
Turn Table	-814				
Picker	1180				
Slider	-112				
Elevator	14				

「Sensor」ページには、以下の特定部品の情報が表示されます。

センサー

- Elevator Reference
- Elevator Position
- Hand Open
- Hand Close
- Shutter Open
- Shutter Close
- Cassette
- Picker
- Slider
- Turn Table
- Slot In1

- Slot In2
- Power
- Hot Swap
- Hot Swap Drive1
- Hot Swap Drive2

ディップスイッチ

- switch01
- switch02
- switch03
- switch04
- switch05
- switch06
- switch07
- switch08

エンコーダー値

- Turn Table
- Picker
- Slider
- Elevator

History

[History] では、以下のログを見ることができます。

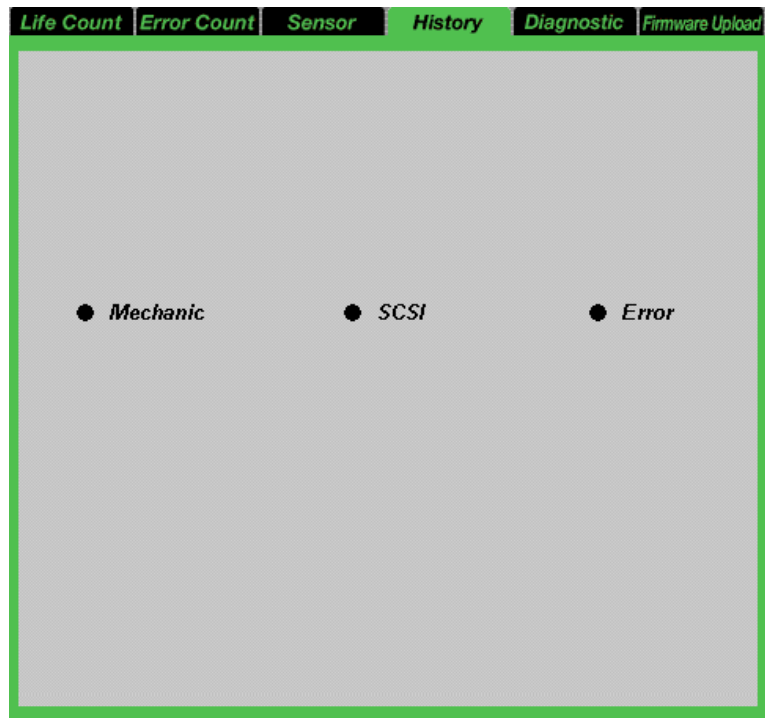
- Mechanic ログ
- SCSI ログ
- Error ログ

- 1 「Library Administration Menu」で、[Maintenance] をクリックし、[History] をクリックする。

メモ

[Maintenance] メニューにアクセスしたときに、パスワードを入力するページが表示される場合があります。パスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。パスワードについては、「Password」（101 ページ）を参照してください。

「History」ページが表示されます。



2 見たいログの●をクリックする。

Mechanic

Mechanic ログが表示されます。最大 128 件のログが表示されます。

SCSI

SCSI ログが表示されます。最大 128 件のログが表示されます。

Error

Error ログが表示されます。最大 16 件のログが表示されます。

選択したログのページが表示されます。

(例) 「Mechanic」 ページの場合

Mechanic	SCSI	Error
001		▲
002		
003		
004		
005		
006		
007		
008		
009		
010		
011		
012		
013		
014		
015		
016		▼

▼ をクリックすると次のログが表示され、▲ をクリックすると前の表示に戻ります。

Diagnostic

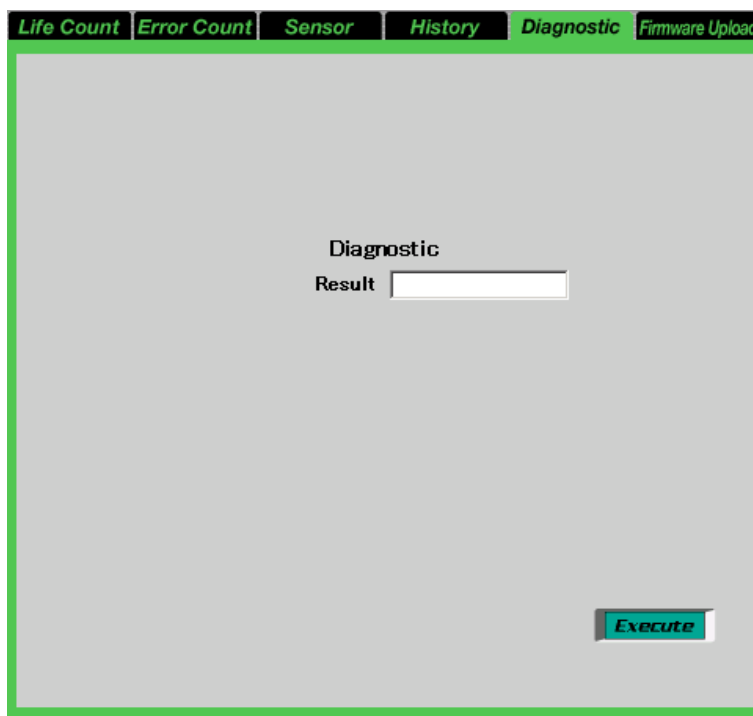
[Diagnostic] では、ライブラリが正常かどうかをチェックできます。

- 1 「Library Administration Menu」で、[Maintenance] をクリックし、[Diagnostic] をクリックする。

メモ

[Maintenance] メニューにアクセスしたときに、パスワードを入力するページが表示される場合があります。パスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。パスワードについては、「Password」（101 ページ）を参照してください。

「Diagnostic」ページが表示されます。



The screenshot shows a web interface with a top navigation bar containing the following tabs: Life Count, Error Count, Sensor, History, Diagnostic (which is highlighted in green), and Firmware Upload. The main content area has a light gray background and is enclosed in a green border. In the center of this area, the word "Diagnostic" is displayed above a label "Result" and an empty text input field. In the bottom right corner of the main area, there is a blue button with the text "Execute" in white.

- 2 [Execute] をクリックする。

ライブラリのチェックが開始されます。

チェックが終了すると、診断結果が [Result] に表示されます。

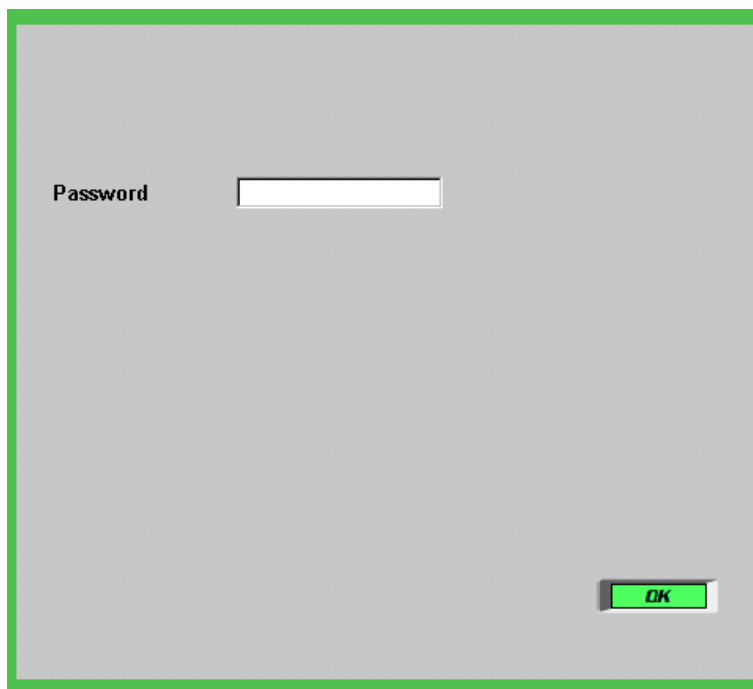
Firmware Upload

[Firmware Upload] では、本装置のファームウェアのアップデートを行うことができます。

- 1 「Library Administration Menu」で、[Maintenance] をクリックし、[Firmware Upload] をクリックする。

パスワードを入力するページが表示されます。

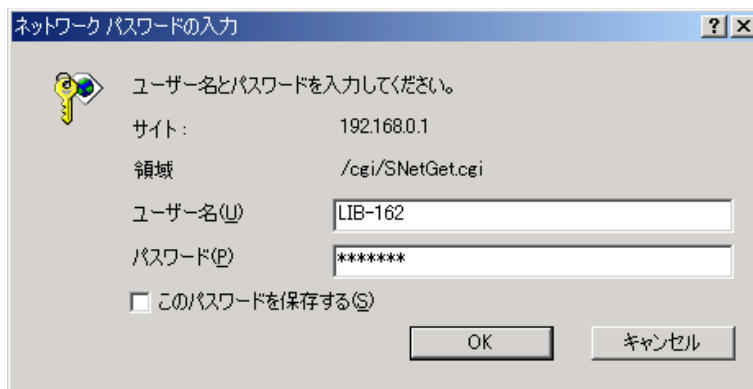
- 2 [Password] に「LIB-162A」と入力し、[OK] をクリックする。



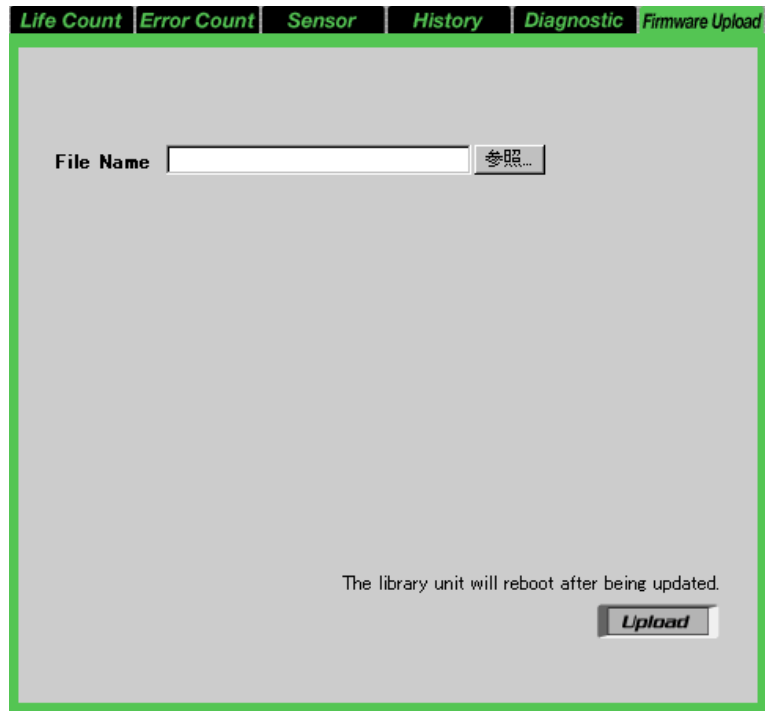
メモ

[Firmware Upload] にアクセスするときは、毎回パスワードを入力する必要があります。工場出荷時のパスワードの初期値は、「LIB-162A」です。

- 3 次の画面が表示されたら、[ユーザー名] に「LIB-162」、[パスワード] に「LIBRARY」と入力し、[OK] をクリックする。



「Firmware Upload」ページが表示されます。

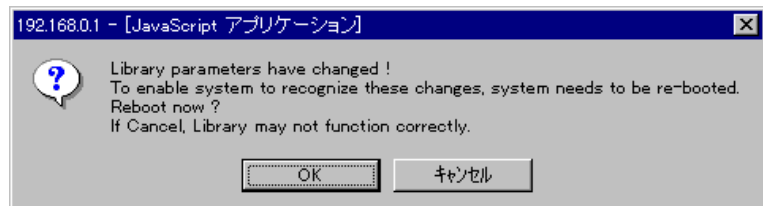


4 [File Name] に、ファームウェアのファイル名をフルパスで入力する。

[参照] ボタンをクリックして、ファイルを指定することもできます。

5 [Upload] をクリックする。

確認のメッセージが表示されます。



6 [OK] をクリックする。

ファームウェアのアップロードが開始されます。

ファームウェアのアップロードが終了すると、自動的に本装置が再起動します。

7 本装置が再起動したら、ブラウザの「更新」をクリックして、「Library Administration Menu」の画面が正常に表示されるか確認する。

正常に表示されていれば、アップロードは完了しています。

ファームウェアをアップロードした後、ライブラリの電源をオフにし、再度電源をオンにすることをおすすめします。

また、ブラウザに「Library Administration Menu」の画面が正常に表示されない場合は、本装置を立ち上げ直してください。

ご注意

- ・ファームウェアのアップデート中は、本装置の電源を切らないでください。
- ・ファームウェアのアップデート中は、「Library Administration Menu」を操作することはできません。

[Information] メニュー

[Information] メニューでは、ライブラリや AIT ドライブ、カートリッジに関する情報を見ることができます。

[Information] メニューには、以下の項目があります。

- ・ Information
ライブラリや AIT ドライブに関する情報が表示されます。
- ・ Inventory
カートリッジに関する情報が表示されます。

Information

[Information] では、ライブラリや AIT ドライブに関する以下の情報が表示されます。

- ・ベンダー ID
- ・製品名
- ・リビジョン ID
- ・シリアル番号

メモ

ライブラリや AIT ドライブに関する情報は、操作パネルの [Information] メニューでも見ることができます。

- 1 「Library Administration Menu」で、[Information] をクリックする。

「Information」 ページが表示されます。

	Vender ID	Product ID	Revision ID	Serial Number
Library		LIB-162	01m3	01234567
Drive1		SDX-700C	01n0	59000028
Drive2				

Inventory

[Inventory] では、カートリッジに関する以下の情報が表示されます。

- カートリッジのセット状況
どのスロットや AIT ドライブにカートリッジがセットされているかを調べることができます。
- バーコード情報
セットされているカートリッジのバーコード情報を、スロットや AIT ドライブごとに見ることができます。
- R-MIC 情報
AIT-3 カートリッジまたは R-MIC 付き AIT-2 カートリッジの場合に、セットされているカートリッジの R-MIC 情報を、スロットや AIT ドライブごとに見ることができます。

メモ

カートリッジに関する情報は、操作パネルの [Tape Inventory] メニューでも見ることができます。

- 1 「Library Administration Menu」で、[Tape Inventory] をクリックする。

「Tape Inventory」ページが表示されます。

Information		Inventory
	Bar Code	R-MIC
Slot01		
Slot02		
Slot03		
Slot04		
Slot05		
Slot06		
Slot07		
Slot08		
Slot09		
Slot10		
Slot11		
Slot12		
Slot13		
Slot14		
Slot15		
Slot16		
Drive1		
Drive2		

- ・ カートリッジが入っているスロットや AIT ドライブは、 が付いて表示されます。
- ・ バーコード情報がないカートリッジがセットされている場合は、何も表示されません。
- ・ R-MIC 情報がないカートリッジがセットされている場合は、何も表示されません。

エアフィルターを交換する

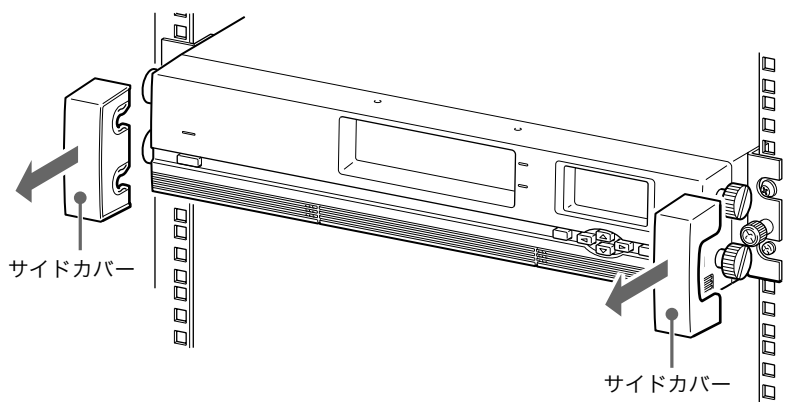
年に 1 回、本装置のエアフィルターを交換してください。追加で購入されるときは、お買い上げの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

本装置には、交換用の左用 / 右用エアフィルターがそれぞれ 2 個ずつ添付されています。

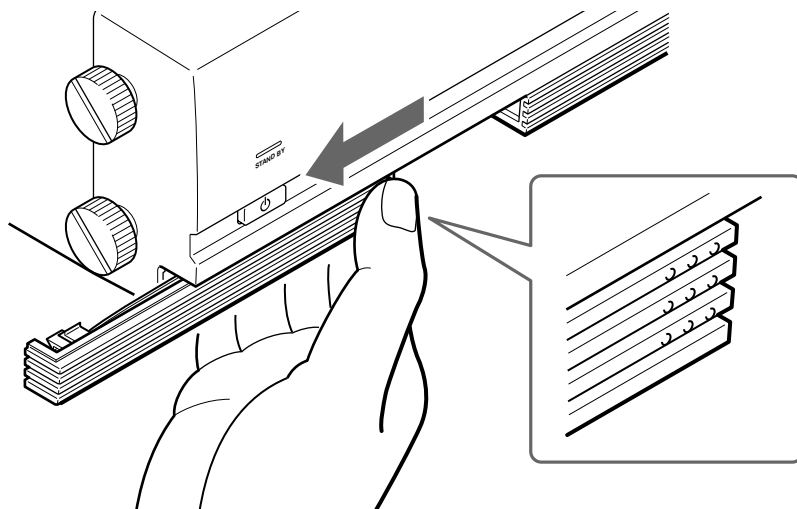
メモ

3 か月に 1 回、エアフィルターのごみを払ってきれいにしてください。

- 1 新しいエアフィルターを用意する。
- 2 本装置の電源を切る。
- 3 本装置をラックに設置しているときは、サイドカバーをカバーを取り外す。



- 4 エアーフィルターの端にあるすべり止めに指をかけ、水平にスライドさせて取り外す。



- 5 新しいエアーフィルターをセットする。
カチッと音がするまで入れてください。
- 6 同様にして、もう一方のエアーフィルターも交換する。
- 7 サイドカバーを取り外したときは、元に戻す。

故障かな？と思ったら

保守サービス会社にご相談になる前に下記の項目をもう 1 度チェックしてみてください。それでも具合が悪いときは、販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

本装置が起動しない

- ・ 電源スイッチがオンになっているか確認してください。
- ・ 電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- ・ カートリッジ投入 / 排出口のシャッターが閉じているか確認してください。
- ・ ターミネーターが正しく接続されているか確認してください。
- ・ 本装置とホストコンピューターに SCSI ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- ・ ホストコンピューターに電源が入っているか確認してください。
- ・ 本装置の液晶ディスプレイにエラーコードが表示されていないか確認してください。エラーコードについては、本章の「エラーコード一覧」（120 ページ）を参照してください。
- ・ 電源を入れ直したときは、10 秒間待つてから電源を入れていたか確認してください。
- ・ スタンバイスイッチを 3 秒以上押していたか確認してください。誤作動を防ぐため、スタンバイスイッチを 3 秒以上押さないと、本装置の電源が入らない仕様になっています。

本装置とホストコンピューターが通信できない

- ・ライブラリ、AIT ドライブ、ホストコンピューターに割り当てた SCSI ID が重複していないか確認してください。1 つの SCSI バスに、重複する SCSI ID を設定することはできません。→ 第 2 章「設置する」の「SCSI ID を設定する」(47 ページ)
- ・SCSI ケーブルが正しく接続されているか確認してください。→ 第 2 章「設置する」の「ホストコンピューターに接続する」(41 ページ)
- ・ホストコンピューターに SCSI アダプターカードが正しく取り付けられているか確認してください。
- ・LVD 接続の場合は接続している SCSI 機器がすべて LVD デバイスであるか確認してください。
- ・本装置に HVD デバイスを接続しないでください。
- ・SCSI バス上の機器がすべて Wide SCSI デバイスであるか確認してください。本装置は Wide SCSI デバイスです。SCSI バス上のすべてのデバイスが Wide SCSI デバイスであるか確認してください。
- ・SCSI バスが正しく終端されていることを確認してください。
- ・使用するアプリケーションソフトウェアが本装置に対応していることを確認してください。本装置で利用できるアプリケーションソフトウェアや対応しているオペレーティングシステムについては、販売店にお問い合わせください。
- ・ホストコンピューターにアプリケーションソフトウェアが正しくインストールされ、正しく設定されているか確認してください。
- ・本装置の電源を入れてからホストコンピューターの電源を入れるまでの時間が短いと、SCSI ID が正しく認識されないことがあります。

アプリケーションソフトウェアやライブラリは正しく動作するが、データの読み書きができない

- ・カートリッジの誤消去防止用ツメが書き込み可能の状態になっているか確認してください。→ 第 4 章「ライブラリを操作する」の「カートリッジを交換する」(78 ページ)
- ・必ず正規の AIT カートリッジを使用してください。また、AIT ドライブに対応しているカートリッジを使用しているか確認してください。(26 ページ)
- ・カートリッジを長時間使用していたり、使用頻度が高い場合は、新しいカートリッジに交換してください。
- ・カートリッジが破損していないか確認してください。
- ・AIT ドライブをクリーニングしてみてください。→ 第 5 章「AIT ドライブを操作する」の「AIT ドライブをクリーニングする」(86 ページ)

カートリッジが取り出せない

第 4 章「ライブラリを操作する」の「カートリッジを取り出す」(75 ページ) の操作を行ってください。

それでも取り出せないときは、販売店にお問い合わせください。

その他

- ・カートリッジ投入 / 排出口のシャッターがきちんと閉まっているか確認してください。
- ・ライブラリのチェックをしてみてください。→ 第 6 章「Library Administration Menu を使う」の「Diagnostic」(109 ページ)

本装置を輸送するときには

移転や修理などで本装置を輸送するときには、必ず次のことを行ってください。

- ・ 梱包するときは、第 2 章の「開梱する」（29 ページ）の手順を逆から行ってください。特に、輸送ネジと輸送ロックは、必ず取り付けてください。
- ・ 本装置にセットされているカートリッジをすべて取り出してください。操作ボタンの操作でカートリッジが取り出せないときは、「故障かな？と思ったら」の「カートリッジが取り出せない」（117 ページ）を参照し、カートリッジを取り出してください。
- ・ 本装置の電源を切るときは、フロントパネルのスタンバイスイッチを押してから、背面の電源スイッチを押してください。スタンバイスイッチを押すことで、本装置内部の機構部が所定の位置に移動して、電源がスタンバイ状態になります。
- ・ 電源ケーブル、SCSI ケーブル、ターミネーター、ネットワークケーブルなど、すべてのケーブル類を取り外してください。
- ・ 本製品をラックに設置しているときは、第 2 章「本装置をラックから取り外すには」（39 ページ）を参照し、ラックから取り外してください。

主な仕様

ハードウェア

搭載可能ドライブ数	2 台（標準では 1 台）								
搭載可能カートリッジ数	最大 16 巻								
データ転送レート（sustained、非圧縮）	N8160-41 の場合								
	<table><tr><th>使用テープ</th><th>転送レート</th></tr><tr><td>AIT-2</td><td>6MB/s</td></tr><tr><td>AIT-1</td><td>4MB/s</td></tr></table>	使用テープ	転送レート	AIT-2	6MB/s	AIT-1	4MB/s		
使用テープ	転送レート								
AIT-2	6MB/s								
AIT-1	4MB/s								
	N8160-44 の場合								
	<table><tr><th>使用テープ</th><th>転送レート</th></tr><tr><td>AIT-3</td><td>12MB/s</td></tr><tr><td>AIT-2</td><td>12MB/s</td></tr><tr><td>AIT-1</td><td>8MB/s</td></tr></table>	使用テープ	転送レート	AIT-3	12MB/s	AIT-2	12MB/s	AIT-1	8MB/s
使用テープ	転送レート								
AIT-3	12MB/s								
AIT-2	12MB/s								
AIT-1	8MB/s								
	（データ転送速度は接続しているサーバーのシステム環境により異なります。）								
LCD パネル	21 文字× 7 行								
LED	ランプ 2 個								
外部コネクタ									
SCSI	Ultra 160 Wide SCSI、LVD/SE（4）								
Ethernet	10Base-T（RJ-45）（1）								
RS-232C	D-sub9 ピン（1、未使用）								

転送レート	160Mbyte/S (最大、同期)
使用環境	動作温度：10 ～ 35 °C 動作湿度：20 ～ 80% (結露のないこと)
電源	AC100-120V + 10%/ - 10% (50/60Hz) AC200-240V + 8%/ - 10% (50/60Hz)
消費電力	100W Typical
外形寸法	430 (W) × 88 (H) × 680 (D) mm
質量	17.8 kg (内蔵ドライブが1台の場合)

記憶容量

(16 巻使用、データ圧縮 2 : 1 の場合)

AIT-3 カートリッジ (EF-2426) :	3200GB
AIT-2 カートリッジ (EF-2423) :	1600GB
AIT-1 カートリッジ (EF-2420L) :	1120GB
AIT-1 カートリッジ (EF-2420) :	800GB

(16 巻使用、データ非圧縮の場合)

AIT-3 カートリッジ (EF-2426) :	1600GB
AIT-2 カートリッジ (EF-2423) :	800GB
AIT-1 カートリッジ (EF-2420L) :	560GB
AIT-1 カートリッジ (EF-2420) :	400GB

本装置の仕様および外観は、改良のため予告なしで変更することがありますが、ご了承ください。

SCSI ケーブル

弊社指定の SCSI ケーブルをお使いください。

使用する AIT ドライブが AIT-3 ドライブの場合は、Ultra 160 対応の SCSI ケーブルをお使いください。

消耗品

AIT ライブラリ用バーコードラベル	EF-3245E
クリーニングカートリッジ	EF-3237J

エラーコード一覧

本装置でエラーが起きると、液晶ディスプレイにエラーコードが表示されます。
以下は、液晶ディスプレイに表示されるエラーコードの一覧です。
エラーコードが表示されたら、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

Changer Manager に関するエラー

エラーコード	説明
01000031	ライブラリ内部にエラーが発生しています。
01000032	ライブラリ内部にエラーが発生しています。
01000033	存在しないドライブにアクセスがありました。 ドライブの接続に不具合がある可能性があります。
01000041	ファン 2 (7 ページ) が停止しています。
01000043	異なるタイプのドライブが搭載されています。

NVRAM Driver に関するエラー

エラーコード	説明
02000001	ライブラリ内部にエラーが発生しています。
02000002	NVRAM にエラーが発生しています。

Mechanical Manager に関するエラー (Byte2:Axis, Byte1:Class, Byte0:SubClass)

エラーコード	説明
03010101	ハンド軸 閉センサ Low 待ちでタイムアウトになりました。
03010201	ハンド軸 開センサ Low 待ちでタイムアウトになりました。
03010901	ハンドセンサーの故障です。
03020101	Y 軸 原点センサ Low 待ちでタイムアウトになりました。
03020102	Y 軸 原点センサ High 待ちでタイムアウトになりました。
03020301	Y 軸 当て板に当てたがエンコーダが止まりません。
03020401	Y 軸 当て板測定値が異常です。
03020501	Y 軸 目標地に届きませんでした。
03020601	Y 軸 微調不能です。
03020701	Y 軸 カートリッジの引き抜き不能です。
03030101	X 軸 原点センサ Low 待ちでタイムアウトになりました。
03030102	X 軸 原点センサ High 待ちでタイムアウトになりました。
03030301	X 軸 当て板に当てたがエンコーダが止まりません。
03030401	X 軸 当て板測定値が異常です。
03030501	X 軸 目標地に届きませんでした。
03030601	X 軸 微調不能です。
03040101	エレベータ軸 原点センサ Low 待ちでタイムアウトになりました。
03040102	エレベータ軸 原点センサ High 待ちでタイムアウトになりました。
03040201	エレベータ軸 位置センサ Low 待ちでタイムアウトになりました。
03040202	エレベータ軸 位置センサ High 待ちでタイムアウトになりました。
03040401	エレベータ軸 スリット測定値が異常です。
03040501	エレベータ軸 目標地に届きませんでした。
03040601	エレベータ軸 微調不能です。
03040801	エレベータ軸 位置決めしてもスリットに入りませんでした。
03050101	テーブル軸 原点センサ Low 待ちでタイムアウトになりました。

Mechanical Manager に関するエラー (Byte2:Axis, Byte1:Class, Byte0:SubClass) (続き)

エラーコード	説明
03050102	テーブル軸 原点センサ High 待ちでタイムアウトになりました。
03050401	テーブル軸 スリット測定値が異常です。
03050402	テーブル軸 スリット測定値が異常です。(原点が検出できませんでした。)
03050501	テーブル軸 目標地に届きませんでした。
03050601	テーブル軸 微調不能です。
03050801	テーブル軸 位置決めしてもスリットに入りませんでした。
03060101	シャッター軸 閉センサ Low 待ちでタイムアウトになりました。
03060201	シャッター軸 開センサ Low 待ちでタイムアウトになりました。
03060901	シャッターセンサーの故障です。

Mechanical Control に関するエラー

エラーコード	説明
04000001	メカコン ビジー
04000002	メカコン パラメータ異常
04000003	メカコン 中断
04000004	メカコン テープが 17 巻以上あります。
04000005	メカコン テープを落としました。
040000A0	メカコン エLEMENTアドレス異常です。
040000A1	メカコン 存在しないELEMENTアドレスです。

AIT ドライブに関するエラー

エラーコード	説明
06000001	ドライブ バスリセットがかかり続けの状態にあるか、またはステータス異常です。
06000002	ドライブの SCSI ID を正しく設定できませんでした。
06000011	ドライブに正しく送信できませんでした。
06000021	ドライブから正しく受信できませんでした。
06000022	ドライブから応答がありませんでした。
06000023	ドライブから異常なデータを受け取りました。
06000031	内部エラーによって通信を終了しました。
06000051	ドライブが認識できませんでした。ドライブが正しく固定されていない可能性があります。
06000061	ドライブがカートリッジを引き込めませんでした。
000000F1	ドライブの SCSI ID を正しく設定できませんでした。

バーコードに関するエラー

エラーコード	説明
07000001	バーコードリーダーの故障です。
07000002	バーコードリーダーの故障です。

R-MIC に関するエラー

エラーコード	説明
08000001	R-MIC から正しく受信できませんでした。
08000002	内部パラメータエラーによって通信できませんでした。
08000003	R-MIC からのデータが正しくありませんでした。
08000004	R-MIC との通信データに異常があり、通信が正しくできませんでした。
08000005	内部メモリアクセスエラーが発生しました。

Ethernet に関するエラー

エラーコード	説明
09000001	Ethernet 関連のハードウェアにエラーがありました。

SCSI ID に関するエラー

エラーコード	説明
0A000001	ライブラリ内部にエラーが発生しています。
0A000002	ライブラリとドライブの SCSI ID が重複しています。

その他の表示

メッセージ	説明
Cleaning request Drive1	ドライブ 1 のクリーニングが必要です。 第 5 章の「AIT ドライブをクリーニングする」(86 ページ) を参照してください。
Cleaning request Drive2	ドライブ 2 のクリーニングが必要です。 第 5 章の「AIT ドライブをクリーニングする」(86 ページ) を参照してください。

以下のメッセージが表示されたときは、説明に従ってください。

メッセージ	説明
Drive information Drive 1 XX	XX の数字が 3x 系、4x 系、5x 系、および 72 の場合は、ドライブ 1 のクリーニングを 3 回行った後、新品のデータカートリッジに交換してご使用ください。 第 5 章の「AIT ドライブをクリーニングする」(86 ページ) を参照してください。 XX の数字が上記以外の場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。
Drive information Drive 2 XX	XX の数字が 3x 系、4x 系、5x 系、および 72 の場合は、ドライブ 2 のクリーニングを 3 回行った後、新品のデータカートリッジに交換してご使用ください。 第 5 章の「AIT ドライブをクリーニングする」(86 ページ) を参照してください。 XX の数字が上記以外の場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

以下のメッセージが表示されたときは、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

メッセージ	説明
Threshold condition Turn Table	ターンテーブルの動作回数が閾値を超えました。
Threshold condition Elevator	エレベーターの動作回数を閾値を超えました。
Threshold condition Slider	スライダーの動作回数が閾値を超えました。
Threshold condition Picker	ピッカーの動作回数が閾値を超えました。
Threshold condition Hand	ハンドの動作回数が閾値を超えました。
Threshold condition Shutter	シャッターの動作回数が閾値を超えました。
Threshold condition Drive1 Load	ドライブ 1 へのカートリッジ挿入回数が閾値を超えました。
Threshold condition Drive2 Load	ドライブ 2 へのカートリッジ挿入回数が閾値を超えました。
Threshold condition Fan	ファン 2 の稼働時間が閾値を超えました。
Drive1 trouble	ドライブ 1 と通信できません。
Drive2 trouble	ドライブ 2 と通信できません。
Fan trouble	ファン 2 (23 ページ) が停止しています。

索引

あ

アップデート110

え

エアフィルターの交換115
液晶濃度70
エラー64
エラーコード120
エレメントアドレス73

か

カートリッジ
移動81
交換78
準備49
使用できるカートリッジ26
情報を見る83, 113
セット50
取り扱い73
保管74
開梱29
各部の名称
前面22
内部（前面）24
背面23

く

クリーニング86
クリーニングカートリッジ26

し

時刻46
システム構成25
システムに関する設定95
仕様118
初期設定45

す

ステータス表示58

せ

設置29

そ

操作パネル57
操作ボタン62
その他の表示122

て

ディップスイッチ24
電源スイッチ43
電源を入れる43
電源を切る44

と

同梱品20
動作チェック109
トラブルシューティング116

ね

ネットワーク52, 96

は

バーコード68
パスワード65
バックアップソフト26

ひ

日付46

ふ

ブラウザ25, 53, 56, 91

ほ

ホストコンピューター
接続41

め

メニュー59
メンテナンス74

ゆ

輸送ネジ30
輸送ロック30

ら

ライブラリ75
ライブラリ情報82, 112

ろ

ログ106

A

AIT-126
AIT-226
AIT-326
AIT ドライブ85
AIT ドライブ情報112

B

Bar Code68

C

Configuration95
Configuration メニュー61

D

Diagnostic109

E

Eject/Insert Tape メニュー60
Error Count104

F

Firmware Upload110

H

History106

I

Information112
Information メニュー... 60, 82, 112
Inventory113

L

LCD Contrast70
Library Administration Menu91
Life Count102
Life Information メニュー62

M

Maintenance メニュー102
Move Tape メニュー61

N

Network96
Network メニュー53, 62

P

Password101
Password メニュー62

R

R-MIC69

S

SCSI ID47, 99
SCSI の仕様119
SCSI パリティ47
SCSI メニュー61
System Configuration メニュー...94

T

Tape Inventory メニュー62, 83

W

Warning67

N8160-41/N8160-44
AIT ライブラリ取扱説明書
2002 年 5 月 初版
2002 年 9 月 2 版
2003 年 5 月 3 版

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目 7 番 1 号
TEL(03)3454-1111 (大代表)

© NEC Corporation 2002

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

本書の内容は予告なく変更することがあります。

